② 仮設工事

⊙ 足場等 (2.2.4)

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

③ 土工事

⊙ 埋戻し及び盛土

材料及び工法
※標準仕様書表3.2.1による
種別
・A種　適用場所（　　）
⊙B種　適用場所（建物周囲　　）
・C種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　）
・D種　適用場所（　　）
（品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）
・材料（　　）　工法（　　）

⊙ 建設発生土の処理　※（1.3.11）による　⊙構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5)

・ 山留め　・親杭横矢板工法　・鋼矢板工法 (3.3.1)

4〜7

特記仕様書 構造関係 による
4章　地業工事
5章　鉄筋工事
6章　コンクリート工事
7章　鉄骨工事

8 コンクリートブロック。ALCパネル。押出成形セメント板工事

. 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類等 (8.2.2、3、5、7、8)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
・				・無　・有		
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（　　）：砂（　　）
各部の配筋
※図示による
目地仕上げ
・押し目地仕上げ
・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
※図示による

・ コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類等 (8.3.2〜4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・型枠状ブロック 20				・無　・有		
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（　　）：砂（　　）
塀に用いるブロックの正味厚さ(mm)
塀の高さが2m以下　※120　・
2m超え　※150　・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示による
各部の配筋
※図示による

. ALC パネル

ALCパネルの区分等 (8.4.2〜5)

区分			単位荷重(N/m²) 正荷重	負荷重	厚さ(mm)	幅 及び長さ	耐火性能(時間)	構造の種別
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	—	—	・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種
・屋根用	—	—	・	・	・	図示による	・0.5	※F種
・床用	—	—	・	・	・	図示による	・1 ・2	

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
・
外壁、屋根パネルの構法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能
外壁パネルの耐震性
地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(Kh) ※1.0　・ 設計用鉛直震度(Kv) ※0.5　・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、基準等(製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。)が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・

. 押出成形セメント板(ECP)

目地幅(mm)
（パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部）
※10〜20　・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する　・適用しない

ECPの種類等 (8.5.2〜5)

パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	・50 ・60 ・	※600 ・	・A 種 ・B 種	
	・D(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	・50 ・60			
	・T(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	60			
・間仕切壁パネル	・F(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	・50 ・60 ・	※600 ・	・B 種 ・C 種	
	・D(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	・50 ・60			
	・T(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	60			

外壁パネルの工法における耐風圧性能
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル工法及び間仕切りパネル工法における耐震性能
外壁パネルの耐震性
地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(Kh) ※1.0　・ 設計用鉛直震度(Kv) ※0.5　・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、基準等(製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。)が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・
パネル相互の目地幅(mm)
・長辺（　　）　短辺（　　）
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
※15程度　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する

		孔あけ及び欠き込み大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに孔あけ及び欠き込みを行う場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以下
	長辺	500mm以下	300mm以下
パネルを切り欠く場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以下
	長辺	500mm以下	300mm以下

9 防水工事

⊙ アスファルト防水

⊙屋根保護防水 (9.2.2〜5)(表 9.2.3〜9)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材G	絶縁用シート
・A-1			※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上又は ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度 ・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA (ｽｷﾝ層付き)（厚さ)100(mm) ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/m²程度 ・
⊙A1-2	屋根1〜3,ルーフテラス1〜2		
・A1-3			
・B1-1			
・B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部への断熱材及び絶縁用シート
※設置しない　・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上
床タイル張り　※水下　60mm以上
立上り部の保護工法
・乾式保護材
窯業系パネルⅠ類　厚さ（　　）mm　幅（　　）mm
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
⊙モルタル押え
立上り部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
⊙適用しない
屋上排水溝
※図示による　・

・屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	使用量	高日射反射率防水G
・D-1			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する
・D-2					・適用する
・D1-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・			・適用する
・D1-2					・適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個
立上り部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
・適用しない
屋上排水溝
※図示による　・

・屋根防水
防水層の種別

種別	施工個所	種　別	施工個所
・E-1		・E-2	

保護層
・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・
立上り部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
・適用しない
排水溝
※図示による　・

. 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水 (9.3.2、3)(表 9.3.1〜3)

防水層の種別

種　別	施工箇所	断熱材G	防湿用シート	仕上塗料 種類	使用量	高日射反射率防水G
・AS-T1				・改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・	・適用する
・AS-T2						・適用する
・AS-T3						・適用する
・AS-T4						・適用する
・AS-J1						・適用する
・AS1-T1		標準仕様書 9.3.2(3)(ｳ) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様) ・設けない			・適用する
・AS1-J1						・適用する

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上

. 合成高分子系ルーフィングシート防水

立上り部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
・適用しない
屋上排水溝
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個

・屋根保護防水
防水層の種別 (9.4.2〜4)（表9.4.1〜3)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材G	仕上塗料 種類	使用量	高日射反射率防水G
・S-F1				・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する
・S-F2						・適用する
・S-M1				・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する
・S-M2						・適用する
・S1-F1			標準仕様書 9.4.2(3)(ｴ)(b) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する
・S1-F2						・適用する
・S1-M1			標準仕様書 9.4.2(3)(ｴ)(a) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する
・S1-M2		※発泡ポリエチレンシート ・				・適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・（　　）mm以上
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）
・行う（・図示による　・　　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・　　）倍の風圧力に対応した工法
立上り部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
・適用しない
屋上排水溝
※図示による　・

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第1項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	特記仕様書-2	A1 NON A3 NON	特A-02

耐震ドア
面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・　　使用箇所（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による　・

⊙ 鋼製軽量建具

性能値等　(16.2.2)（16.5.2～4）(16.5.6)（表16.5.1）
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号　・建具表による　・　　）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
召合わせ、縦小口包み板の材質
※鋼板　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・　　使用箇所（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による　・

・ ステンレス製建具

性能値等　(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号　・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　耐風圧性の等級　（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL　・鏡面仕上げ　・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ　・角出し曲げ　・

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　(16.7.2～4)
※A種　・
建物内部の木製建具に使用する材料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(イ)(a)による　・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・天然木 化粧合板 G	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・MDF G		

表面板の厚さ
※標準仕様書表16.7.6による　・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠、くつずりの材料
・建具表による　・

⊙ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等　(16.8.2、3)(表 16.8.1)
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・

⊙ 鍵

マスターキー　(16.8.4)
⊙製作する　・製作しない
鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）　・
鍵箱
※有り　・無し

⊙ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式　(16.9.2、3)
⊙建具表による　・
⊙引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式　（　　）
耐電圧　（　　）
温度上昇　（　　）
耐久性（サイクル）　（　　）
防錆　（　　）
電源　（　　）
・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　　）
温度上昇　（　　）
耐久性（サイクル）　（　　）
防錆　（　　）
電源　（　　）
⊙引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　　）
防錆　（　　）
防滴　（　　）
電源　（　　）
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書表16.9.4
⊙建具表による　・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う　⊙行わない
※ジェンダートイレは[ナブコ]バリアフリー用自動ドア 同等品以上
風除室は[不二サッシ]フェイシングロント 同等品以上

⊙ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等　(16.10.3)(表16.10.1)
※標準仕様書表16.10.1
・以下による
手動開き力　（　　）
手動閉じ力　（　　）
閉じ速度の調整　（　　）
制動区間　（　　）
開閉繰返し　（　　）
耐衝撃性　（　　）

⊙ 重量シャッター

シャッターの種類
・管理用シャッター　(16.11.2、3)
・外壁用防火シャッター
⊙屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧性
1章 適用区分による風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による　⊙全てに設置 ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　⊙全てに設置 ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
（設置箇所　・建具表による　⊙全てに設置 ）
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
⊙JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
※[文化シャッター]ポールレスコンビ　(CAS-0432) 同等品以上

・ 軽量シャッター

開閉方式の種類　(16.12.2～4)
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧性
1章 適用区分による風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）

⊙ ガラス

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類　(9.7)(16.14.2～4)(表16.14.1)
⊙建具表による
・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による
・
⊙網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による
・
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
・
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
⊙強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
⊙建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン　・

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮蔽性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類　・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(9.7)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※グレイジングチャンネル ⊙シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示 ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示 ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具製造所の仕様による ・図示 ・

耐震性能
構造体の層間変形に対する追従性
以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
構造体の層間変形角　・1/100
・1/200
・

・ ガラスブロック積み

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ(mm)	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
	・160×160	・95 ・				
	・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による　・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)　・
寸法
※径5.5mm　・
形状
※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製　・アルミニウム製　・
寸法
※図示による　・
形状
※図示による　・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による　・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑰ カーテンウォール工事

⊙ 取付け形態、性能等

取付け形態による分類　(17.1.3)
・層間方式
・柱・梁方式
⊙方立方式
・スパンドレル方式
・
性能

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
W-4	A-4	T-2	H-2	・30分 ・1時間	・80 ・70 ⊙60

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	特記仕様書-6	A1 NON A3 NON	特A-06

14 金属工事

・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色
・三次電解着色

⊙ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
⊙溶融亜鉛めっき	・A種	
	⊙B種	屋上設備架台
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

⊙ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示による　⊙900程度
周辺部の端からの間隔　・図示による　⊙150以内
野縁の間隔　・図示による　⊙360程度
補強方法等
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　・図示による　・　）
（補強方法　※図示による　・　）
耐震性能
・軽量鉄骨天井下地(特定天井)
範囲
・図示による　・
特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による
特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による
特定天井の設計用震度　検証ルート（　）

室名	階	設計用水平震度(Kh)	設計用鉛直震度(Kv)	クリアランス(mm)
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・

屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 (14.5.3、4)(表 14.5.1)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
⊙図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4.(5)による
・

・ 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種別	表面処理 色合い等
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・押出し・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
	・プレス・	パネル形				

取付け用下地
※標準仕様書14.4による
・図示による
伸縮調整継手
・設ける
（施工箇所　・図示による　・　）
・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ アルミニウム製笠木

種類 (14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)
※カーテンウォール天端用
寸法
※厚2.0曲げ加工　W400程度
表面処理
種別　⊙BB-2
色合い等　・次の色とする（　）　⊙標準色　・特注色
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（⊙1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

15 左官工事

⊙ モルタル塗り

モルタル (15.3.2、5)
・現場調合材料
⊙既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所　・
形状　※図示による　・
⊙設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
⊙設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　⊙適用しない

・ ラス系下地

ラス系下地 (15.2.4)
・二層下地通気構法
・単層下地通気構法
換気口部の措置
※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｳ)による　・
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地
ラスの材料
種類及び記号　・
単位面積当たりの質量　・
ラスシートの材料
ラス目による区分
※M　・
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・
ステープルの形状及び寸法
・
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工
・

・ せっこうボード その他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ (15.2.5)
種類
・GB-R　・GB-L　・
厚さ(mm)　・
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類　・
厚さ(mm)　・

・ こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定 (15.2.6)
・あり　・なし

・ 木ずり下地

木ずり用小幅板の種類 (15.2.7)
※杉(心去り材)　・

⊙ 仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)
※F☆☆☆☆
・
仕上塗材の種類
⊙薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	防火材料
⊙外装薄塗材E	⊙砂壁状・	⊙吹付け・ローラー塗り	・適用する	・
⊙可とう形外装薄塗材E(※)	⊙砂壁状・	⊙吹付け・	・適用する	⊙NM-8572・
・防水形外装薄塗材E	・凹凸状・	・吹付け・ローラー塗り	・適用する	・
・内装薄塗材	・砂壁状じゅらく・	・吹付け・	・適用する	・

※外部は[アイカ工業]ジョリパットアルファ JP-100 アートクリフ 同等品以上
内部は[アイカ工業]ジョリパット不燃 JQ-200 アートクリフ 同等品以上

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	上塗材	防火材料
・			・適用する	・適用する	・
・			・適用する	・適用する	・

⊙複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
⊙複層塗材E	・凸部処理	吹付け	樹脂・外観・溶媒・	・耐候形1種・耐候形2種・耐候形3種・	・
	⊙凹凸状	吹付け	⊙アクリル	⊙3種	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・複層塗材Si	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・			・	・	・

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
・	・
・	・

・ マスチック塗材塗り

種別 (15.7.2)
・A種　・B種

・ ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3)
※F☆☆☆☆
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上げ吹付け厚さ
・図示による
・25mm
・

・ しっくい塗り

しっくい (15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1　・
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2　・
・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による　・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3　・
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

・ こまい壁塗り

のり (15.11.2～5、7、8)
・土壁用ののり
※つのまた
・ふのり
・ぎんなんそう
・粉末海藻
・
・砂壁用ののり
※ふのり
・つのまた
・こんにゃくのり
・にかわ
・合成高分子系混和剤
・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類（　）
・大津仕上げに用いる色土の種類（　）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
・
塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（　）
・
こまい壁の工程
※A種　・B種
こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による　・

16 建具工事

⊙ 防火戸

⊙建具表による (16.1.3)
・

・ 見本の製作等

(16.1.4)
建具見本の製作　・行う（建具符号：　）
・行わない
建具見本製作の目的等　・
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
・行わない

・ 防犯建物部品

・適用する（・建具表による　・　）
・適用しない
(16.1.6)

⊙ アルミニウム製建具

性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2)
耐風圧性の等級（　S-5　）
（建具符号　・建具表による　・　）
気密性の等級（　A-4　）
（建具符号　・建具表による　・　）
水密性の等級（　W-4　）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
⊙B種（建具符号　⊙建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　）
枠の見込み寸法（・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1　⊙BB-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
⊙標準色　・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1　⊙BC-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
⊙標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　⊙排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・
木下地の場合の内付け建具
・適用しない　・適用する

⊙ 網戸等

(16.2.3)

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製・ガラス繊維入り合成樹脂製⊙ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上・	※16～18メッシュ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具

性能値等 (16.2.5)(16.3.2～5)(表16.3.1～3)
耐風圧性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
気密性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
水密性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級（　）
枠の見込み寸法（・建具表による　・　）
材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面色　・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板　※図示による　・
木下地の場合の内付け建具　・適用しない　・適用する

⊙ 鋼製建具

性能値等 (16.2.2)(16.4.2～4)(16.4.6)(表16.4.2)
簡易気密型ドアセット
⊙適用する
（建具符号　⊙建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（　S-5　）
（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	特記仕様書-5	A1 NON A3 NON	特A-05

・単層フローリング　(フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら　・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・単層フローリング　(フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ (mm)
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら　・
種別
・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

・ 畳敷き

種別　(19.6.2)(表 19.6.1)
・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N)
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　G）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳　(畳表：・C1　・C2)

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　(19.7.2、3)(表 19.7.1)
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(2)(4)の(a)～(d)のいずれか　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質(HF)　・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板 G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-1B） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G	
⊙単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ⊙無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による　・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・

⊙ 壁紙張り

吸音材料

⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ⊙ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	※図示による ⊙9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・1号　・　）	※図示による　・25　・
⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・32K　・　）	※図示による ・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　⊙50（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※図示による　⊙9.5（準不燃） ⊙12.5（不燃）　・15（不燃）　・
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	※図示による　⊙9.5（準不燃） ⊙12.5（・不燃　・準不燃）
⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	※図示による ⊙12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-D）	※図示による ・木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目　・板目）　専用下地材有り ⊙トラバーチン模様　9.5（準不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	※図示による　・9.5　・
⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ⊙化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁ模様）	※図示による ⊙9.5（不燃）

合板類

・普通合板 G 表板の樹種名： 板面品質： 防火処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名： 防火処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 G 建具加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・ 表面性能 ・ 防火処理 ・行う　・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合の工法
※図示による　・
合板類の張付け
・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※図示による　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⊙ 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量　(19.8.2、3)
※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考
	紙	繊維	塩化ビニルチップ	プラス	無機質	その他		
仕上表による	・	・	⊙	・	・	・	⊙不燃　・準不燃	
	・	・	⊙	・	・	・	⊙不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

⊙ 断熱材 G

フェノールフォーム断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.9.2～4)
※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
・断熱材打込み工法

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 (・　)	・	
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし） (⊙2種bA　・3種bA　・3種bC　・3種bD)	⊙50	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
⊙A種1　・A種1H　・
吹付け厚さ (mm)
⊙50　⊙25
施工箇所
⊙図示による　・

⑳ ユニット及びその他の工事

・ フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
	・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
(　)
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
(　)
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
(　)
帯電防止性能
・評価値(U)≧0.6
・評価値(U)≧1.2
・
感電防止性能
・漏えい抵抗(R)≧1×10 6 Ω
・

・ 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ			
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による　・　）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし は、
標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆　・

・ 移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ハンガーレール及びランナ
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

⊙ トイレブース

(20.2.5)

表面材の材料	脚部	ドアエッジ
	種類	材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

⊙ 手すり

材料の種類及び仕上げ　(20.2.6)
⊙SUS304　表面処理　※HL程度　・
⊙鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書表14.2.2による種別（　）種）
・アルミニウム 表面処理　(※標準仕様書表14.2.1による種別（　）種)
色合い等　・次の色とする（　）　・標準色　・特注色
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 (材種：　)	・クリヤラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
⊙ビニル製		⊙35程度 ・45程度 ・		ナカ工業 0-34 同等以上

⊙ 階段滑り止め

材種　(20.2.7)
⊙ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等)
・タイヤレス型
端部の形状
⊙フラットエンドあり
・フラットエンドなし
寸法(幅)
⊙35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

・ 黒板及び ホワイトボード G

・黒板　(20.2.9)
区分
※焼き付け　・
種類
・鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑　・
・ホワイトボード

⊙ 鏡

取付け箇所（ 各階WC ）　(20.2.10)
寸法 (mm)
⊙図示による　・
厚さ (mm)
※5　・

⊙ 表示

衝突防止表示　(20.2.11)
⊙設置する（設置する場所：※図示による　・　）
形状・寸法（・30φ　・　）
材質　（・ステンレス製　・　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

⊙ タラップ

材質及び仕上げ　(20.2.12)
⊙SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　種））

・ 煙突ライニング

適用安全使用温度　(20.2.13)
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
・

・ カーテンレール

材料による区分　(20.2.16)
※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分
※10-90　・
仕上げ
※アルマイト　・
形状
※角形　・

⊙ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ (mm)
・90×150　・120×80
⊙120×150　・150×80
・図示による
材種
・集成材（仕上げ：　）
⊙アルミニウム製　押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1による種別
・BC-1種　⊙BC-2種　・
色合い等
・次の色とする（　）　⊙標準色　・特注色
・鋼製（仕上げ：　）

⊙ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ

⊙ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	・一般形 ⊙密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

⊙ 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
⊙垂直 ・	⊙25 ・	⊙完全（全貫通型） ・	⊙耐火型 ・非耐火型	⊙有り ・無し	
⊙水平 ・	⊙25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	⊙シーリング材(見え掛かり部のみ) ・	⊙シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法 (mm)	⊙スリット幅×深さ10 ・	⊙スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	特記仕様書-8	A1 NON A3 NON	特A-08

⊙ エキスパンションジョイント金物

材質	階区分	建築物間のｸﾘｱﾗﾝｽ(mm)	変位追従量(mm)	耐火性能	断熱性能	備考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・	(1)階	⊙50 ・100 ・150 ・	(避難経路の床等) ⊙　以上 (その他) ・　以上	⊙有り (　) ・無し	⊙有り (　) ・無し	

外部に設置するものは、防水型とする。
エキスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講ずる。
※[ABC商会]アーキパンションSシリーズ 同等品以上

⊙ くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ⊙ステンレス鋼（SUS304）製 ・	⊙ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

⊙ 流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
⊙流し台	・1200 ・1500 ⊙1800	・550 ⊙600 ・650	⊙800 ・850	市販品 水栓、トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚	⊙1800 ・900	⊙350 ・600	・500 ⊙800	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能
外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420 の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状
※図示による　・

・ 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・ 旗竿受金物
材種
・ステンレス製（SUS 304）
・

・ 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

⊙ フェンス
フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による　・

・ プレキャストコンクリート
コンクリートの設計基準強度　(20.3.3、4)
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示による
取付け方法
※図示による　・

・ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―		・A ・B	

積み方
※谷積み　・布積み
目塗り
・図示による　・
伸縮調整目地
材種
・図示による　・
厚さ
・図示による　・

・ 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

・ 屋内掲示板
枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

⊙ 洗面カウンター
材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
⊙ 人工大理石
奥行き(mm)
・約450　・約600

・ 防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・ 屋外掲示板
照明器具
※有り　・無し
施錠
※有り　・無し
製造所
・

・ 収納家具
材質、形状、寸法
※図示による　・
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒ ドの放散量
※F☆☆☆☆　・

⊙ バスボックス
材質、形状、寸法
※鋼板焼付塗装 床材 ステンレス　・
※500x500x奥行400　・
※透視窓有
インターロック機構
※有　・

⊙ 消火器ボックス
材質、形状、寸法
※鋼板焼付塗装　全埋め込み型 290x690x160程度
※[ナスタ]KS-FE01F 同等品以上

⊙ ユニットシャワー
形状、寸法
※0812型　・0808型
※[TOTO]JSV0812UL 同等品以上

21 排水工事

⊙ 屋外雨水排水
材料　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示による ・	
⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G		・図示による ・	
	・RS-VU G		・図示による ・	
	⊙VP		・図示による ・	
	・VU		・図示による ・	

基床の厚さ及び種類
・図示による　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
※接着剤　・
側塊の形状及びす法
・図示による　・
排水桝の種類
・図示による　・
砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm2)
※18　・
スランプ(cm)
※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295　・
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)
材質
・ステンレス製
・鋼製
・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

・ 鋳鉄製ふた　(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（ﾊﾟｯｷﾝ式） ・密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・中ふた付き密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

⊙ グレーチング　(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた ・U字溝用	⊙歩行用	⊙細目 ・	・ （　）	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・ （　）	・平形 ・
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	―	・平形 ・

⊙ 街きょ、縁石及び側溝　街きょ、縁石、側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状・寸法
⊙縁石	⊙図示による　・
・L形側溝	・図示による　・
・U形側溝	・図示による　・
・U形側溝ふた	・図示による　・
・	・図示による　・

砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ（mm）
※100　・図示による
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度（N/mm2）
※18　・
スランプ（cm）
※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

⊙ 埋戻し土
※B種　・　(21.2.1)

22 舗装工事

⊙ 路床
路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
⊙盛土	・A種　⊙B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	⊙図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書表21.2.2による）	・図示による ・
・フィルター層	標準仕様書22.2.3(3)による	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ）
・行う
・行わない
・路床安定処理
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類
・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種　G
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　kg/m3（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・
試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　・行わない
路床締固め度の試験
・行う　・行わない
現場CBR試験
・行う　・行わない

⊙ 路盤
路盤の厚さ　(22.3.2、3)(表 22.3.1)
⊙図示による　・
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
⊙再生クラッシャラン G
・再生粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

⊙ アスファルト舗装
アスファルト舗装の構成及び厚さ　(22.4.2～6)(表 22.4.4)
※図示による　・
材料
アスファルト
⊙再生アスファルト G
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材
・道路用砕石
⊙アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
⊙行わない

・ コンクリート舗装
コンクリート舗装の構成及び厚さ　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示による	・図示による　・
	歩行者用通路	・図示による	※70　・

材料
コンクリート
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
・以下による
コンクリートの種類　（　　）
設計基準強度（N/mm2）　（　　）
所定のスランプ（cm）　（※8　・　　）
粗骨材の最大寸法（mm）　（　　）
早強ポルトランドセメント
・使用する　・使用しない
注入目地材料
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・以下による
種類　・
間隔　・（　　）m程度ごと
構造　・図示による
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

カラー舗装
・加熱系カラー舗装　(22.6.2～4)
構成・厚さ
・図示による　・
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　%）
添加材
着色骨材（　　）
自然石　（　　）
・常温系カラー舗装
工法
・ニート工法（配合その他：　　）
・塗布工法　（配合その他：　　）
着色部の下部
・アスファルト舗装
・コンクリート舗装
・
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・ 透水性アスファルト舗装
舗装の構成　(22.7.2、3、6)
・図示による　・
材料
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
・行わない

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン－グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	特記仕様書-9	A1 NON A3 NON	特A-09

・ ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 G (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材
※砂　・空練りモルタル
普通平板は G (再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は G(透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

・インターロッキングブロック舗装 G

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示による ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材
※砂　・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは G(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは G (透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間の段差は3mm以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・	・	・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※70 ・
				・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70 ・

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。
・

・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数
・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

・ 砂利敷き

種別 (22.9.2)
・A種(施工範囲:　・図示による　・通路　・　)
・B種(施工範囲:　・図示による　・建物周囲その他　・　)

・ 路面標示用塗料

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	溶融	粉体状	・白 ・	・150 ・100	・1.0 ・
・1種 G	常温	液状			
・2種 G	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

23 植栽及び屋上緑化工事

・ 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 (23.1.3)
・行う　・行わない
電気伝導度(EC)の試験
・行う　・行わない

⊙ 植栽基盤の整備 (23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備
・適用する　・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100　・120　・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80　・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60　・80) 樹高3m未満 (※50　・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ⊙図示による ・	・適用する ⊙適用しない

植栽基盤の排水設備
・設ける(※図示による　・　)
⊙設けない

⊙ 植込み用土

⊙現場発生土の良質土 (23.2.3)
・客土

・ 土壌改良材

種類及び指定量等 (23.2.3)
・バーク堆肥 G
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり(・50L　・　)
・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) G
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり(・10L　・　)
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
・

・ 樹木

樹種、寸法、株立数等 (23.3.2)
※図示による　・

・ 支柱

支柱材 (23.3.2、3)
※丸太(間伐材) G　・真竹　・
防腐処理方法
※加圧式防腐処理丸太材　・
形式
・図示による　・

・ 幹巻き用材料

材料 (23.3.2)
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

~~⊙ 芝~~

種類 (23.4.2、3)
※コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地
※目地張り　・べた張り
法面
※べた張り法面　・目地張り

・ 吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考
※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上		
・	・		

・ 地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

・ 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置

新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯補償の期間 (23.3.4、6) (23.4.7)(23.5.5)
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

・ 屋上緑化 G

植栽基盤及び材料 (23.5.2～4)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ
・図示による　・
排水層
・軽量骨材(層の厚さ:　)
・板状成形品
植込み用土
※改良土
・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
※図示による　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による　・
支柱
・設置する
・設置しない
形式
・図示による
・
かん水装置
・設置する
・設置しない
種類
・図示による
・
工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法
・図示による
・

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第1項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学(下河東)ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	担当	特記仕様書-10	A1 NON A3 NON	特A-10

工事区分表

1. ◯印の付いたものを適用する
2. ◯が重複する項目は,それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う

名称	摘要	本工事 建築	本工事 電気	本工事 機械	別途工事	別途工事 大学	備考
ｺﾝｸﾘｰﾄ穴あけ	梁,壁木製型枠入	●					墨出し,補修除く
〃	壁ｽﾘｰﾌﾞ入れ	●	●	●			ﾎﾞｲﾄﾞ等
〃	床ｽﾗﾌﾞ木製型枠入	●					墨出し,補修除く
〃	床ｽﾗﾌﾞｽﾘｰﾌﾞ入れ	●	●	●			ﾎﾞｲﾄﾞ等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●					
配管ﾀﾞｸﾄ類の防水 貫通部補修		●		●			
ALC,ECP,外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ ﾊﾟﾈﾙの穴あけ,補修	ﾀﾞｸﾄ等の貫通部	●					位置出し等は各工事
PC版の穴あけ	ｽﾘｰﾌﾞ入れ	●					
同上補修		●	●	●			ﾓﾙﾀﾙ充填等
ｲﾝｻｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ床	●	●	●			
天井点検口	点検口取付及び,開口部補強	●					ﾎﾞｰﾄﾞ切込,墨出し共
軽量鉄骨下地,SP等開口部墨出し	電気設備関係開口部		●				照明器具,SP,ｽｲｯﾁ等
〃	機械設備関係開口部			●			空調吹出口,CP制御ｽｲｯﾁ等
軽量鉄骨下地,SP等開口部補強 (SP:ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ)	天井及び壁,ﾎﾞｰﾄﾞ切開 SPの穴開け加工共	●					照明器具,空調吹出口 給排気ｶﾞﾗﾘ,ｽｲｯﾁ及び 制御BOXの補強共
開口補強を必要としない ﾎﾞｰﾄﾞ等の切開		●	●	●			ﾎﾞｰﾄﾞ切込,墨出し共
特殊仕上材の天井,壁, 床に取付ける器具等の 穴あけ加工		●					石,金属ﾊﾟﾈﾙ等
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●					
床点検口	点検口取付及び,開口部補強	●					墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	●			ﾓﾙﾀﾙ充填等
機器,配管取付後の 壁,床等の補修		●	●	●			
流し台,ﾐﾆｷｯﾁﾝ 本体,水切	ｽﾃﾝﾚｽ製(含む排水金具)	●					水切り板,同穴開け共
同上用配管接続	給排水用			●			
流し台		●					
洗面器等取付化粧板		●					各所ﾄｲﾚ内の手洗いｶｳﾝﾀｰ付 洗面器(ﾎﾞｳﾙ一体型)
エアシャワーユニット		●					取合いシーリングは建築工事
パスボックス		●					
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ		●					
竪樋	防露工事共	●					第1桝までの配管共
雨水排水管	第1桝から排水幹線までの配管	●					
〃	幹線の配管	●					
生活排水,実験排水管	建物及び第1桝までの配管			●			第1桝までの配管共
〃	第1桝から排水幹線までの配管			●			第1桝を含む
〃	幹線の配管			●			
大型機械基礎		●					
同上基礎上鉄骨架台		●					
機器用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	ﾎﾞｲﾗ等機械設備関係機器			●			墨出し,型枠入れ共
〃	自家発電機等電気設備関係機器		●				墨出し,型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共		●	●			
屋外自立盤の基礎	仕上げ共		●	●			
~~屋外貯油槽~~	~~地下式~~			~~●~~			
~~共同溝~~	~~歩床ｺﾝｸﾘｰﾄ~~				~~●~~		
建物,共同溝接続ﾄﾚﾝﾁ		●					
同上接続部止水板		●			●		
各種槽類	ｺﾝｸﾘｰﾄ製	●					
~~〃~~	~~SUS,FRP,鋼製~~			~~●~~			
~~〃~~	~~屋外大型のものの基礎~~	~~●~~					
~~〃~~	~~屋上設置のものの基礎~~	~~●~~					
換気扇取付	ﾀﾞｸﾄのあるもの			●			天井扇等
〃	壁,ｻｯｼ等への取付(材共)			●			ﾌｰﾄﾞ取付共
同上用ｽｲｯﾁ			●	●			
同上用電源配線			●				接続共
同上用枠,取付板等	木製,ｱﾙﾐ製,鉄製	●					
全熱交換器				●			
同上用ｽｲｯﾁ				●			
外壁取付ｶﾞﾗﾘ	給排気用	●					
内壁取付ｶﾞﾗﾘ		●					遮光ｶﾞﾗﾘ共
ｶﾞﾗﾘへの給排気 ﾀﾞｸﾄ接続				●			
煙感知器連動防火戸		●					
同上用ﾚﾘｰｽﾞ	配管配線,ﾎﾞｯｸｽ共		●				
同上用煙感知器	ﾘﾚｰ及びﾘﾚｰまでの配管配線共		●				
排煙防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	ﾘﾚｰ取付まで①			●			
煙感知器連動ｼｬｯﾀｰ	ﾘﾚｰ取付まで②	●					
煙感知器連動防煙垂れ壁	ﾘﾚｰ取付まで③	●					
上記①~③用煙感知器	ﾘﾚｰまでの配管配線共		●				
屋上配管塔(ﾊﾄ小屋)		●					

名称	摘要	本工事 建築	本工事 電気	本工事 機械	別途工事	別途工事 大学	備考
道路側溝用排水	L型,U型と管敷設	●					
制御盤	制御盤以降の配管,配線共		●	●			
同上用電源配線	1次側接続まで		●				接地共
~~屋内消火栓~~	~~消火ﾎﾟﾝﾌﾟ,制御盤~~			~~●~~			
~~屋内消火栓起動ﾘﾚｰ~~			~~●~~				
~~同上表示灯及び起動装置~~			~~●~~	~~●~~			
自動火災報知器			●				
~~連結送水口~~	~~座板共~~			~~●~~			
~~独立煙突~~		~~●~~					
~~同上煙道~~	~~鋼板製~~			~~●~~			
~~同上雷保護設備~~			~~●~~				
配管配線用ﾋﾟｯﾄ		●					
同上配線,結線			●				ﾋﾟｯﾄ内配線,ﾋﾟｯﾄ穴からの 配線出し,末端処理共
~~盤,配管,ﾀﾞｸﾄ,~~ ~~配線用の二重床開口~~	~~ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ等~~	~~●~~					
ｺﾝｸﾘｰﾄｼｬﾌﾄ 点検口		●					
~~天井ﾌｯｸ~~		~~●~~					
機械室,電気室の 防音遮音処理		●					
特殊ｻｲｽﾞ鏡		●					
化粧用洗面器,鏡	化粧ｶｳﾝﾀｰは除く	●		●			鏡のみ建築工事
雷保護設備			●				
保守管理用ﾀﾗｯﾌﾟ, はしご		●					ﾄﾚﾝﾁ,床下部, 屋上
室内ﾃﾚﾋﾞ用吊金物,壁金物		●					ﾃﾚﾋﾞ本体は備品
~~ﾃﾚﾋﾞｱﾝﾃﾅ~~	~~取付共~~		~~●~~				
~~同上用基礎~~		~~●~~					
消火器ボックス		●					消火本体は備品
~~ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ及び~~	~~ｺﾝｸﾘｰﾄ製~~			~~●~~			
~~ｶﾞｿﾘﾝﾄﾗｯﾌﾟ~~	~~ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製~~			~~●~~			
電動ｼｬｯﾀｰの配管配線	二次側>操作盤,押釦取付共	●					
同上用電源配線	一次側接続まで		●				
自動扉の配管配線	二次側	●					
同上用電源配線	一次側接続まで		●				
電気錠操作盤	読取装置(ICｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞｰ)共		●				
同上配管,配線	ﾎﾞｯｸｽ及び天井内突出し配管まで		●				
同上結線			●				
電気錠	配管配線,接続ﾎﾞｯｸｽまで	●					
同上配管,配線	ﾎﾞｯｸｽ及び天井内突出し配管まで		●				接地共
同上結線			●				
~~中央監視装置本体~~	~~関係機器,関係機器間配線を含む~~			~~●~~			
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		~~●~~				
~~同上用信号線~~	~~各ﾒｰｶｰから装置まで~~		~~●~~				~~接地共~~
学内LANの情報用機器	HUB,AP等		●				
同上一次側配管配線			●				
~~結線~~					~~●~~		
院内LANの情報用機器	HUB,AP等		●				
同上一次側配管配線			●				
~~結線~~					~~●~~		
接続無線LANの情報機器	Wi-Fi				●		
同上配管,配線の布設			●				
ICｼｽﾃﾑ(入退室管理)用機器	制御盤,ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞｰ等		●		●		
同上配管,配線の布設			●				
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ本体	据付共	●					
同上用電源配線	一次側接続まで>SWの取付配線共		●				
同上用配管	接続まで			●			
~~冷蔵,冷凍,恒温恒湿,~~ ~~ｼｰﾙﾄﾞ,防音,~~ ~~無響室等の内装~~	~~現場製作~~	~~●~~					
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		~~●~~				
~~同上用照明,ｺﾝｾﾝﾄ~~	~~電源配管配線,接続ﾎﾞｯｸｽ共~~		~~●~~				
~~同上用配管~~	~~接続まで~~			~~●~~			
~~無菌調剤室~~	~~ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ型~~			~~●~~			
~~同上空調設備~~				~~●~~			
~~同上用電源配線~~	~~一次側接続まで~~		~~●~~				
~~同上用照明,ｺﾝｾﾝﾄ~~	~~電源配管配線,接続ﾎﾞｯｸｽ共~~		~~●~~				
~~同上用配管~~	~~接続まで~~		~~●~~				
ｻｲﾝ工事	接続まで	●					取付用補強下地を含む 照明は電気設備工事
照明器具取付工事			●				
~~ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁~~		~~●~~					
植栽		●					
外構		●					
外灯			●				

項目	本工事 建築	本工事 電気	本工事 機械	別途工事	別途工事 大学	備考
(改修工事について)						
既設RC床,壁の穴開け (各設備必要開口の既設壁への穴開け,既設床の開口穴開け)	●	●	●			開口面積0.1㎡≧Sの場合 RC部のｺｱ抜き等も各工事> 防錆処理共各工事
既設RC床,壁の大型開口穴開け及び補強, LGW壁の大型開口の穴開け及び穴開け補強	●					補強が必要な開口のみ建築工事 位置出しは各工事
既設RC床,壁の大型開口閉塞 (各設備用既設壁の穴埋め,既設床開口の穴埋め及び補強)	●					補強が必要な開口のみ建築工事
既設RC床,壁の開口閉塞 (各設備用既設壁の穴埋め,既設床開口の穴埋め)	●	●	●			0.1㎡≧Sの場合 各工事
LGW間仕切壁の閉塞(各壁仕様に準じた仕様による閉塞)	●	●	●			開口の大小にかかわらず 各工事にて既存壁の性能を 保持する仕様で閉塞する
改修工事による既存建物(RI研究棟)各種の復旧	●	●	●			各工事

ｴﾚﾍﾞｰﾀｰは本工事(建築工事)とする

項目	名称	摘要	本工事 建築	本工事 電気	本工事 機械		備考
昇降機関連	昇降機設備本体	三方枠,同取付後の壁補修まで (ﾄﾛ詰め)	●				
	同上用機械室	天井ﾌｯｸ,床ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ,防塵塗料,搬入用等開口, 換気ｶﾞﾗﾘ共	●				
	同上用監視盤		●				
	同上換気扇取付		●				
	各種信号用制御線	停電用,火災用等	●	●			
	三方枠周囲の壁仕上		●				
	各階出入口用開口	敷居取付持出し共	●				
	昇降路内中間ﾋﾞｰﾑ設置		●				
	ﾋﾟｯﾄ内防水		●				
	動力,照明要電源, 接地引き込み			●			
	ｺﾝｾﾝﾄ設置	ﾋﾟｯﾄ内,機械室内		●			
	ｲﾝﾀｰﾎﾝ配線	ｼｬﾌﾄ外,監視盤~制御盤		●			
		ｼｬﾌﾄ内,制御盤内接続共	●				
	非常放送用ｽﾋﾟｰｶｰ		●				
	同上用配線	ｼｬﾌﾄ外,AMP~制御盤		●			
		ｼｬﾌﾄ内,制御盤内接続共	●				
	監視ｶﾒﾗ		●	●			
	同上用配線	ｼｬﾌﾄ外,監視制御装置~制御盤		●			
		ｼｬﾌﾄ内,制御盤内接続共	●				
	点検用ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾋﾟｯﾄ内	●				
	点検用扉	ﾄﾞｱﾏｼﾝ点検扉	●				
	点検用扉	煙感知器点検用		●			ｼｬﾌﾄ内感知器, 点検口一体型は 電気設備工事とする

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	工事区分表	A1 NON A3 NON	特A-11

共通事項

略号凡例

GB-R9.5	普通石膏ボード 9.5mm (NM-8619)	M	モルタル塗	FS(洗)	ビニル床シート（洗浄室仕様、フラット防滑性、抗菌性、耐熱性）
GB-NC9.5	不燃積層石膏ボード 9.5mm (NM-0441)	DP	耐候性塗料塗り(アクリルシリコン樹脂系) 3級	FT(籐)	ビニル床タイル（籐タイル調）
GB-R12.5	普通石膏ボード 12.5mm (NM-8619)	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	TC	タイルカーペット
GB-F12.5	強化石膏ボード 12.5mm (NM-8615)	EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	防塵塗料塗	薄膜型水性アクリル樹脂系塗床0.4mm
GB-FW12.5	強化石膏ボード 耐水仕様 12.5mm (NM-1498)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	PU	硬質ウレタンフォーム ※特記無き場合 t50
GB-S9.5	シージング石膏ボード 9.5mm(QM-0898)	OSUC	オイルステインウレタンクリア(つや無し)	VC	ビニルクロス（一般仕様）(NM-3984)
GB-S12.5	シージング石膏ボード 12.5mm(NM-9639)	GW	グラスウール ※特記無き場合24kg/m3 t50	VC(防)	ビニルクロス（防カビ仕様）(NM-3984)
GB-D9.5	化粧石膏ボード(トラバーチン)9.5mm (NM-1864)	GW-B50	グラスウールガラスクロス額縁貼りボードt50(NM-8610)	VC(ス)	ビニルクロス（スクリーンクロス）(NM-3984)
DR9	ロックウール化粧吸音板 9mm (NM-8599)	GW-D	グラスウール化粧吸音材(NM-2131)	塗床	エポキシ樹脂塗床
FK-D6	化粧珪酸カルシウム板 6mm (NM-4583) ※目透し貼り	VB	ビニル幅木	置床	鋼製置床
FK-DW6	化粧珪酸カルシウム板(木調) 6mm (NM-1897) ※目透し貼り	SUSB	ステンレス幅木 SUS-PL曲げ規制品 10x60	FT(木)	ビニル床タイル（木調）
PB20	パーティクルボード 20mm	FS	ビニル床シート（一般仕様）	GL工法	GL工法壁下地 空気層18～23 仕上厚30
RC(金ゴテ)	コンクリート金ゴテ押え	FS(耐)	ビニル床シート（耐薬仕様、防汚性、抗菌性、消臭性、耐荷重性）	防振浮床	湿式防振浮床 MAFF工法同等以上 浮き高さH=20
RC(※)	コンクリート打放し面 ※種別を示す	FS(防)	ビニル床シート（防汚性、抗菌性、消臭性）		

主要構造部防耐火仕様

壁	1時間耐火?RC造t=70以上(告示第1399号第一 二号-イ)
柱	1時間耐火?RC造 (告示第1399号第二 三号-ロ)
床	1時間耐火?RC造t=70以上(告示第1399号第三 二号-イ)
梁	1時間耐火?RC造 (告示第1399号第四 三号-ロ)
屋根	30分耐火 RC造 (告示第1399号第五 一号)
114条区画	1時間耐火?LGS認定工法 (FP060NP-0175)

特記事項

- 乾式壁及び天井下地は全てLGS(不燃材料)とする
- 特記以外の建物内部の鉄面はSOP塗りとする
- 内装仕上下地、造作家具等の材料建材及び接着剤は全て F☆☆☆☆または 告示対象外のものとする、GL工法厚さは図面を示す
- 建築材料中にクロルピリポスの使用はないものとする
- 114条区画壁及び遮音壁のLGS及びボード下地は、スラブ裏まで設けること その他の壁のLGS及びボード下地は、天井止めとする

外部仕上表

区分	部位	下地	仕上
屋根 1～3	陸屋根	RC(B)	断熱保護アスファルト防水(AⅠ-2) 断熱材押出法ポリスチレンフォーム 3種bA t100
	防水立上り	RC(B)	アスファルト防水+保護モルタルt30
	パラペット	RC(金ゴテ)	ウレタン塗膜防水(X-2)
	ルーフ ドレイン	—	鋳鉄製φ100 (縦型、横型) 防塵カバー付き
	設備基礎 天端	RC(金ゴテ)	ウレタン塗膜防水(X-2)
	設備架台	—	H-150x75x5x7x8 溶融亜鉛めっき仕上
	その他	—	SUS製丸環

区分	部位	下地	仕上
ルーフ テラス 1・2	ウッドデッキ	屋外用鋼製束	人工木材ウッドデッキ 145x30
	陸屋根	RC(B)	断熱保護アスファルト防水(AⅠ-2) 断熱材スタイロフォームt100
	防水立上り	RC(B)	アスファルト防水+保護モルタルt30
	パラペット	RC(金ゴテ)	ウレタン塗膜防水(X-2)
	ルーフドレイン	—	鋳鉄製φ100 (縦型) 防塵カバー付き
	落下防止手すり	—	SUS FB-75x9 焼付塗装処理 H=1200
スロープ	床	RC	刷毛引き仕上
	立上り壁	RC(B)	複層塗材E
	手すり	—	SUS FB-75x9 焼付塗装処理 H=800

区分	部位	下地	仕上
床	エントランス ポーチ	RC+M	300角磁器質タイル(防滑仕様)
	テラス床 ウッドデッキ	屋外用鋼製束	人工木材ウッデッキ 145x30
	落下防止手すり	—	SUS FB-75x9 焼付塗装処理 H=1200
庇1	上端	RC(金ゴテ)	ウレタン塗膜防水(X-2)
	はな先面	RC(B)	St-PL t0.6 曲げ DP
	軒裏	LGS	アルミスパンドレル t0.8 面幅200
		RC(B)	外装薄塗材E
		LGS	GB-S9.5+FK-D(W)
	軒裏 小口塞ぎ	LGS	St-PL t0.6 曲げ DP

区分	部位	下地	仕上
庇2	上端	RC(金ゴテ)	ウレタン塗膜防水(X-2)
	水切り	RC(B)	SUS-PL t1.0 端部曲げ 上面ウレタン塗膜防水(X-2)カブセ
	はな先面	RC(B)	複層塗材E
	軒裏	RC(B)	外装薄塗材E
外壁	南、北壁	RC(A)	コンクリート打放しの上 クリア塗装
	南、北壁 3階レリーフ	RC(A)	コンクリート打放しの上 クリア塗装(グレー着色) レリーフ深さ50
	東壁 庇2袖壁	RC(B)	複層塗材E
	西壁 階段1 EV部外壁	RC(B)	可とう形外装薄塗材E (ジョリパッド同等) (階段1、EV部外壁はカラー着色)

区分	部位	下地	仕上
排水	竪樋	—	アルミ製バンドレス竪樋 φ114、φ89
建具	サッシ ガラリ	—	アルミ製B-2(ステンカラー)
	カーテン ウォール	—	アルミ製B-2(ブラック)
	自動ドア	—	アルミ製B-2(ブラック)
	扉	—	鋼製 DP塗
ピット	床、壁	RC(C)	—
	天井	RC(C)	押出法ポリスチレンフォーム 3種bA t50打込
	その他	タラップ 通気管 通水管	SUS304 φ22 ノンスリップタイプ φ100 φ150半割

内部仕上表

階	室番	室名	SL	FL	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 基材	壁 仕上	天井 下地	天井 基材	天井 仕上	廻縁	天井高	内装制限等 法規制注記	備考
1		ホール	-30	±0	RC+M	300角 タイル	SUSB	60	RC GL工法	— GB-R12.5	可とう形外装薄塗材E FK-DW6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2800 6800	・下地仕上共不燃 （令第112条第9項1号）	・造作家具
		風除室	-30	±0	RC+M	300角 タイル	SUSB	60	RC	—	可とう形外装薄塗材E	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2800		・受付カウンター ・靴拭マット ・点字ブロック
	101	オープンラボ	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC GL工法 LGS LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 （令第111条第1項2号） （114条区画で適合）	
	102	培養室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC LGS LGS	— GB-R9.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 （令第111条第1項2号） （114条区画で適合）	
	103	STED	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 （令第111条第1項2号） （114条区画で適合）	
	104	電気機械室	-200	±0	RC + 防振浮床	塗床	—	—	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5	GW-B50x2 GW-B50x2 GW-B50x2	—	—	GW-B50x2		直天		・設備基礎1～4 ・床下点検口600角密閉型
	105	倉庫1	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5+12.5	EP-G EP-G EP-G	—	—	GB-D9.5	塩ビ	2400		
	106	ロッカー	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5+12.5	EP EP EP	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400 一部 直天	・下地仕上共不燃 （令第112条第9項1号）	・床下点検口600角密閉型
	107	GLIAオフィス	-10	±0	RC	TC	VB	60	GL工法 LGS LGS	GB-R12.5 GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	VC VC VC	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		
	108	湯沸室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	LGS LGS LGS	GB-F12.5x2 GB-R9.5+GB-S12.5 GB-R9.5+GB-S12.5	VC VC メラミン化粧板	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・流し1 L1800xD600 ・吊戸棚 L1800xD350
	109	センター長室	-10	±0	RC	TC	VB	60	GL工法 LGS LGS	GB-R12.5 GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	VC	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		

階	室番	室名	SL	FL	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 基材	壁 仕上	天井 下地	天井 基材	天井 仕上	廻縁	天井高	内装制限等 法規制注記	備考
1	110	ミーティング ルーム	-10	±0	RC	TC	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	VC VC(一部VC(ス))	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 （令第111条第1項2号） （114条区画で適合）	
	111	オールジェンダー トイレ	-10	±0	RC	FS(防)	VB	60	LGS LGS	GB-F12.5x2 GB-S9.5	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		
	112	倉庫2	-10	±0	RC	FS	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2400		
	113	SK	-10	±0	RC	FS(防)	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5+GB-S12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2400		・ライニング W800xD150
	114	WWC	-10	±0	RC	FS(防) FS	VB	60	GL工法 LGS LGS	GB-S12.5 GB-S12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・パウダーカウンター L1800x150 ・鏡x4 W350x800 ・姿見 W300x1500 ・手洗いカウンター L1800x500 ・ライニングx2 W900xD200 ・紙巻器x2 W320xD120(別途工事)
	115	MWC	-10	±0	RC	FS(防) FS	VB	60	GL工法 LGS LGS	GB-S12.5 GB-S12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・パウダーカウンター L1050x150 ・鏡x3 W350x800 ・姿見 W300x1500 ・手洗いカウンター L2150x500 ・ライニングx2 W900xD200 ・紙巻器x2 W320xD120(別途工事)
	116	倉庫3	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法	— GB-R12.5	EP-G	—	—	EP-G		直天		
2	201	オープンラボ スペース	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC GL工法 LGS LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 （令第111条第1項2号） （114条区画で適合）	
	202	質量分析室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 （令第111条第1項2号） （114条区画で適合）	
	203	湯沸室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	LGS LGS LGS	GB-F12.5x2 GB-R9.5+GB-S12.5 GB-R9.5+GB-S12.5	メラミン化粧板 メラミン化粧板 EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・流し1 L1800xD600 ・吊戸棚 L1800xD350

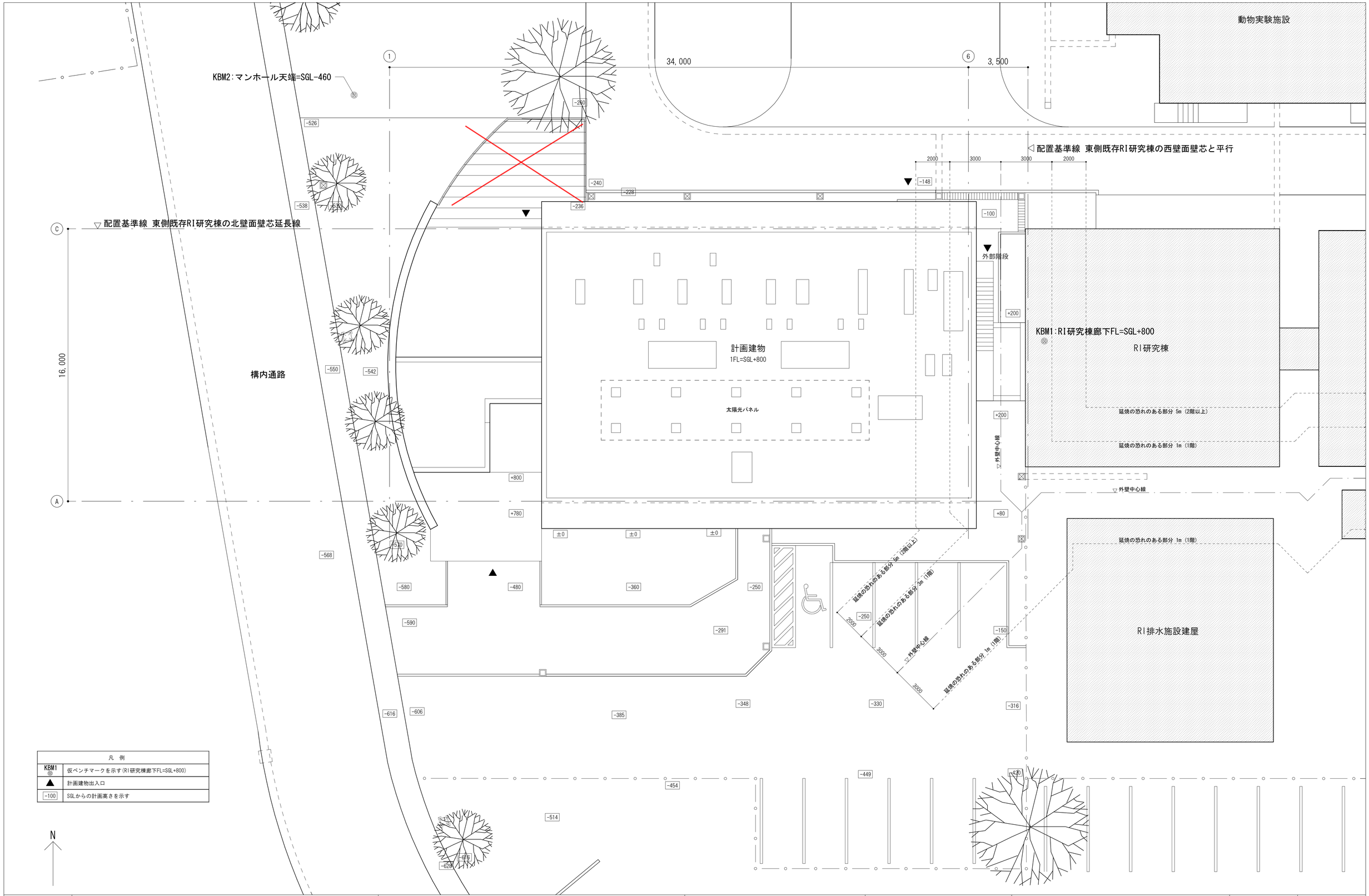
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	担 当	仕上表-1	A1 NON A3 NON	A-03

内部仕上表

階	室番	室名	SL	FL	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 基材	壁 仕上	天井 下地	天井 基材	天井 仕上	廻縁	天井高	内装制限等 法規制注記	備考
2	204	前室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	・エアシャワー 1100x1000
	205	2光子	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	206	広域2光子	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	207	マウス保管施設	-10	±0	RC	FS(耐)	床材 立上	100	RC LGS LGS	— GB-F12.5+GB-FW12.5 GB-R9.5	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-S9.5	FK-D6	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	208	前室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC LGS	— GB-F12.5x2	EP-G FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	・ネズミ返しx3 1280x400
	209	ファカルティ スペース1	-10	±0	RC	TC	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	VC	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	210	ファカルティ スペース2	-10	±0	RC	TC	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	VC	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	211	セミナールーム	-10	±0	RC	TC	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	VC VC(一部VC(ス))	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	・プロジェクタハンガー
	212	SK	-10	±0	RC	FS(防)	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5+GB-S12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2400		・ライニング W800xD150
	213	WWC	-10	±0	RC	FS(防) FS	VB	60	GL工法 LGS LGS	GB-S12.5 GB-S12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		~~・パウダーカウンター L1800x150~~ ・鏡x4 W350x800 ~~・姿見 W300x1500~~ ~~・手洗いカウンター L1800x500~~ ・ライニングx2 W900xD200 ・紙巻器x2 W320xD120(別途工事)
	214	MWC	-10	±0	RC	FS(防) FS	VB	60	GL工法 LGS LGS	GB-S12.5 GB-S12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・パウダーカウンター L1050x150 ・鏡x3 W350x800 ・姿見 W300x1500 ・手洗いカウンター L2150x500 ・ライニングx2 W900xD200 ・紙巻器x2 W320xD120(別途工事)
3	301	SCANET	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	302	インテリケージ	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	303	行動実験室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	304	マウス保管施設	-10	±0	RC	FS(耐)	床材 立上	100	GL工法 LGS	GB-S12.5 GB-F12.5+GB-FW12.5	FK-D6	LGS	GB-S9.5	FK-D6	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	305	ロータロッド	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	306	驚愕反射	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC LGS LGS	— GB-R9.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	307	3チャンバー	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5 GB-F12.5x2	FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	308	マウス飼育室1	-10	±0	RC	FS(耐)	床材 立上	100	LGS	GB-F12.5+GB-FW12.5	FK-D6	LGS	GB-S9.5	FK-D6	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	309	マウス飼育室2	-10	±0	RC	FS(耐)	床材 立上	100	LGS	GB-F12.5+GB-FW12.5	FK-D6	LGS	GB-S9.5	FK-D6	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	310	マウス飼育室前室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	RC LGS LGS	— GB-R9.5 GB-F12.5x2	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	・ネズミ返しx2 1280x400
	311	洗浄室	-10	±0	RC	FS(洗)	VB	60	RC LGS GL工法	— GB-F12.5+GB-FW12.5 GB-S12.5	EP-G FK-D6 FK-D6	LGS	GB-S9.5	FK-D6	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	・洗浄機置場
	312	パスルーム1	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC LGS LGS	— GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		
	313	パスルーム2	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法 LGS LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		
	314	オープンラボ スペース	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	315	ラット飼育室	-10	±0	RC	FS(耐)	床材 立上	100	GL工法 LGS	GB-S12.5 GB-F12.5+GB-FW12.5	FK-D6	LGS	GB-S9.5	FK-D6	塩ビ	2400	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	・パスボックス

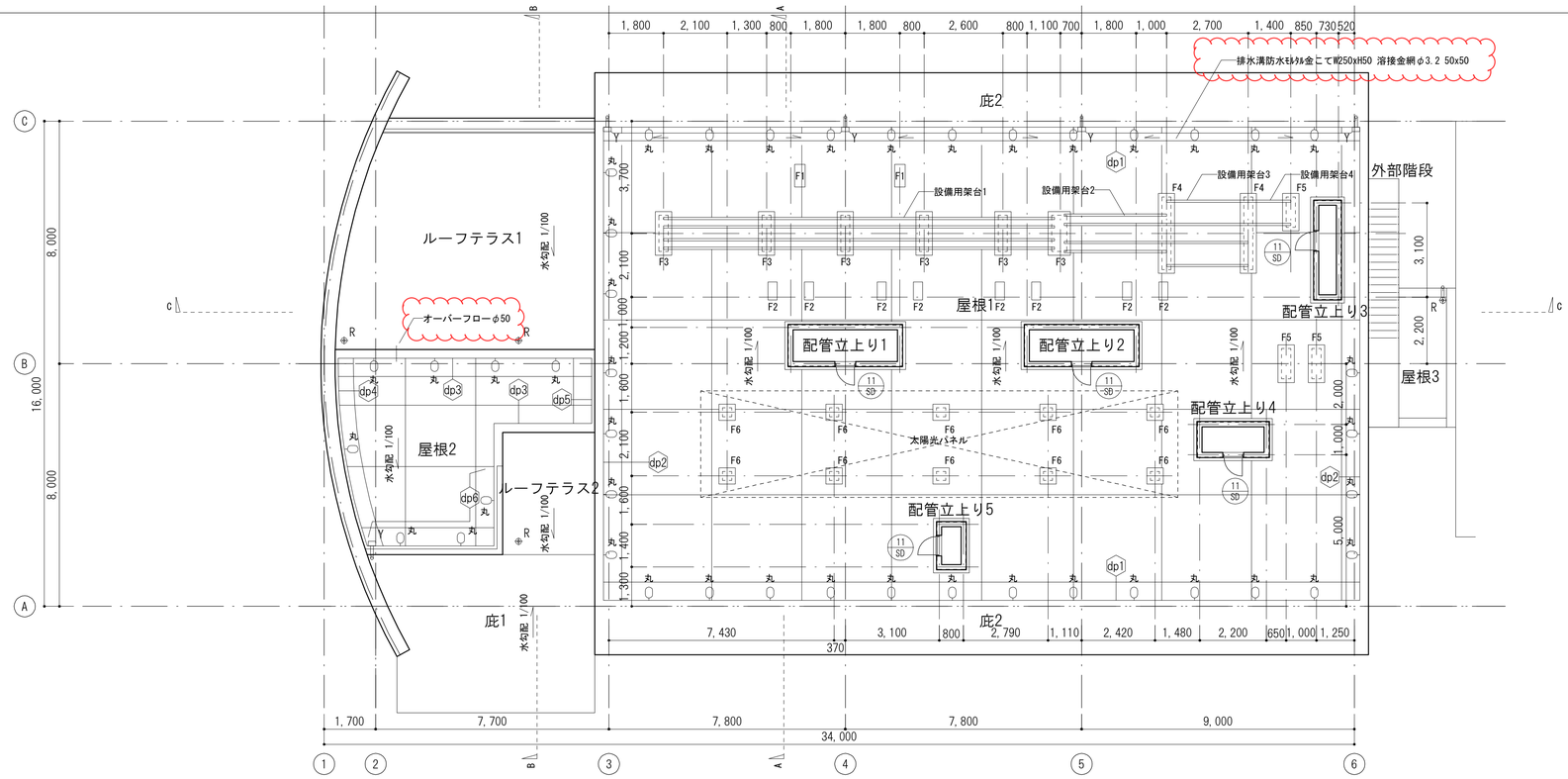
階	室番	室名	SL	FL	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 基材	壁 仕上	天井 下地	天井 基材	天井 仕上	廻縁	天井高	内装制限等 法規制注記	備考
3	316	MRI室	-10	±0	RC	FS(耐)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	317	SK	-10	±0	RC	FS(防)	VB	60	LGS LGS	GB-S9.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2400		・ライニング W800xD150
	318	MWC	-10	±0	RC	FS(防)	VB	60	LGS	GB-S12.5	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・鏡 W350x800 ・手洗い L380x180(別途工事) ・ライニング W1000xD200 ・紙巻器 W320xD120(別途工事)
	319	WWC	-10	±0	RC	FS(防)	VB	60	LGS	GB-S12.5	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2400		・鏡 W350x800 ・手洗い L380x180(別途工事) ・ライニング W1000xD200 ・紙巻器 W320xD120(別途工事)
	320	M脱衣	-10	±0 +187	RC 置床 +PB20	FS FT(籐)	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5+GB-S12.5 GB-F12.5+GB-FW12.5	VC(防)	LGS	GB-S9.5	DR9	塩ビ	2400		・SUS製上り框 H187xW35 ・脱衣棚 ・タオルフック
	321	W脱衣	-10	±0 +187	RC 置床 +PB20	FS FT(籐)	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5+GB-S12.5 GB-F12.5+GB-FW12.5	VC(防)	LGS	GB-S9.5	DR9	塩ビ	2400		・SUS製上り框 H187xW35 ・脱衣棚 ・タオルフック
	322	MUS	-10	±0	RC	—	—	—	RC	—	—	—	—	—		直天		・ユニットシャワー0812型
	323	WUS	-10	±0	RC	—	—	—	RC	—	—	—	—	—		直天		・ユニットシャワー0812型
	324	機械室	-10	±0	RC	塗床	—	—	RC	—	GW-B50x2	—	—	GW-B50x 2		直天		
	325	マウス処理室	-10	±0	RC	FS(耐薬)	VB	60	GL工法 LGS	GB-R12.5 GB-F12.5x2	FK-D6	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・主要構造部不燃 (令第111条第1項2号) (114条区画で適合)	
	326	ケージ保管庫	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法 LGS LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2400		
共通		PS	-10	±0	RC	防塵塗装	—	—	LGS LGS LGS	— — GB-F12.5x2	—	—	—	—		直天		
		PS・EPS	-10	±0	RC	防塵塗装	—	—	RC LGS	— GB-F12.5x2	—	—	—	GW-B50		直天		
		1F廊下 2F廊下 3F廊下5・6	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		・ネズミ返しx9 1280x400
		3F廊下1	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法 LGS LGS	— GB-R12.5 GB-F12.5x2 GB-R9.5+12.5	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		・ネズミ返しx2 1280x400
		3F廊下2	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC LGS LGS	— GB-F12.5x2 GB-R9.5+12.5	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		・ネズミ返し 1280x400
		3F廊下3・4	-10	±0	RC	FS	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		
		3F前室	-10	±0	RC	FS	VB	60	LGS LGS	GB-R9.5+12.5 GB-F12.5x2	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		
		階段1	-10	±0	RC	FT(木)	VB	60	RC GL工法 LGS	— GB-R12.5 GB-R9.5+12.5	EP FK-DW6 EP	LGS —	GB-R9.5 —	DR9 EP	塩ビ	2700 直天		・手すり ・SUS製段鼻ノンスリップ ・点字ブロック
		階段2	-10	±0	RC	FS	VB	60	RC GL工法	— GB-R12.5	EP-G	LGS —	— —	GB-D9.5 EP-G	塩ビ	2400 直天		・手すり ・SUS製段鼻ノンスリップ
		渡り廊下	-10	±0	RC	FS	VB	60	GL工法	GB-R12.5	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700		・床下点検口600角密閉型
		2,3階ホール	-10	±0	RC	FT(木)	VB	60	RC GL工法	— GB-R12.5	EP	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2700	・下地仕上共不燃 (令第112条第9項1号)	

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	仕上表-2	A1 NON A3 NON	A-04



設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	配置図	A1 1/100 A3 1/200	A-02

PH階 平面図

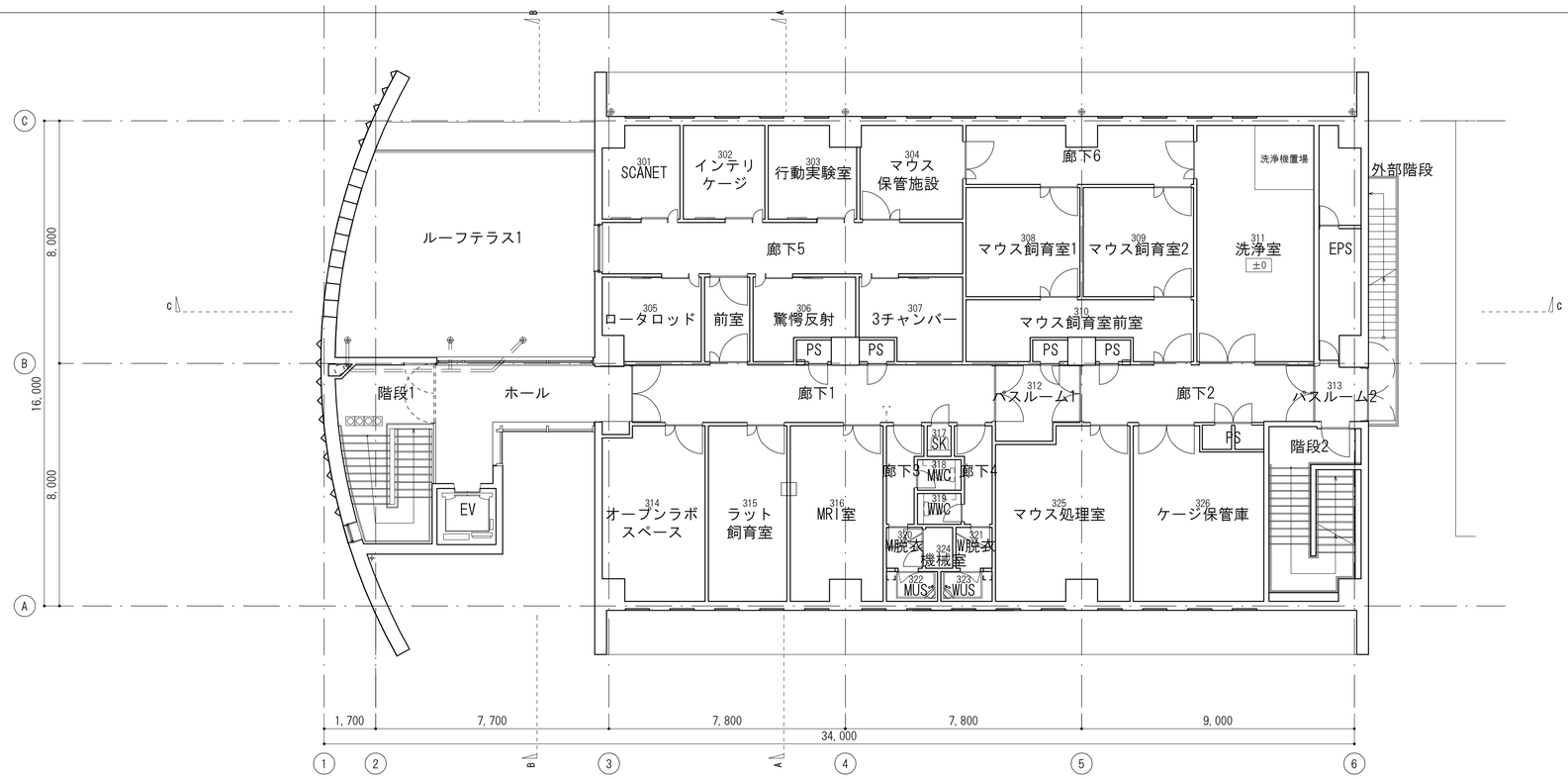


基礎・設備架台リスト		
基礎	形状	平面寸法x箇所数
F1	H200 押えコンクリートフカシ	350 × 750 × 2
F2	H200 押えコンクリートフカシ	300 × 600 × 8
F3	H650 防水押えあご付	540 × 1440 × 6
F4	H650 防水押えあご付	540 × 2640 × 2
F5	H650 防水押えあご付	540 × 1240 × 3
F6	H650 防水押えあご付	540 × 540 × 10
設備用架台1	H-150x75x5x7x8	L=13m 4本
設備用架台2	H-150x75x5x7x8	L=3.4m 4本
設備用架台3	H-150x75x5x7x8	L=2.7m 4本
設備用架台4	H-150x75x5x7x8	L=1.4m 2本

※基礎と設備用架台固定は2-M16 L320とする

凡 例	
dp1	パラペット種別を示す
F1	機械設備基礎を示す
水勾配	水勾配を示す
R ⊕	ルーフドレン(竪型)を示す
Y	ルーフドレン(横型)を示す
丸	SUS製丸環 43箇所

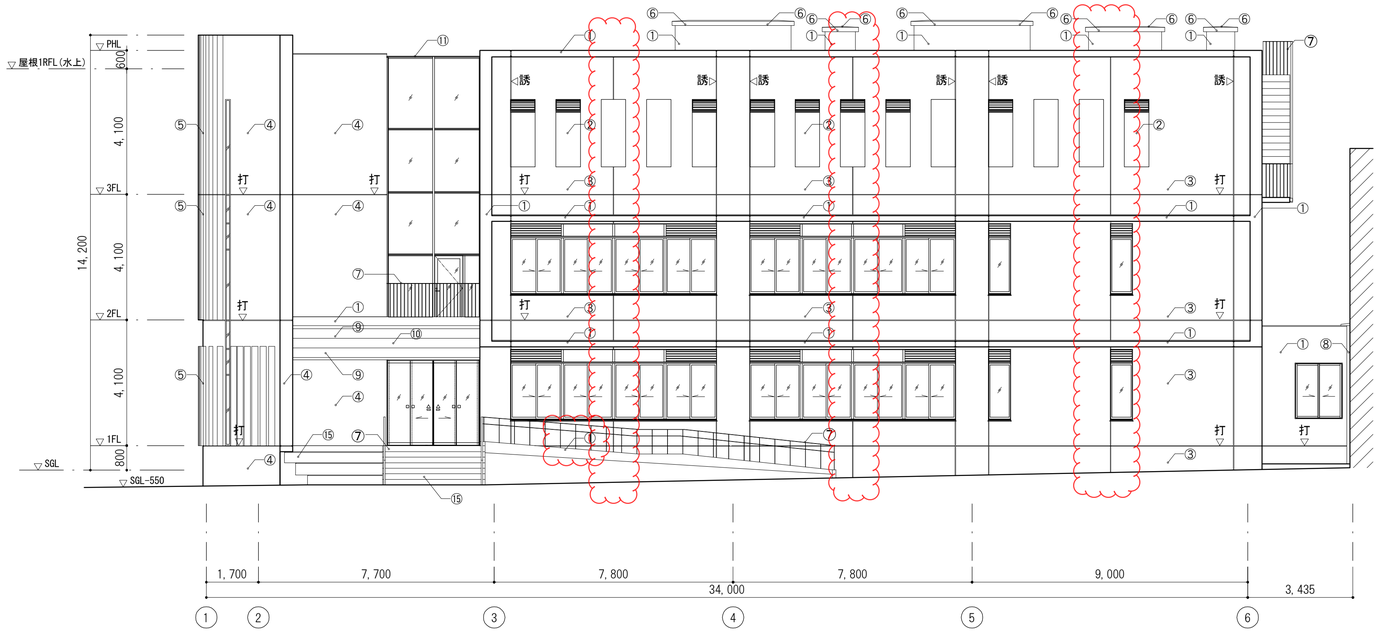
3階 平面図



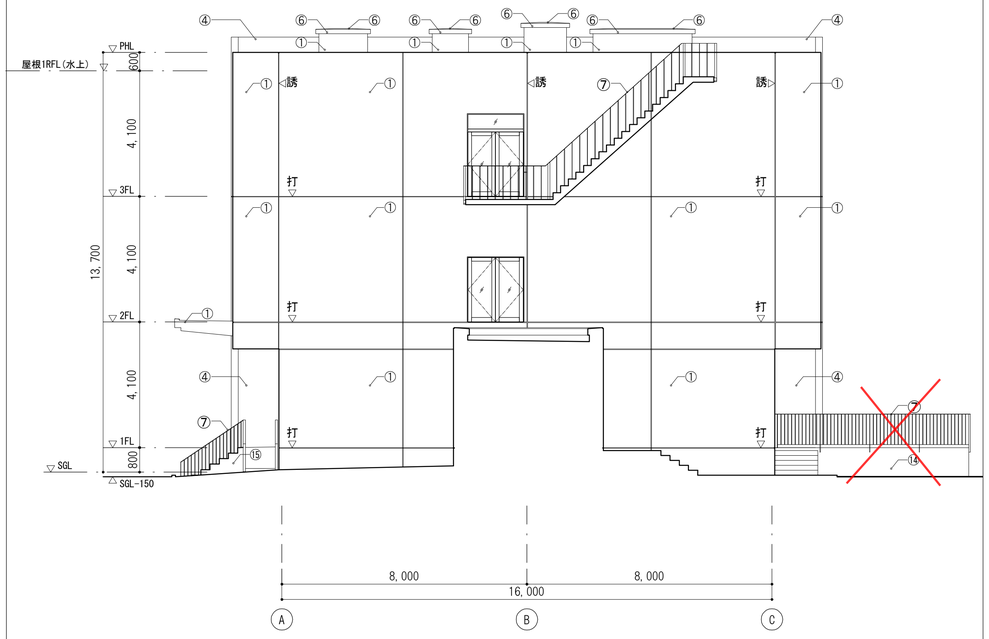
凡 例	
▲	計画建物出入口
±0	FLからの高低を示す(特記なき限り±0)
⊕	竪樋を示す
	緊急シャワーを示す

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン―グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	3・PH階平面図・屋根伏図	A1 1/100 A3 1/200	A-08

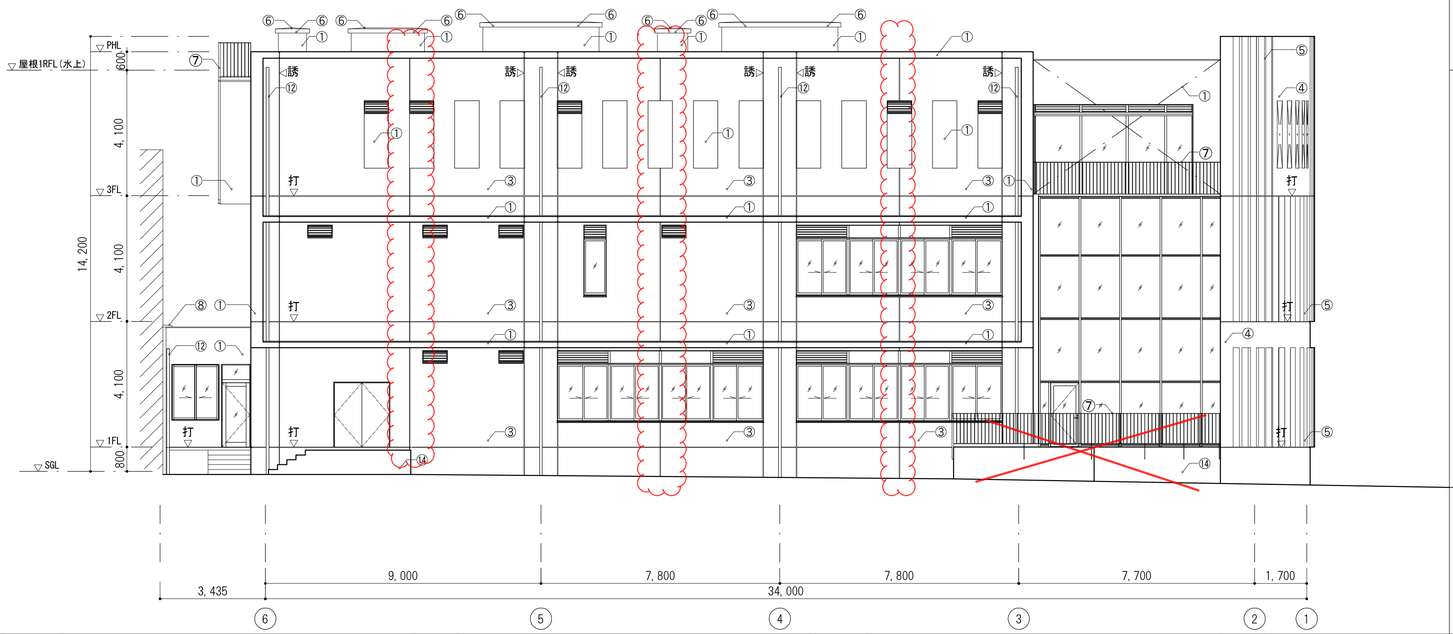
南立面図



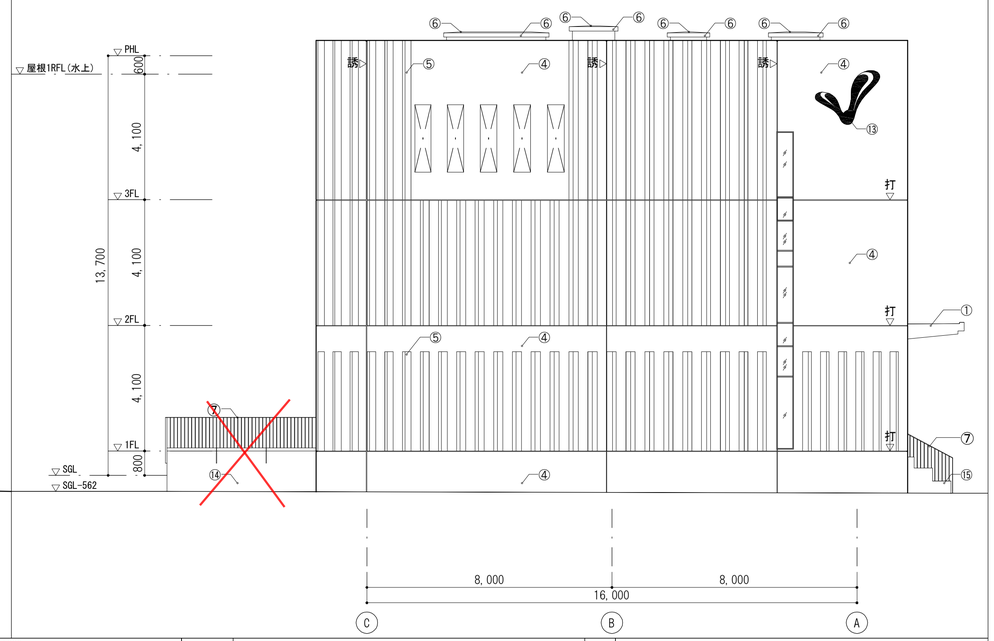
東立面図



北立面図

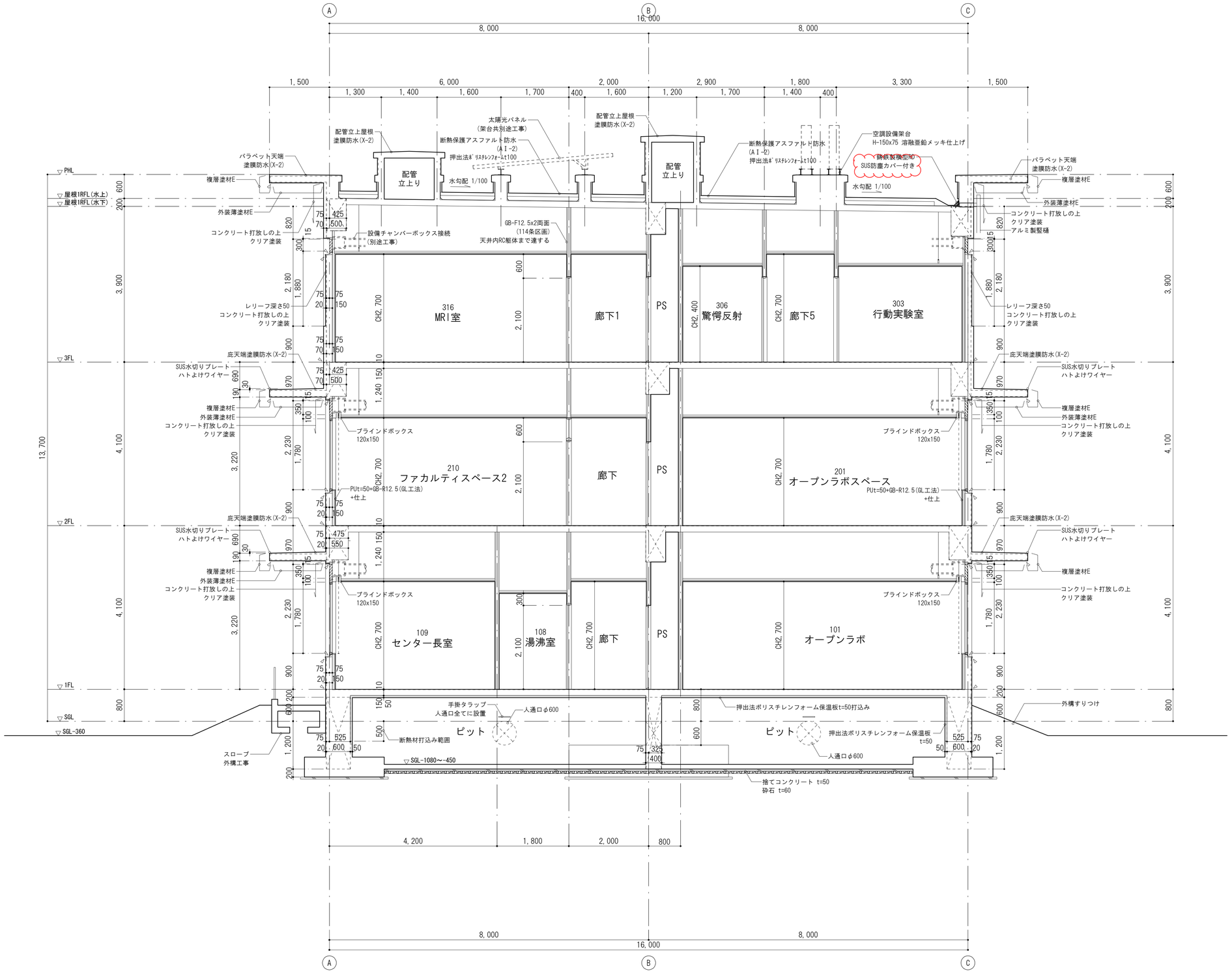


西立面図

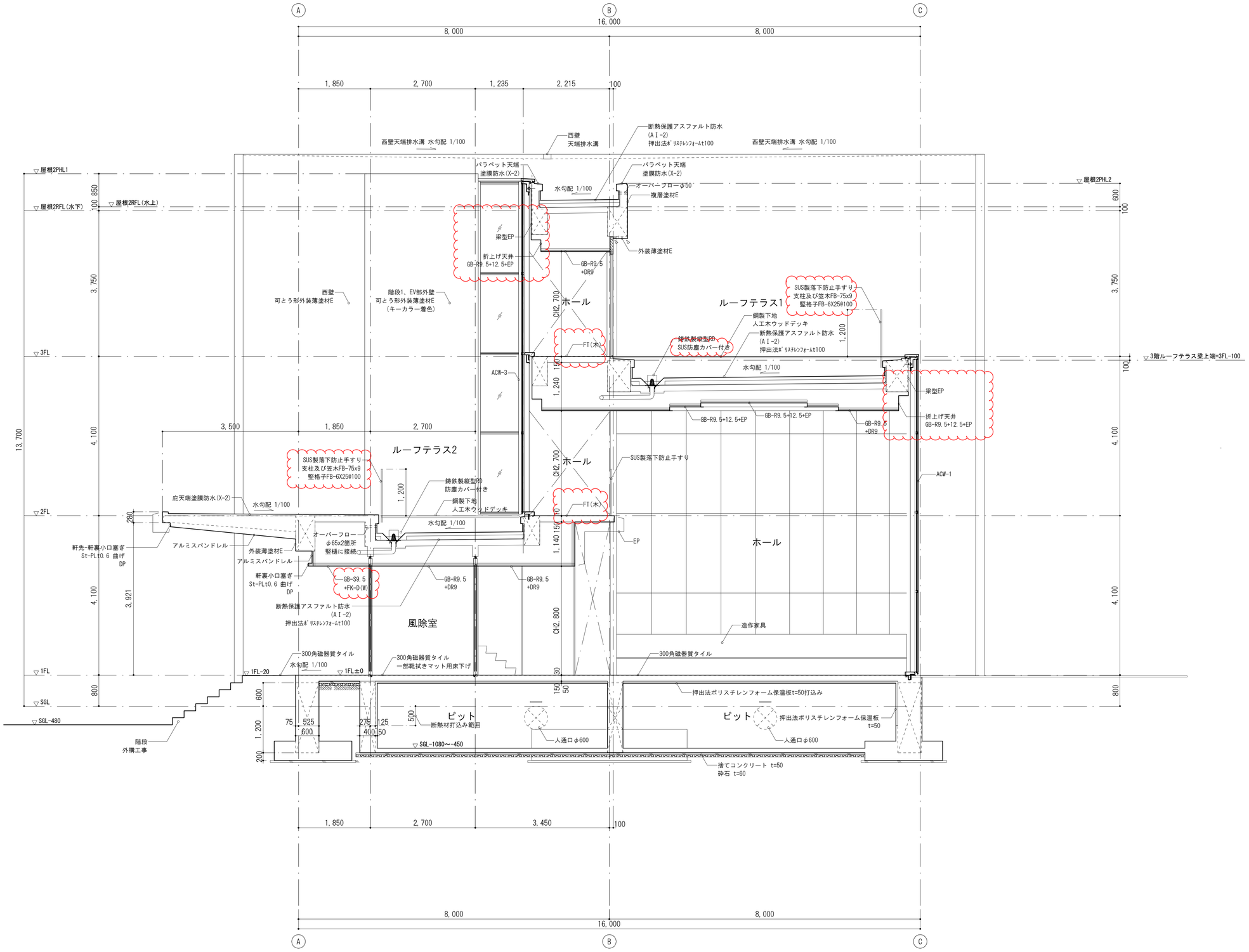


壁種別凡例											
	①	複層塗材E	⑤	化粧リブ（可とう形外装薄塗材E）	⑨	アルミスパンドレル	⑬	山梨大学ブランドマークサイン 2000x1800 SUS製 箱文字 焼付塗装	▽打	打継目地を示す	特記事項
	②	コンクリート打放しの上 クリア塗装 レリーフ深さ50	⑥	ウレタン塗膜防水(X-2)	⑩	外装薄塗材E	⑭	コンクリート素地(外構工作物)	▽誘	誘発目地を示す	
	③	コンクリート打放しの上 クリア塗装	⑦	SUS製手摺	⑪	アルミニ笠木	⑮	300角磁器質タイル(外構工作物)	▽ス	構造スリット(構造図参照)	
	④	可とう形外装薄塗材E	⑧	アルミ製 EXP.J	⑫	アルミ製バンドレス厳樋					

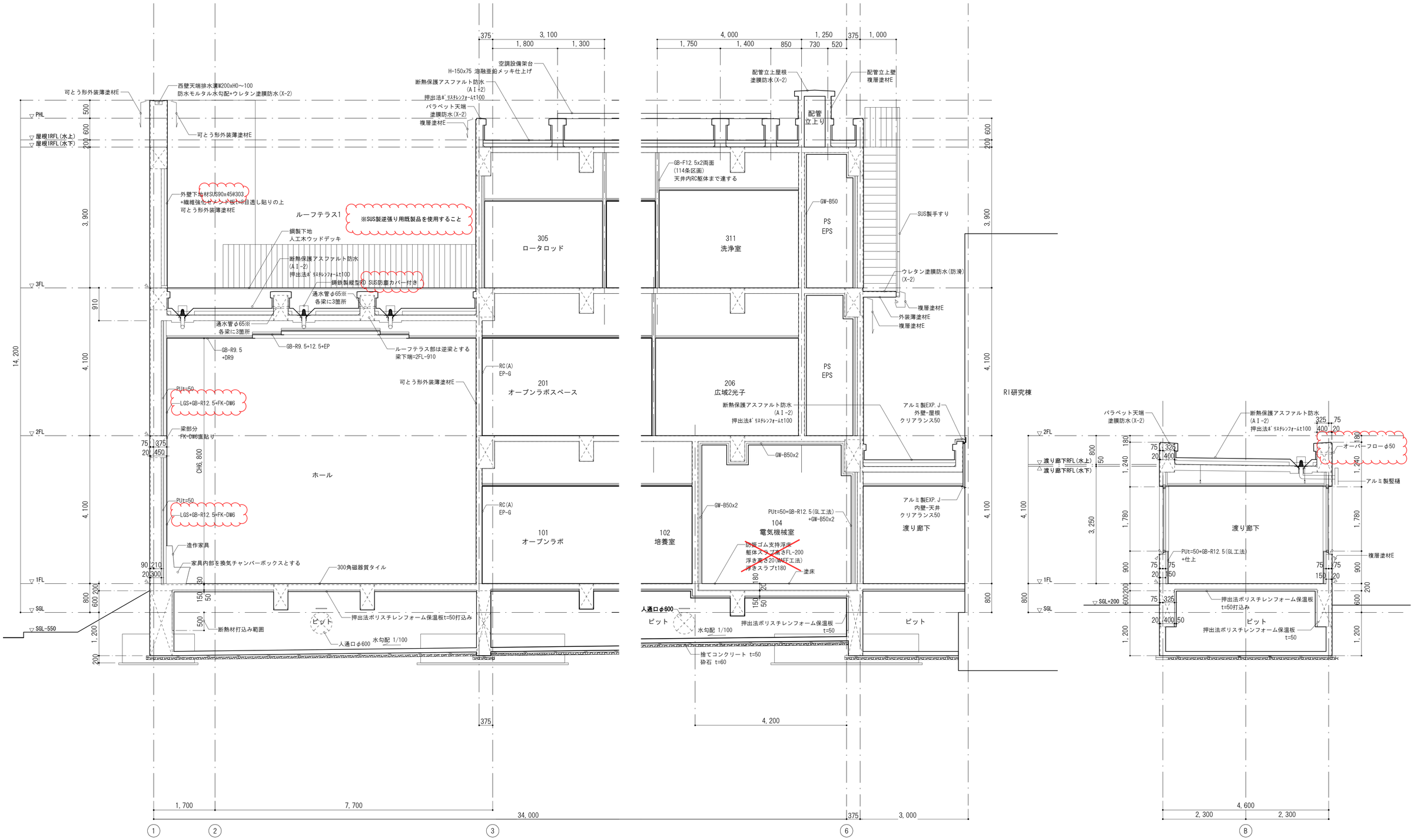
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	立面図	A1 1/100 A3 1/200	A-09



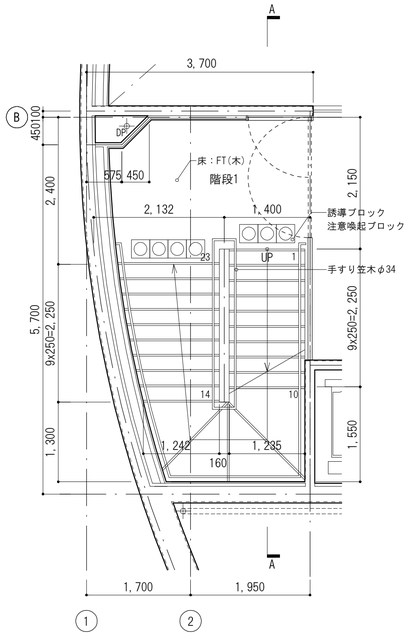
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	矩計図-1	A1 1/50 A3 1/100	A-11



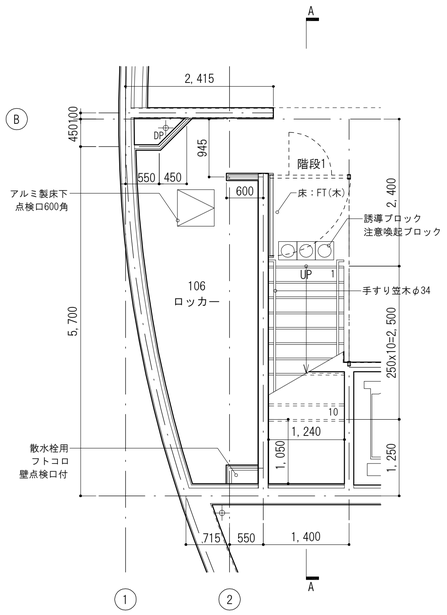
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	矩計図-2	A1 1/50 A3 1/100	A-12



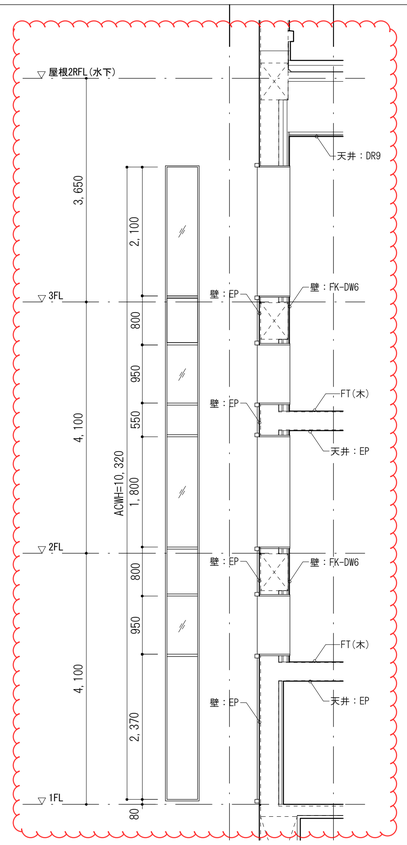
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	矩計図-3	A1 1/50 A3 1/100	A-13

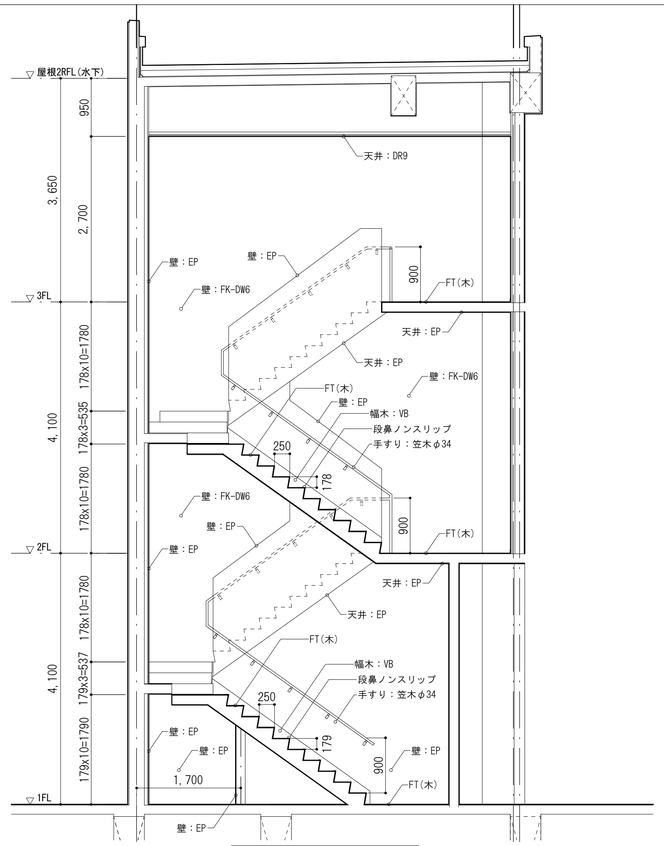


2階-階段 1

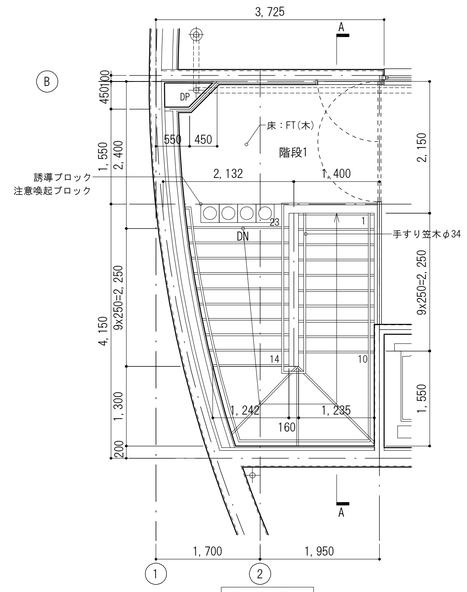


1階-階段 1



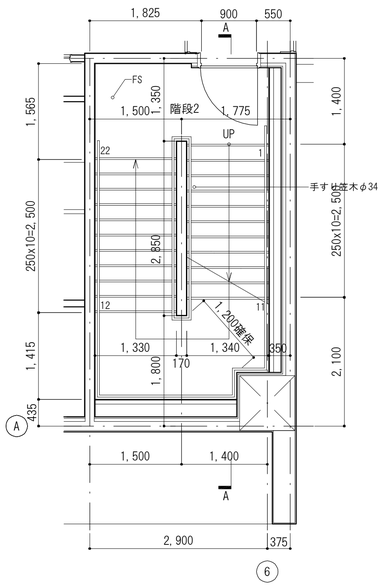


A-A 断面詳細階段 1

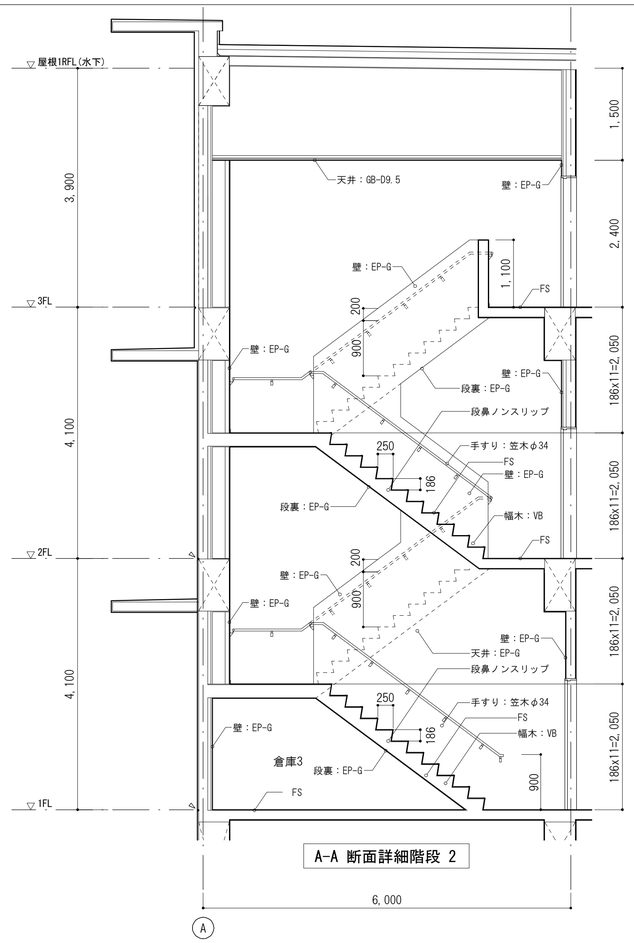


3階-階段 1

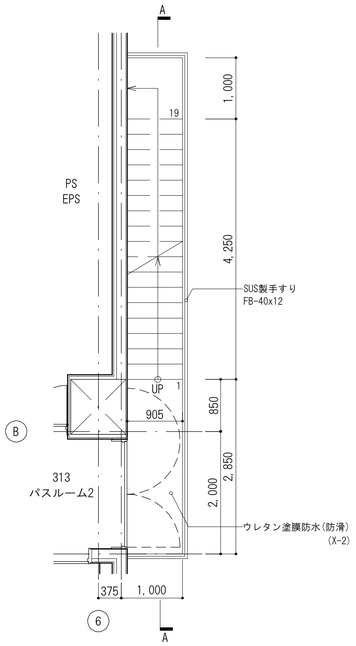
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	階段詳細図-1	A1 1/50 A3 1/100	A-14



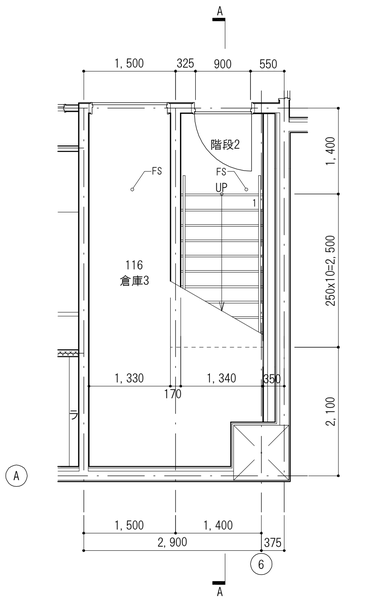
2階-階段 2



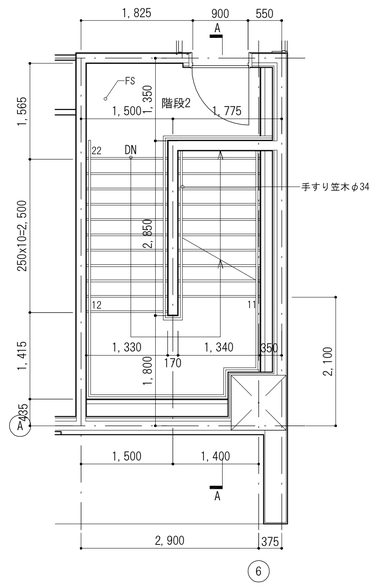
A-A 断面詳細階段 2



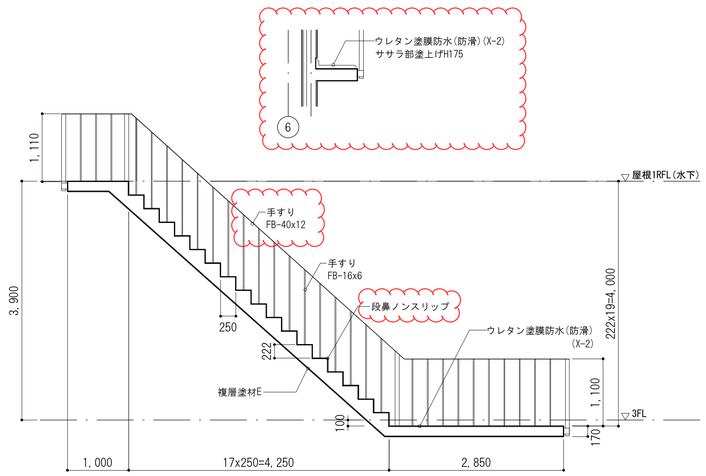
A-A 断面詳細外部階段



1階-階段 2

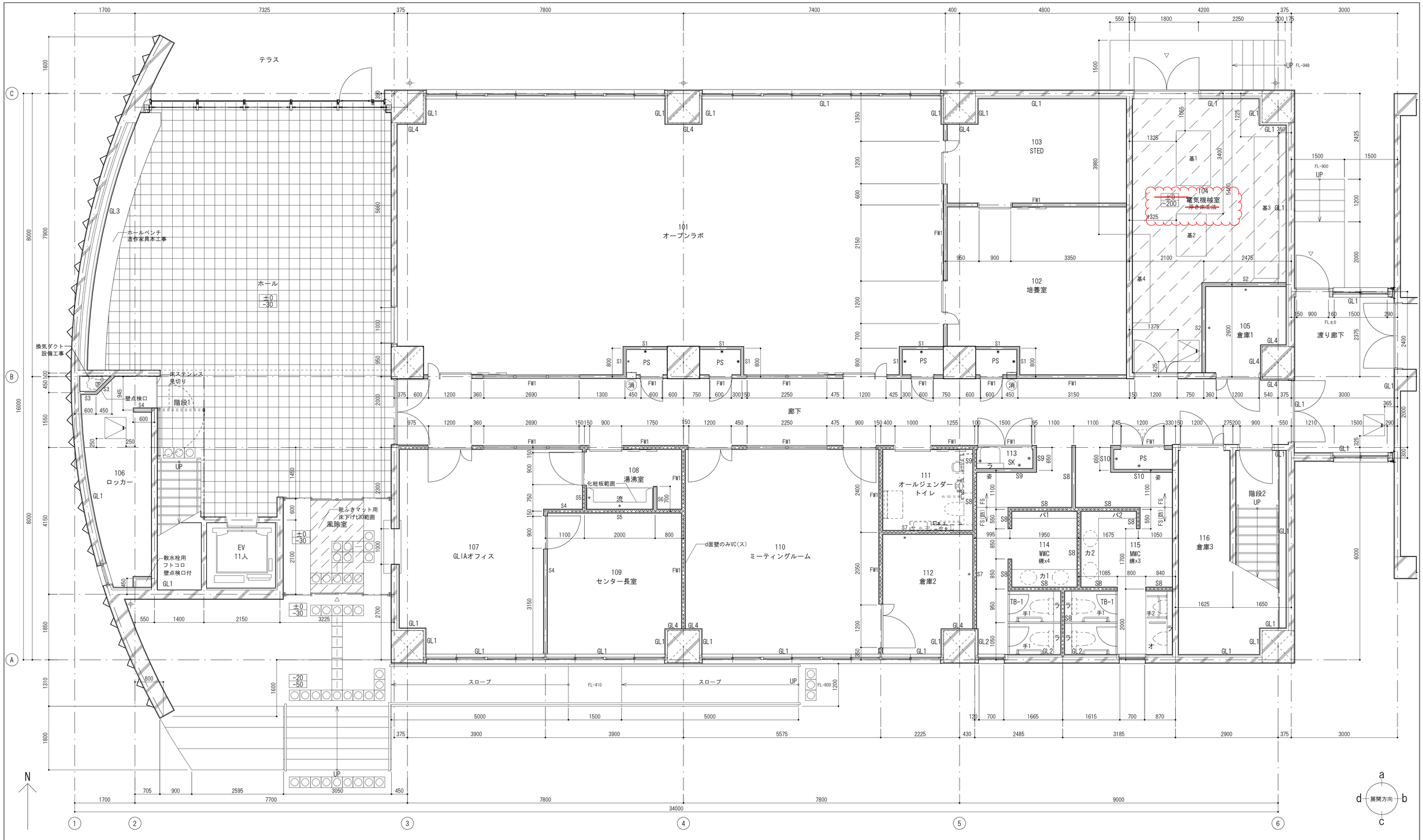


3階-階段 2



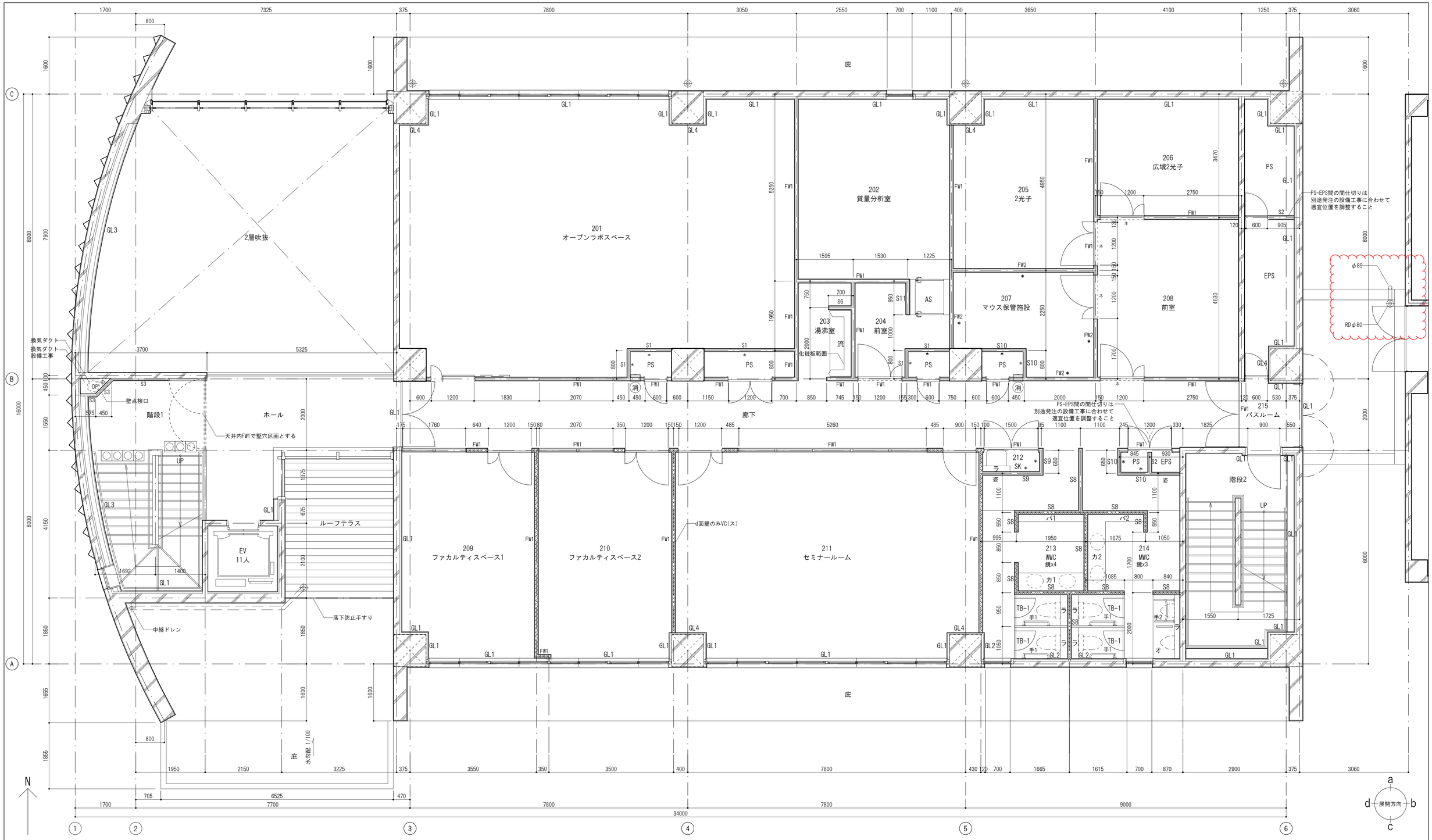
外部階段

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	階段詳細図-2	A1 1/50 A3 1/100	A-15



壁種別凡例																					
	△	建物出入口		300角タイル張り範囲を示す	ネ	ねずみ返しアルミ複合パネル H=400	庇	庇を示す	S1	GB-R9.5の上指定仕上 (*側)無し	S6	GB-R9.5+GB-S12.5(両面)の上指定仕上	S11	GB-R9.5(両面)の上指定仕上	FW1	GB-F12.5+12.5(両面)の上指定仕上(114条区画)	手1 手2	L型手すり 小便器用手すり	特記事項	・仕上は仕上表による 壁コンクリート特記無き限りコンクリート打放しA種の上指定仕上 10mm増打 ・特記無き限り、壁LGSは65形とする ・遮音壁標記の場合、壁LGSは75形千鳥配置グラスウール充填とする ・一般壁と遮音壁が交差する場合下地ボード共に遮音壁勝ちとする	
	*** 上段	上段:仕上げレベル ※特記なき限り±0		ウッドデッキ(人工木・樹脂木)	カ	手洗いカウンター	TB-*	トイレブース	S2	GB-R9.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+12.5の上指定仕上	S7	GB-S9.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+12.5の上指定仕上	GL1	硬質ウレタン吹付 t=50+GB-R12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上	FW2	GB-F12.5+12.5の上指定仕上(114条区画) (*側)GB-F12.5+GB-FW12.5の上指定仕上(114条区画)	鏡 姿	鏡 350x800 姿見鏡 300x1500			
	*** 下段	下段:スラブレベル ※特記なき限り-10																			
		コンクリート範囲を示す		緊急シャワー(別途工事)	パ	パウダーカウンター	オ	汚垂石	S3	GB-R9.5+12.5の上指定仕上 (*側)無し	S8	GB-S9.5(両面)の上指定仕上	GL2	硬質ウレタン吹付 t=50+GB-S12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上	FW3	GB-F12.5+GB-FW12.5(両面) の上指定仕上(114条区画)					
		遮音壁を示す		アルミ製床下点検口600角(気密タイプ)	ラ	ライニングW200 ※小便器部分のみW150	消	壁埋込み消火器ボックス	S4	GB-R9.5+12.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+GB-S12.5の上指定仕上	S9	GB-S9.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+GB-S12.5の上指定仕上	GL3	硬質ウレタン吹付 t=50+LGS+GB-R12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上			基	設備基礎1:1000x1550x200H 設備基礎2:850x1200x200H 設備基礎3:4000x700x200H 設備基礎4:2500x500x200H			
	S	防火シャッター(煙感知)		アルミバンドレス縦樋	流	流し 吊戸棚		誘導ブロック 注意喚起ブロック	S5	GB-R9.5+12.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+GB-S12.5の上指定仕上	S10	GB-S9.5の上指定仕上 (*側)無し	GL4	硬質ウレタン吹付 t=25+GB-R12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上							

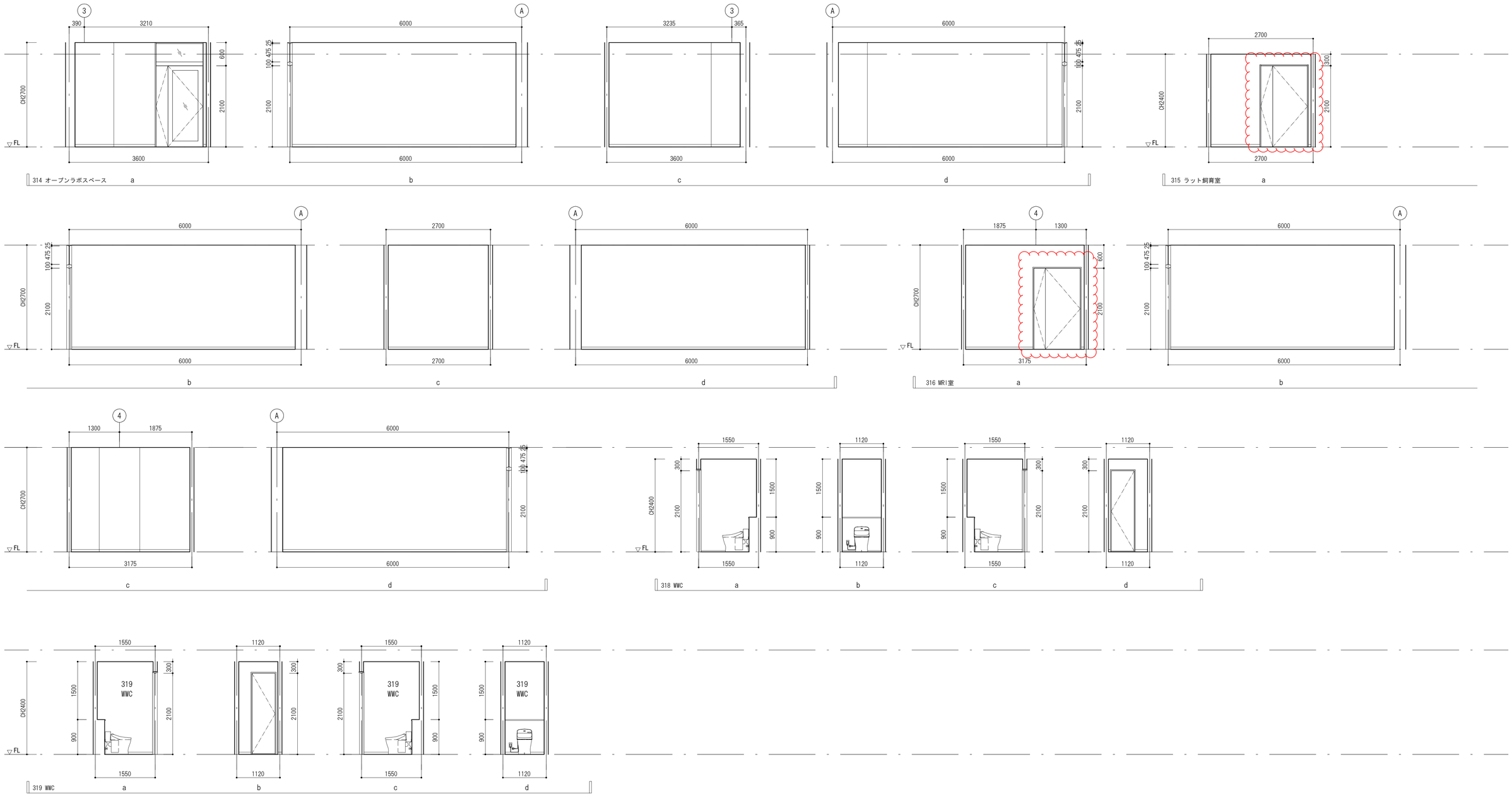
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	1階平面詳細図	A1 1/50 A3 1/100	A-16



壁種別凡例																					
	建物出入口		300角タイル張り範囲を示す	ネ	ねずみ返しアルミ複合パネル H=400	庇	庇を示す	S1	GB-R9.5の上指定仕上 (*側)無し	S6	GB-R9.5+GB-S12.5(両面)の上指定仕上	S11	GB-R9.5(両面)の上指定仕上	FW1	GB-F12.5+12.5(両面)の上指定仕上(114条区画)	手1 手2	L型手すり 小便器用手すり	特記事項	・仕上は仕上表による 壁コンクリート特記無き限りコンクリート打放しA種の上指定仕上 10mm増打 ・特記無き限り、壁LGSは65形とする ・遮音壁標記の場合、壁LGSは75形千鳥配置グラスウール充填とする ・一般壁と遮音壁が交差する場合下地ボード共に遮音壁勝ちとする		
	上段:仕上げレベル ※特記なき限り±0 下段:スラブレベル ※特記なき限り-10		ウッドデッキ(人工木・樹脂木)	カ	手洗いカウンター	TB-*	トイレブース	S2	GB-R9.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+12.5の上指定仕上	S7	GB-S9.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+12.5の上指定仕上	GL1	硬質ウレタン吹付 t=50+GB-R12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上	FW2	GB-F12.5+12.5の上指定仕上(114条区画) (*側)GB-F12.5+GB-FW12.5の上指定仕上(114条区画)	鏡 姿	鏡 350x800 姿見鏡 300x1500				
	コンクリート範囲を示す		緊急シャワー(別途工事)	パ	パウダーカウンター	オ	汚垂石	S3	GB-R9.5+12.5の上指定仕上 (*側)無し	S8	GB-S9.5(両面)の上指定仕上	GL2	硬質ウレタン吹付 t=50+GB-S12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上	FW3	GB-F12.5+GB-FW12.5(両面) の上指定仕上(114条区画)						
	遮音壁を示す		アルミ製床下点検口600角(気密タイプ)	ラ	ライニングW200 ※小便器部分のみW150	消	壁埋込み消火器ボックス	S4	GB-R9.5+12.5(両面)の上指定仕上	S9	GB-S9.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+GB-S12.5の上指定仕上	GL3	硬質ウレタン吹付 t=50+LGS+GB-R12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上			基	設備基礎1:1000x1550x200H 設備基礎2:850x1200x200H 設備基礎3:4000x700x200H 設備基礎4:2500x500x200H				
	防火シャッター(煙感知)		アルミバンドレス縦樋	流	流し 吊戸棚		誘導ブロック 注意喚起ブロック	S5	GB-R9.5+12.5の上指定仕上 (*側)GB-R9.5+GB-S12.5の上指定仕上	S10	GB-S9.5の上指定仕上 (*側)無し	GL4	硬質ウレタン吹付 t=25+GB-R12.5 (GL工法貼厚12.5mm)の上指定仕上								

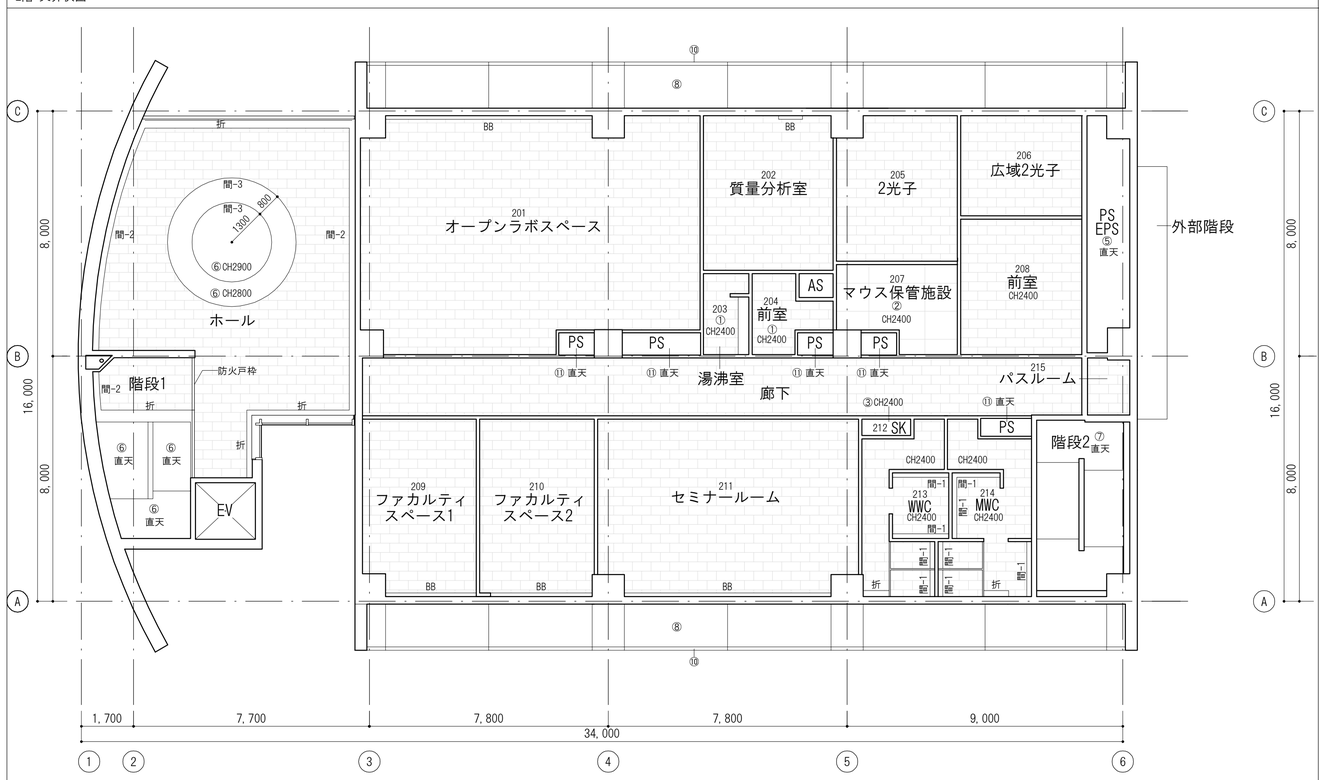
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	2階平面詳細図	A1 1/50 A3 1/100	A-17

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	展開図-1	A1 1/50 A2 1/100	A-19

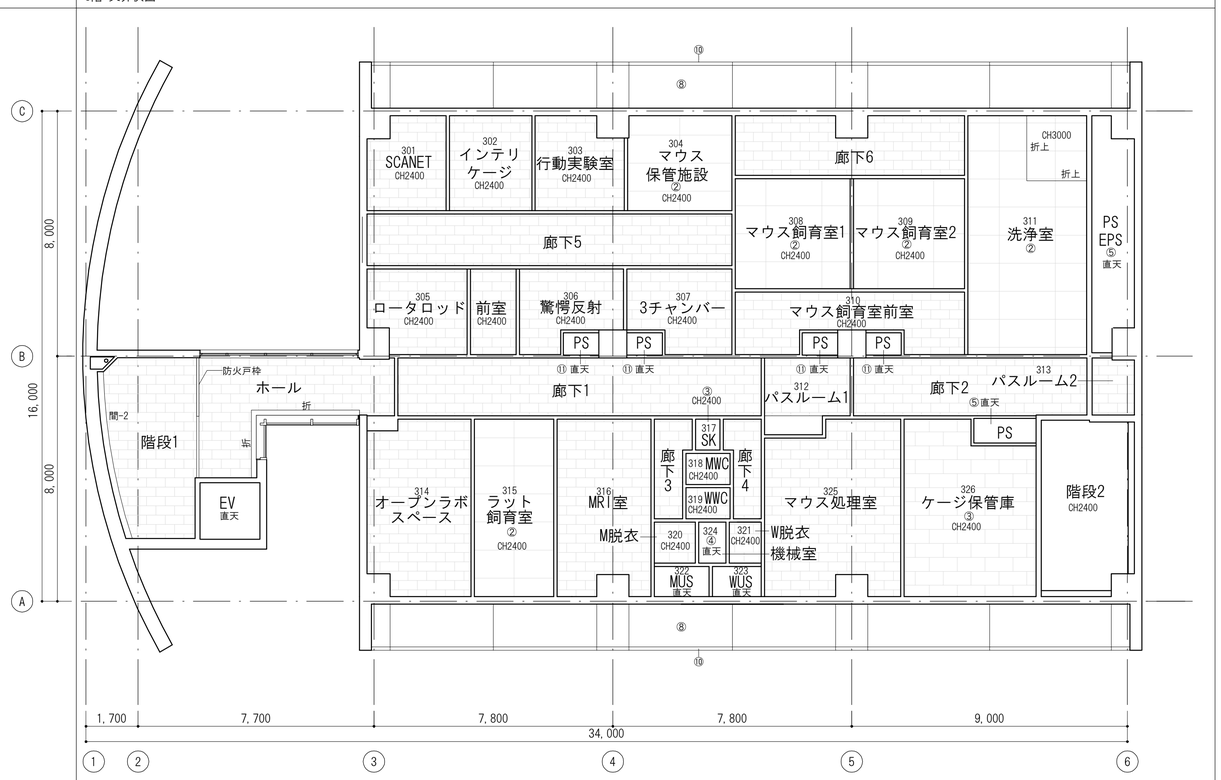


設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	展開図-4	A1 1/50 A2 1/100	A-22

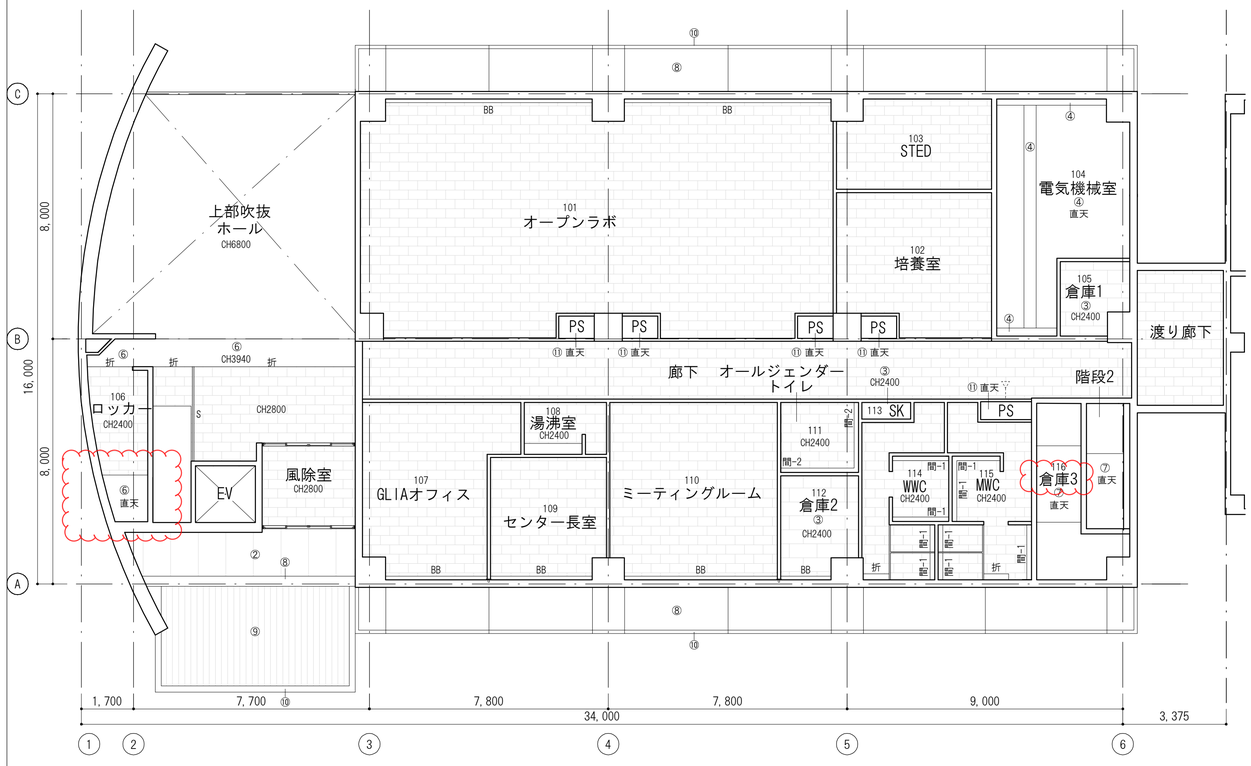
2階 天井伏図



3階 天井伏図



1階 天井伏図



仕上げ凡例		天井点検口用開口補強箇所数(下記数量を見込むこと)	
①	GB-R9.5+DR9	450角	60 箇所
②	GB-S9.5+FKD6	600角	3 箇所
③	GB-D9.5	設備機器用開口補強箇所数(下記数量を見込むこと)	
④	GW50x2	300x300	15 箇所
⑤	GW50	350x350	2 箇所
⑥	EP	400x400	2 箇所
⑦	EP-G	450x450	29 箇所
⑧	外装薄塗材E	500x500	1 箇所
⑨	アルミスパンドレル	600x300	1 箇所
⑩	複層塗材E	1000x500	2 箇所
⑪	RC素地のまま	1300x650	26 箇所
		1000x1000	12 箇所
表記凡例		1235x150	136 箇所
BB	アルミ製ブラインドボックス		
S	防火シャッター		
	緊急シャワー(別途工事)	折、間-1	折上天井、間接照明 形状は以下による
		折上	間接照明-1 / 間接照明-2 / 間接照明-3
特記事項	※特記なき場合、CH2700、①GB-R9.5+DR9とする。 ※下地は全てLGS下地とする。		

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第1項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	天井伏図	A1 1/100 A3 1/200	A-23

共　通　事　項

1. (○-○○-○○)、(○-○○)は建築工事標準詳細図(令和4年版)の詳細番号を示す。
2. 標準型建具の適用は、欄に「○」があるものは標準型建具とする。
3. 備考欄に「A-○、W-○、S-○」は、それぞれ気密性、水密性、耐風圧性を示している。
   特記無き限り「S-5、A-4、W-4」とする。
4. 表記寸法は建具有効寸法を示す。

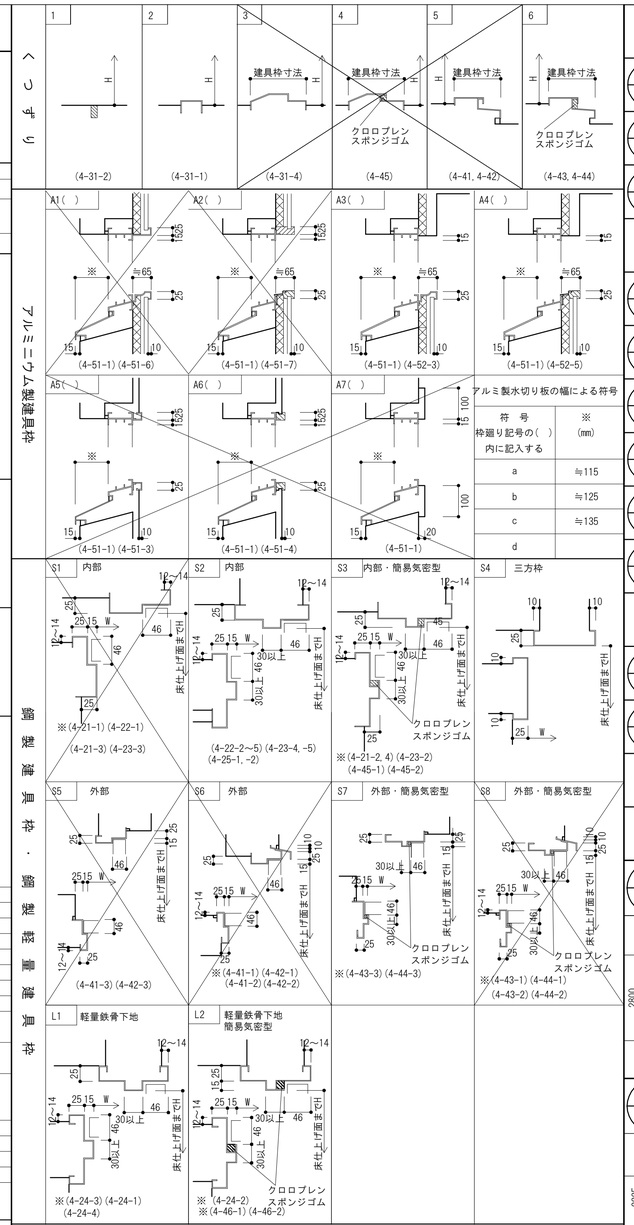
防火戸の種別	記　号		
	特防	特定防火設備(1時間)	
	防20	防火設備(20分)	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域等の建築物の外壁に設ける防火設備
	防(遮煙)	防火設備(遮炎性能)　竪穴区画の壁に設ける防火設備	

扉見込み寸法(mm)				
	SD 及び SSD	40(H=2,400以下、扉一枚の幅=950以下) 50(H=2,400超える、扉一枚の幅=1,600以下) 50(H=2,700以上、扉一枚の幅=1,500以下) 60(H=3,200以上、扉一枚の幅=2,000以下)	LD	36

形　状	(1)AWは中桟なしとする。 (2)SDのうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。 (3)肢体不自由者用便所片引戸の枠は(6-25)による。 (4)がらりは、内部は Ⅲ型とし、外部は Ⅰ型とする。(4-01) (5)ダクト接続のがらりには四方モヤンバー取合枠(4-52-7)を付ける。 (6)AWの見込寸法は70とする。ACWは製造所仕様による。
仕　上　げ	(1)S、SD、LD、SS、LSDおよびSSGの仕上げは外部建具はDP、特記以外はSOPとする。 (2)LDの召合わせおよび縦小口包み板は鋼板製とする。 (3)簡易気密型扉のクロロプレンスポンジゴム取合い部(扉側)はステンレス(SUS304)鋼板1.5mmとし、形状は建具製作所の仕様による。 (4)ドアがらりは、SDおよびLSDは鋼板製SOPとする。
建具用金物	(1)ドアクローザおよびフロアヒンジは建具配置図(平面図)による。なお、ドアクローザの取付けは室内側を原則とする。 (2)壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。 (3)排煙窓のクレセントおよび操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。 (4)扉の握り玉、把手類は床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。 (5)建具用金物は下表により、建具表建具用金物欄に種別を特記するほか、標準仕様書 表 16.8.1 による。 その他の建具用金物を特記する。 なお、標準型建具の建具用金物は、16.4.6(2)、16.5.6(2) 及び 16.8.1～4 による。 ※錠前は防犯建物部品とする。

種　別		建具用金物等	
外部	一般扉	丁番	シリンダー箱錠(片面サムターン)
	自動扉(引戸)	引戸用本締り錠	
内部	一般室	ピボットヒンジ	シリンダー箱錠(片面サムターン)
	湯沸室	ピボットヒンジ	錠なし
	WC	開き戸　ピボットヒンジ 押板、押棒はステンレス(HL又はNo. 2B仕上)程度	錠なし
		引き戸　引手(内外共)はステンレス押棒(HL又はNo. 2B仕上) (L≒450)程度	
	鋼製軽量自閉装置付引戸	駆動・制動装置(ストップ付)　ステンレス製振れ止め軸 表示装置・非常開装置・大型サムターン付引き戸錠(ロッド式) 引手(内外共)はステンレス押棒(HLまたはNo. 2B仕上)(L≒450)程度	
	随時閉鎖式防火戸	ヒンジクローザ(ストップなし)　埋込型把手	
	点検扉	点検扉用ヒンジ	点検口鍵
	窓	クレセント	

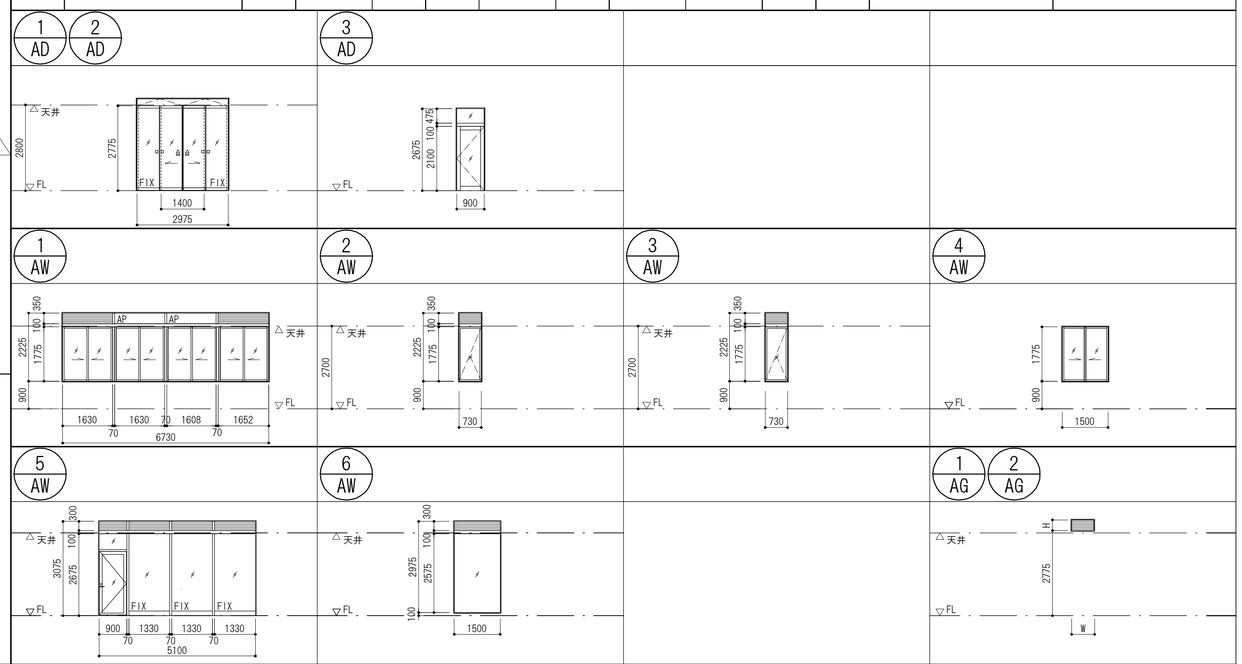
自動ドア開閉装置	(1)自動ドア開閉装置は「備考」欄による。 (2)自動ドア開閉装置の防錆性能、凍結防止装置の適用は、「備考」欄による。 (3)センサーの種類は、「備考」欄による。 (4)安全センサー(補助センサー)は二段式とし設置高さはそれぞれFL+600、FL+300とする。 (5)日中はAD-1, AD-2共に通常のセンサーによる開閉 夜間はAD-1(風除室外部側)のみ電気錠による施錠を行いカードキーにより開錠する
ガラス用フィルム	(1)ガラス用フィルムの適用は以下とする。 フィルム(透)　ガラス飛散防止フィルム(透明) フィルム(不)　ガラス飛散防止フィルム(不透明)
Low-Eガラス	(1)Low-Eガラスの適用は以下とする。(複層ガラスも含む) 日射遮蔽型とする。



アルミ製水切り板の幅による符号

符号 枠廻り記号の( )内に記入する	※(mm)
a	≒115
b	≒125
c	≒135
d	

符号	建具分類	数量	寸法 W	寸法 H	建具枠 額縁見込	建具枠 枠形状	建具枠 省摺	ガラス 種類	ガラス 厚さ	防火設備適用	電気錠適用	建具金物	備考
1 AD	引分け自動扉	1	2975 有効W:1400	2775	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+T	6+A12+6	-	ｶｰﾄﾞｷｰ		フィルム(透)
2 AD	引分け自動扉	1	2975 有効W:1400	2775	100	部分詳細図による	-	T	6	-	-		フィルム(透)
3 AD	欄間FIX窓＋片開き扉	1	900	2675	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+PW	5+A12+6.8	防20	-	LH, DC(S), 他付属金物一式	
1 AW	欄間ｶﾞﾗﾘ/ﾊﾟﾈﾙ＋引違い4連窓	7	6730	2225	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+P	3+A12+3	-	-	ﾗﾝﾏ(ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、AP)、ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	
2 AW	欄間ｶﾞﾗﾘ＋縦すべり出し窓	4	730	2225	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+F	3+A12+4	-	-	ﾗﾝﾏ(ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、AP)、ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、他付属金物一式	
3 AW	欄間ｶﾞﾗﾘ＋縦すべり出し窓	1	730	2225	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+P	3+A12+3	-	-	ﾗﾝﾏ(ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、AP)、ﾊﾝﾄﾞﾙ錠、他付属金物一式	
4 AW	引違い窓	2	1500	1775	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+PW	3+A12+6.8	防20	-	ｸﾚｾﾝﾄ, 他付属金物一式	
5 AW	欄間ｶﾞﾗﾘ＋框扉+FIX3連窓	1	5100	3075	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+P	5+A12+5	-	-	他付属金物一式	
6 AW	欄間ｶﾞﾗﾘ+FIX窓	1	1500	2975	100	部分詳細図による	-	(IG) Low-E+P	5+A12+5	-	-	他付属金物一式	
1 AG	ｶﾞﾗﾘ	6	730	350	70	-	-	-	-	-	-	他付属金物一式	
2 AG	ｶﾞﾗﾘ	14	800	300	70	-	-	-	-	-	-	他付属金物一式	



表示略号	略号	建具	略号	建具	略号	建具	略号	建具
	AD	アルミ製戸	S	鋼製三方枠	LSD	鋼製軽量戸		
	AW	アルミ製窓	SD	鋼製戸	SSW	ステンレス製窓		
	AG	アルミ製がらり	SW	鋼製窓	ACW	アルミ製カーテンウォール		
			SG	鋼製がらり	P	樹脂製枠		
			SS	重量シャッター				

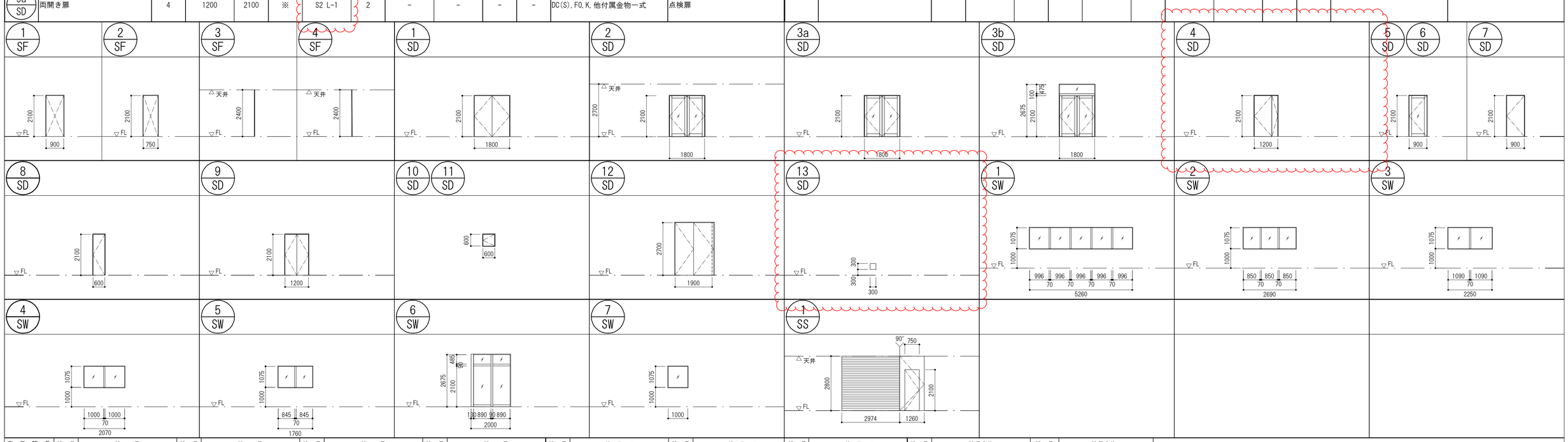
略号	ガラス	略号	ガラス	略号	ガラス
P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス	AP	アルミ製パネル t=1.0
F	型板ガラス	L	合わせガラス		
NP	網入磨き板ガラス				
T	強化ガラス				
Low-E	低放射ガラス				

略号	建具金物	略号	建具金物
FO	フランス落し	DC(S)	ドアクローザーストップ付き
LH	レバーハンドル	DC(S/P)	ドアクローザーストップ付き(70°～180°)
K	ケースハンドル	DC(Sなし)	ドアクローザーストップ

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第1項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担当	建具表-1	A1 1/100 A2 1/200	A-25

符号	建具分類	数量	寸法 W	寸法 H	建具枠 額縁見込	建具枠 枠形状	建具枠 省摺	ガラス 種類	ガラス 厚さ	防火設備適用	電気錠適用	建具金物	備考
1 SF	三方枠	4	900	2100	※	S4	-	-	-	-	-	他付属金物一式	
2 SF	三方枠	1	750	2100	※	S4	-	-	-	-	-	他付属金物一式	
3 SF	一方枠	10	—	2400	※	S4	-	-	-	-	-	他付属金物一式	
4 SF	一方枠	1	—	2400	※	S4	-	-	-	-	-	他付属金物一式	
1 SD	両開き扉	1	1800	2100	※	S7	6	-	-	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	
2 SD	両開き框扉	1	1800	2100	※	S3	2	PW	7	防20	ｶｰﾄﾞｷｰ	DC(Sなし), FO, LH, 他付属金物一式	
3a SD	両開き框扉	1	1800	2100	※	S7	6	(IG) Low-E＋PW	3+A12+6.8	防20	-	DC(S/P), FO, LH, 他付属金物一式	
3b SD	欄間FIX＋両開き框扉	1	1800	2675	※	S7	6	(IG) Low-E＋PW	3+A12+6.8	防20	-	DC(S/P), FO, LH, 他付属金物一式	
4 SD	親子開き扉	2	1200	2100	※	S2 S-3	2	-	-	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	電気機械室は枠形状S3
5 SD	片開き框扉	1	900	2100	※	S2 L-1	-	(L) 耐熱ｶﾞﾗｽ＋耐熱ｶﾞﾗｽ	4+特殊ﾌｨﾙﾑ0.6+4	防(遮煙)常閉	ｶｰﾄﾞｷｰ	DC(Sなし), LH, 他付属金物一式	
6 SD	片開き框扉	1	900	2100	※	S2 L-1	-	(L) 耐熱ｶﾞﾗｽ＋耐熱ｶﾞﾗｽ	4+特殊ﾌｨﾙﾑ0.6+4	防(遮煙)常閉	-	DC(Sなし), LH, 他付属金物一式	
7 SD	片開き扉	1	900	2100	※	S2 L-1	-	-	-	防(遮煙)常閉	-	DC(Sなし), LH, 他付属金物一式	
8 SD	片開き扉	15	600	2100	※	S2 L-1	2	-	-	-	-	DC(S), K, 他付属金物一式	点検扉
9a SD	両開き扉	4	1200	2100	※	S2 L-1	2	-	-	-	-	DC(S), FO, K, 他付属金物一式	点検扉

符号	建具分類	数量	寸法 W	寸法 H	建具枠 額縁見込	建具枠 枠形状	建具枠 省摺	ガラス 種類	ガラス 厚さ	防火設備適用	電気錠適用	建具金物	備考
9b SD	両開き扉	1	1200	2100	※	S3	2	-	-	-	-	DC(S), FO, K, 他付属金物一式	点検扉(セミエアタイト)
10 SD	片開き扉	1	600	600	※	S7	6	-	-	防20	-	DC(S), K, 他付属金物一式	点検扉
11 SD	片開き扉	4	600	600	※	S7	6	-	-	-	-	DC(S), K, 他付属金物一式	点検扉
12 SD	片開き折りたたみ扉（90°開き）	2	1900	2700	部分詳細図による	部分詳細図による	-	-	-	防(遮煙)常開	-	K(ﾗｯﾁ付), FO(自動), AH, 吊戸保持金具, 順位調整器, 他付属金物一式	
13 SD	片開き扉	1	300	300	※	S7	6	-	-	-	-	DC(S), K, 他付属金物一式	点検扉
1 SW	5連FIX窓	1	5260	1075	製造所仕様	-	-	T	5	-	-	他付属金物一式	
2 SW	3連FIX窓	2	2690	1075	製造所仕様	-	-	T	5	-	-	他付属金物一式	
3 SW	2連FIX窓	2	2250	1075	製造所仕様	-	-	T	5	-	-	他付属金物一式	
4 SW	2連FIX窓	2	2070	1075	製造所仕様	-	-	T	5	-	-	他付属金物一式	
5 SW	2連FIX窓	1	1760	1075	製造所仕様	-	-	T	5	-	-	他付属金物一式	
6 SW	2連FIX窓	2	2000	2675	製造所仕様	-	-	(L) 耐熱ｶﾞﾗｽ＋耐熱ｶﾞﾗｽ	4+特殊ﾌｨﾙﾑ0.6+4	防(遮煙)常閉	-	他付属金物一式	
7 SW	FIX窓	1	1000	1075	製造所仕様	-	-	T	5	-	-	他付属金物一式	
1 SS	片袖扉(子扉付) 90°＋重量シャッター	1	2974+1260	2800	製造所仕様	-	-	-	-	防(遮煙)常開	-	ｼｬｯﾀｰｹｰｽ（天井内納まり）, ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ, 他付属金物一式	



表示略号	略号	建具	略号	建具	略号	建具	略号	建具
	AD	アルミ製戸	S	鋼製三方枠	LSD	鋼製軽量戸		
	AW	アルミ製窓	SD	鋼製戸	SSW	ステンレス製窓		
	AG	アルミ製がらり	SW	鋼製窓	ACW	アルミ製カーテンウォール		
			SG	鋼製がらり	P	樹脂製枠		
			SS	重量シャッター				

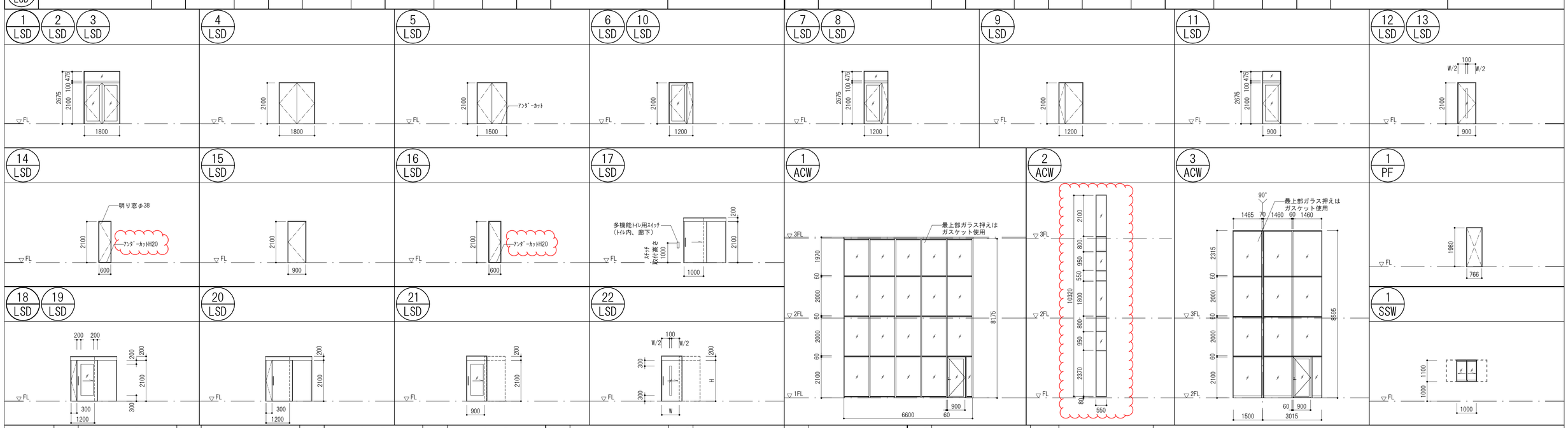
略号	ガラス	略号	ガラス
P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス
F	型板ガラス	L	合わせガラス
NP	網入磨き板ガラス		
T	強化ガラス		
Low-E	低放射ガラス		

略号	ガラス	略号	建具金物	略号	建具金物
AP	アルミ製パネル t=1.0	FO	フランス落し	DC(S)	ドアクローザーストップ付き
		LH	レバーハンドル	DC(S/P)	ドアクローザーストップ付き (70°～180°)
		K	ケースハンドル	DC(Sなし)	ドアクローザーストップ

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	担当	建具表-2	A1 1/100 A2 1/200	A-26

符号	建具分類	数量	寸法 W	寸法 H	建具枠 額縁見込	建具枠 枠形状	建具枠 省摺	ガラス 種類	ガラス 厚さ	防火設備適用	電気錠適用	建具金物	備考
1 LSD	欄間＋両開き框扉	2	1800	2675	240	S3	-	T	6	-	ｶｰﾄﾞｷｰ	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
2 LSD	欄間＋両開き框扉	3	1800	2675	※	S3	-	T	6	-	ｶｰﾄﾞｷｰ	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
3 LSD	欄間＋両開き框扉	3	1800	2675	※	S3	-	T	6	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
4 LSD	両開き扉	1	1800	2100	※	S3	-	-	-	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	
5 LSD	両開き扉	2	1500	2100	※	S2	-	-	-	-	-	DC(S), FO, K, 他付属金物一式	
6 LSD	親子開き框扉	2	1200	2100	※	S3	-	T	6	-	ﾃﾝｷｰ	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
7 LSD	欄間＋親子開き框扉	3	1200	2675	※	S3	-	T	6	-	ﾃﾝｷｰ	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
8 LSD	欄間＋親子開き扉	5	1200	H:2675 H1:2100 H2:475	※	S3	-	T	6	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
9 LSD	親子開き扉	13	1200	2100	※	S3	-	-	-	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	
10 LSD	親子開き框扉	3	1200	2100	※	S3	-	T	6	-	-	DC(S), FO, LH, 他付属金物一式	
11 LSD	欄間＋片開き框扉	2	900	H:2675 H1:2100 H2:475	※	S3	-	T	6	-	-	DC(S), LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
12 LSD	小窓付き片開き扉	1	900	2100	※	S2	-	F	4	-	ﾃﾝｷｰ	DC(S), LH, 他付属金物一式	
13 LSD	小窓付き片開き扉	2	900	2100	※	S3	-	F	4	-	-	DC(S), LH, 空錠, 他付属金物一式	
14 LSD	片開き扉	4	600	2100	※	S2	-	-	-	-	-	DC(S), LH, 表示錠, 他付属金物一式	明り窓既製品φ38
15 LSD	片開き扉	1	900	2100	※	S3	-	-	-	-	ﾃﾝｷｰ	DC(S), LH, 他付属金物一式	

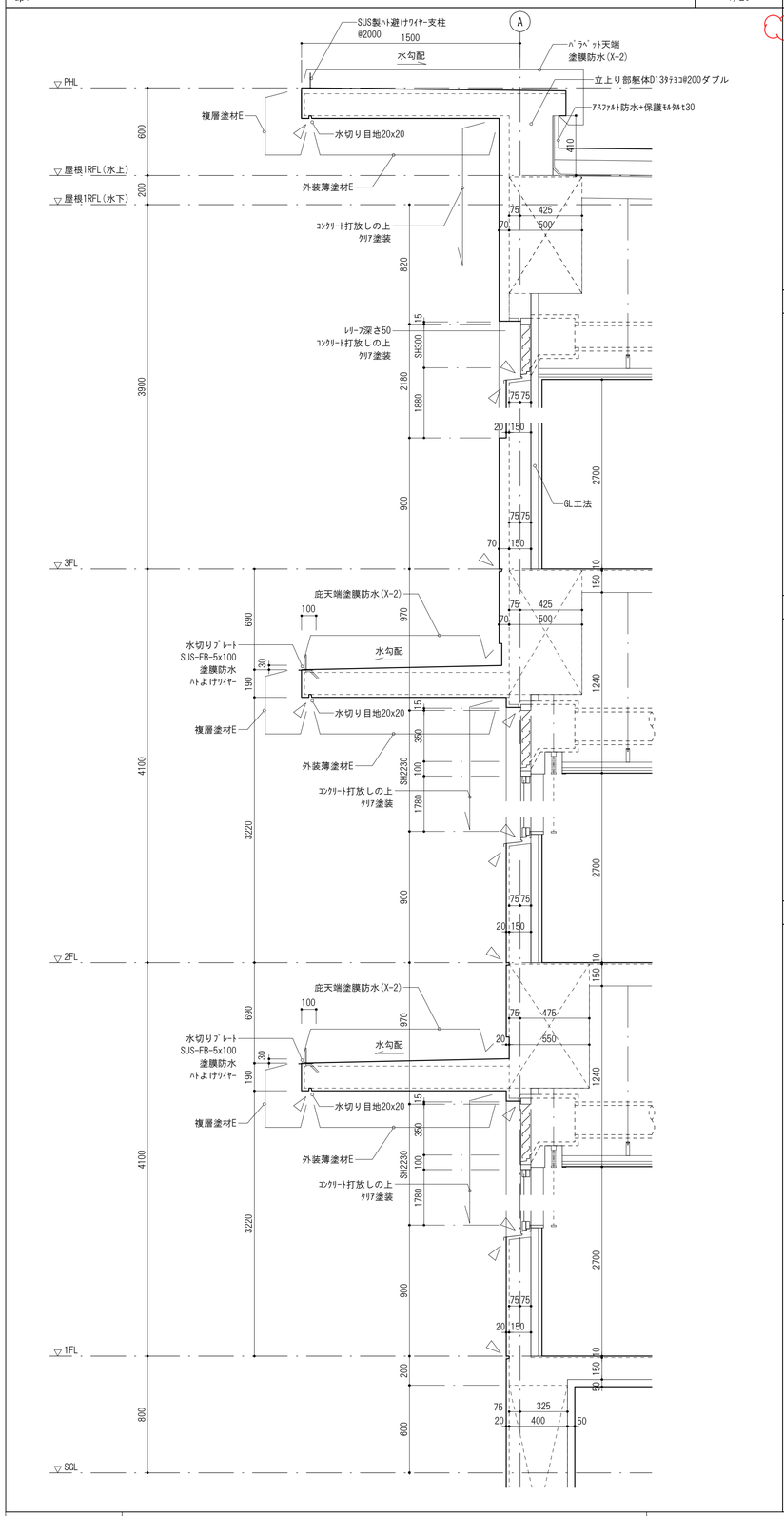
符号	建具分類	数量	寸法 W	寸法 H	建具枠 額縁見込	建具枠 枠形状	建具枠 省摺	ガラス 種類	ガラス 厚さ	防火設備適用	電気錠適用	建具金物	備考
16 LSD	片開き扉	1	600	2100	※	S2	-	-	-	-	-	DC(S), LH, 他付属金物一式	
17 LSD	電動片引き扉	1	1000	2100	※	S4	-	-	-	-	-	多機能ﾄｲﾚ用ｽｲｯﾁ, 他付属金物一式	大サムターン
18 LSD	子扉付き片引き框扉(自閉式)	2	1200	2100	※	S4	-	T	6	-	-	引手, FH, 他付属金物一式	フィルム(透)
19 LSD	子扉付き片引き框扉(自閉式)	3	1200	2100	※	S4	-	T	6	-	-	引手, FH, 他付属金物一式	フィルム(透)
20 LSD	子扉付き片引き扉(自閉式)	6	1200	2100	※	S4	-	-	-	-	-	引手, FH, 他付属金物一式	
21 LSD	片引き框扉(自閉式)	1	900	2100	※	S4	-	T	6	-	-	引手, 他付属金物一式	フィルム(透)
22 LSD	小窓付き片引き扉(自閉式)	1	900	2100	※	S4	-	F	4	-	-	引手, 他付属金物一式	
1 ACW	カーテンウォール FIX＋片開扉	1	6600	8175	製造所仕様	部分詳細図による	部分詳細図による	(IG) Low-E+ T	5+ A12+ 5	-	-	DC(S), LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
2 ACW	カーテンウォール FIX	1	550	10320	製造所仕様	部分詳細図による	部分詳細図による	(IG) Low-E+ T	5+ A12+ 4	-	-	他付属金物一式	フィルム(透)
3 ACW	カーテンウォール FIX＋片開扉	1	1500+ 3015	8595	製造所仕様	部分詳細図による	部分詳細図による	(IG) Low-E+ T	5+ A12+ 5	-	-	DC(S), LH, 他付属金物一式	フィルム(透)
1 PF	四方枠	2	766	1980	80	-	-	-	-	-	-	他付属金物一式	浴室入口用既製品
1 SSW	引分け窓	1	1000	1100	45	部分詳細図による	部分詳細図による	(L) P+ P	3+ 特殊ﾌｨﾙﾑ0.8+ 3	-	-	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠、SUS引込枠	受付窓



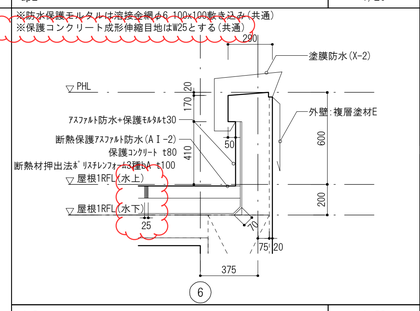
表示略号	略号	建具	略号	建具	略号	建具	略号	建具	略号	ガラス	略号	ガラス	略号	ガラス	略号	建具金物	略号	建具金物
	AD	アルミ製戸	S	鋼製三方枠	LSD	鋼製軽量戸			P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス	AP	アルミ製パネル t=1.0	F0	フランス落し	DC(S)	ドアクローザーストップ付き
	AW	アルミ製窓	SD	鋼製戸	SSW	ステンレス製窓			F	型板ガラス	L	合わせガラス			LH	レバーハンドル	DC(S/P)	ドアクローザーストップ付き
	AG	アルミ製がらり	SW	鋼製窓	ACW	アルミ製カーテンウォール			NP	網入磨き板ガラス					K	ケースハンドル		(70°～180°)
			SG	鋼製がらり	P	樹脂製枠			T	強化ガラス							DC(Sなし)	ドアクローザーストップ
			SS	重量シャッター					Low-E	低放射ガラス								

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	建具表-3	A1 1/100 A2 1/200	A-27

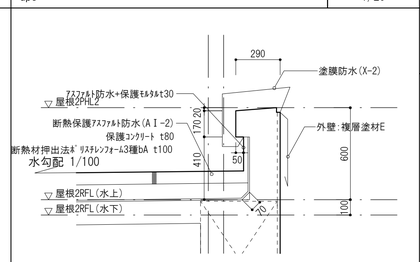
dp1 1/20



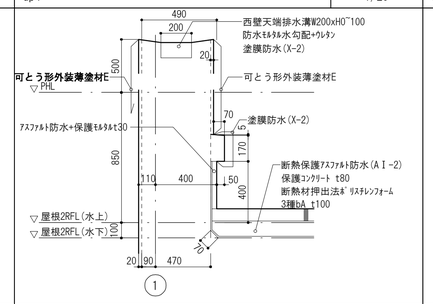
dp2 1/20



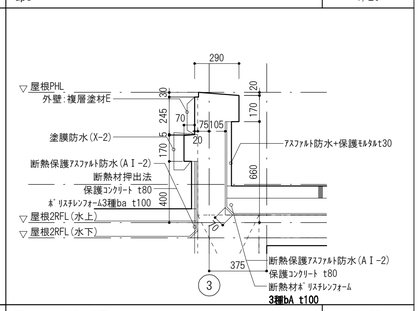
dp3 1/20



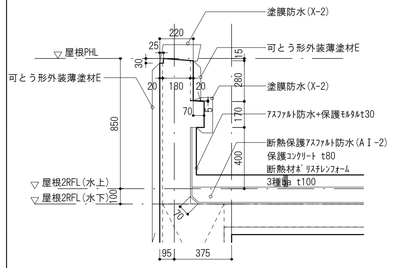
dp4 1/20



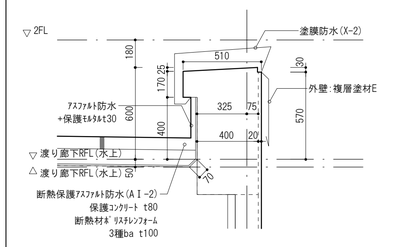
dp5 1/20



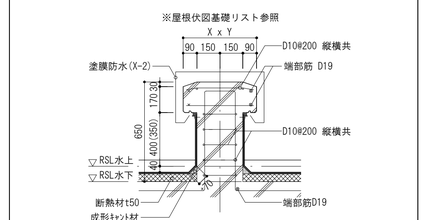
dp6 1/20



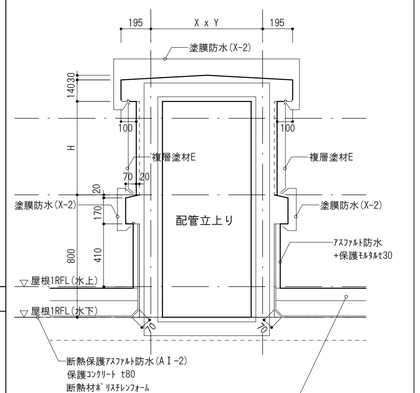
dp7 1/20



機械設備基礎 1/20



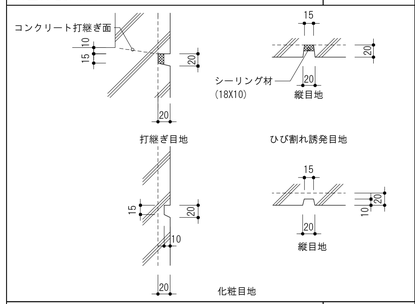
配管立上り詳細図 1/20



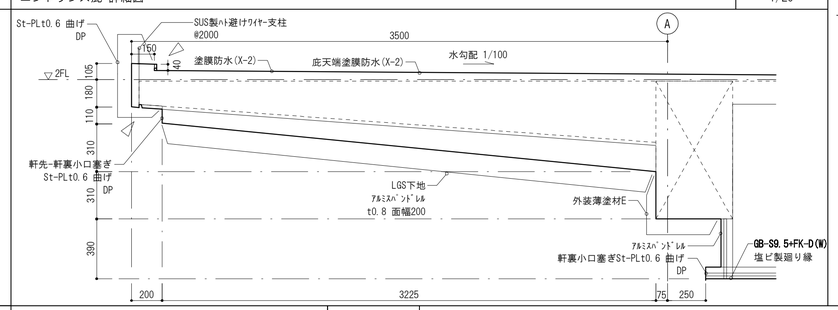
	X x Y	H
配管立上り1	3600 x 1200	850
配管立上り2	3600 x 1200	850
配管立上り3	730 x 1200	600
配管立上り4	2200 x 1000	600
配管立上り5	800 x 1400	400

※壁量根共D10ﾃﾗｺ#200ダブルとする

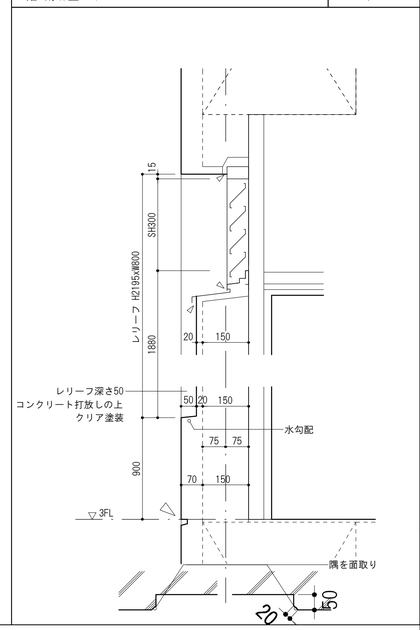
外壁目地詳細図 1/5



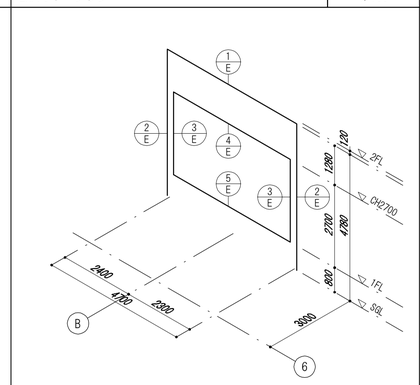
エントランス庇 詳細図 1/20



3階 南北壁レリーフ 1/10

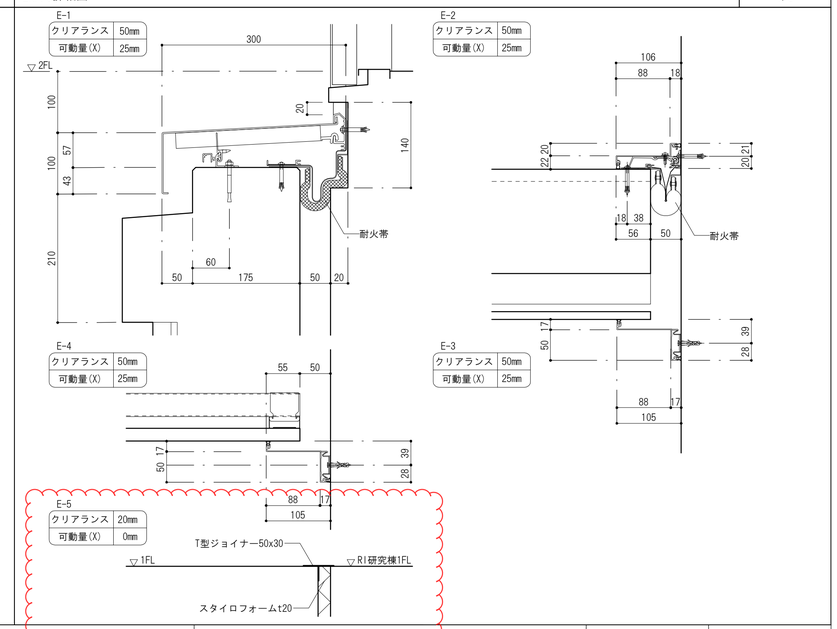


EXP. Jキープラン 1/100



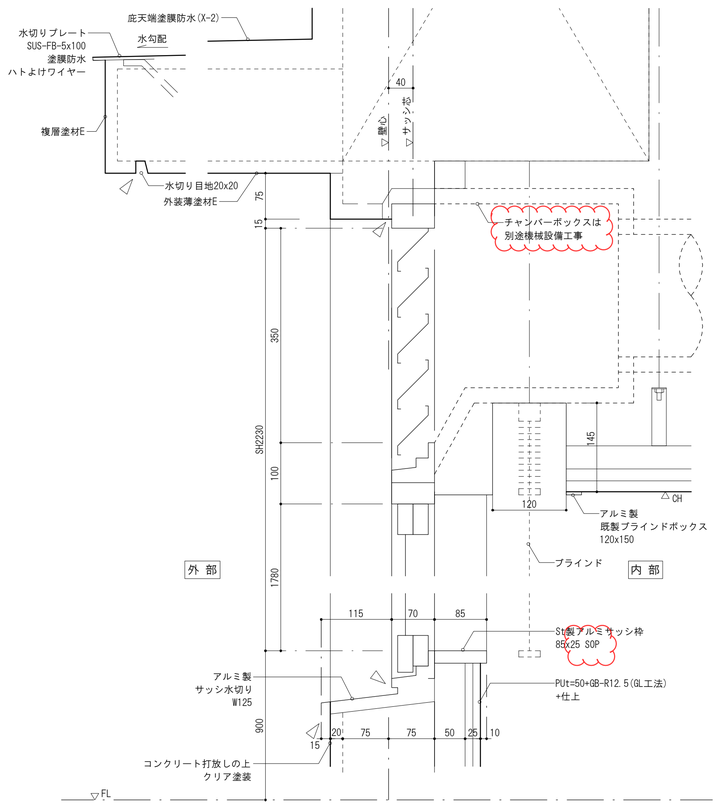
・一般社団法人 日本免震構造協会（JSSI）「免震エキスパンションジョイントガイドライン」 の性能指標A種に準じ、振動台実験により損傷しないことを確認したA種相当製品とする
・Exp. J. C. は動風圧試験装置による加圧試験で4000Paにおいて脱落がないことを確認した製品とする
・耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得した耐火帯とする
・外壁、パラペットは耐火1時間とする
[AB商会]アーキパンション S同等以上
[三洋工業]サンパンション同等以上
[井上商事]シルバーライン同等以上

EXP. J詳細図 1/5

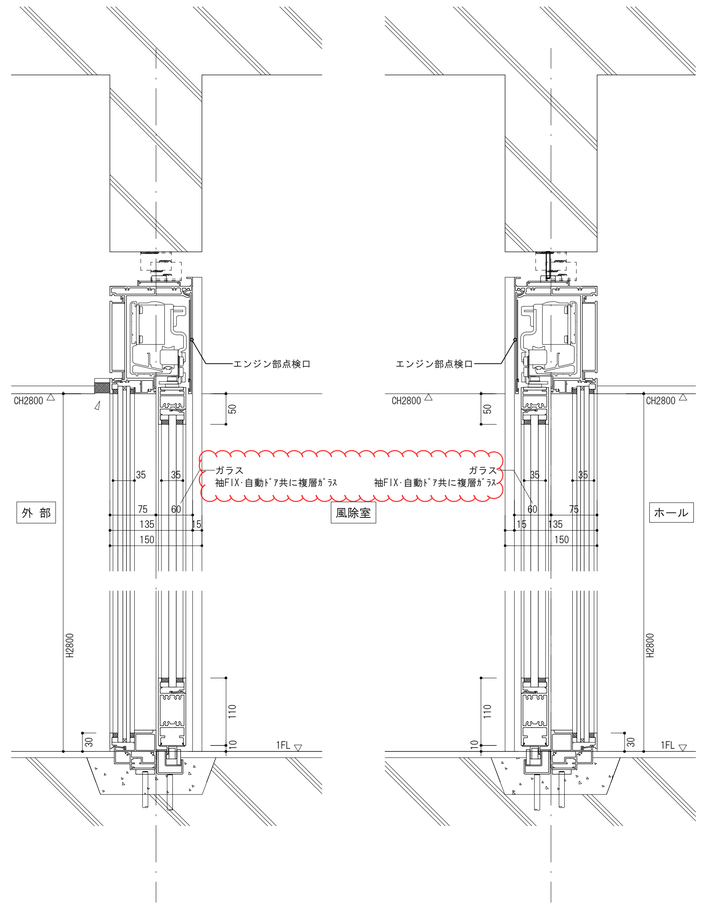


設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	各部詳細図-1	A1 図示 A3 図示	A-28

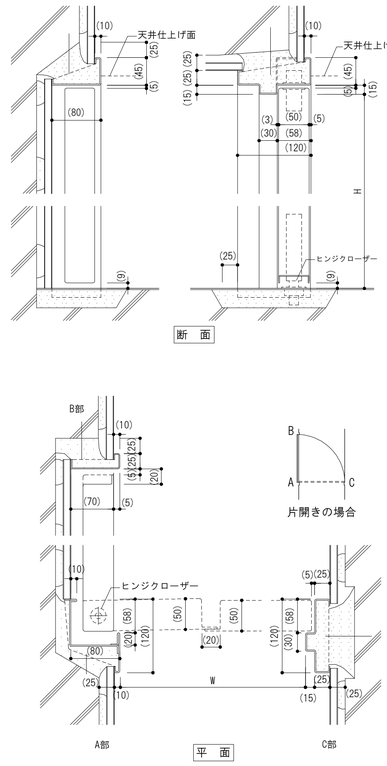
アルミサッシ 納まり　1/5



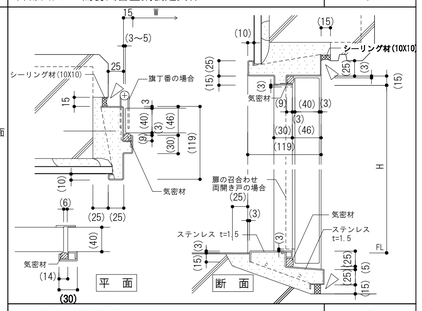
風除室 自動ドア断面詳細図　1/5



随時閉鎖式防火扉　1/5

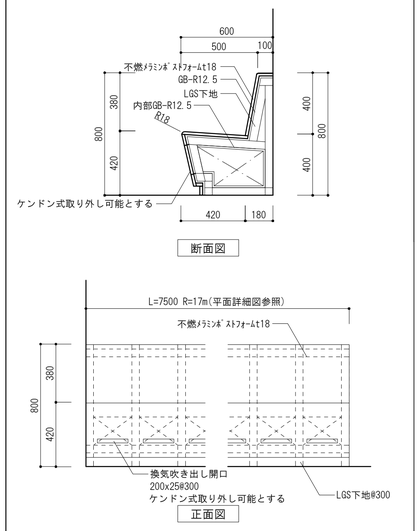


外部出入口 簡易気密型鋼製建具枠　1/5

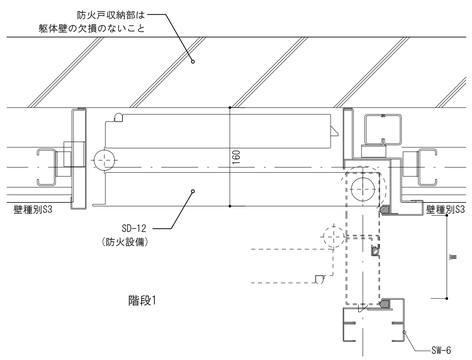


ホールベンチ詳細図　1/20

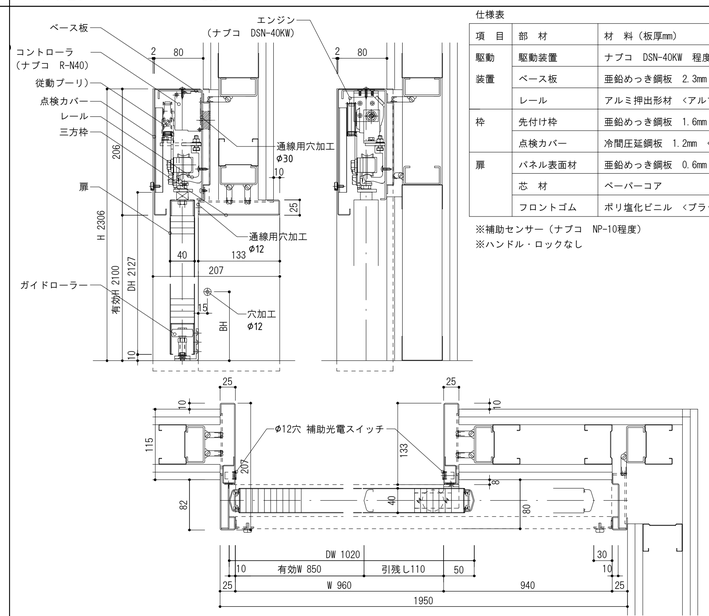
※内装制限の対象のため下地仕上共に不燃材料とする



2・3階 随時閉鎖式防火扉　1/5



オールジェンダートイレ自動ドア LSD-17　1/5

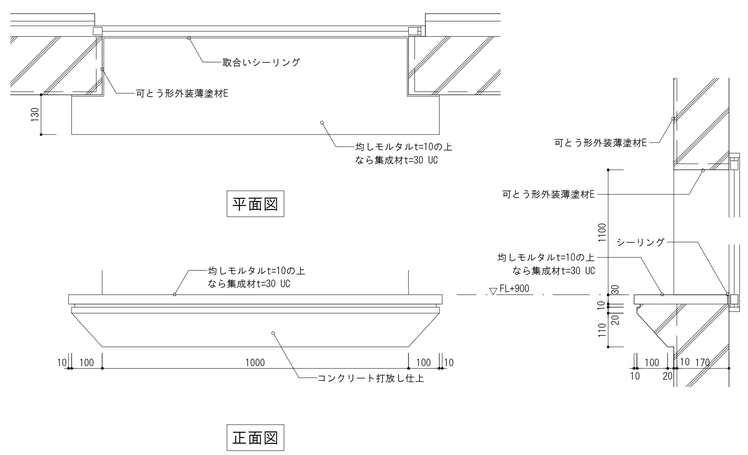


仕様表

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
駆動装置	駆動装置	ナブコ DSN-40KW 程度
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm ＜防錆塗装仕上＞
	レール	アルミ押出形材 ＜アルマイト処理仕上＞
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm ＜指定色焼付塗装仕上＞
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm ＜指定色焼付塗装仕上＞
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm ＜指定色焼付塗装仕上＞
	芯 材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル ＜ブラック色＞

※補助センサー（ナブコ NP-10程度）
※ハンドル・ロックなし

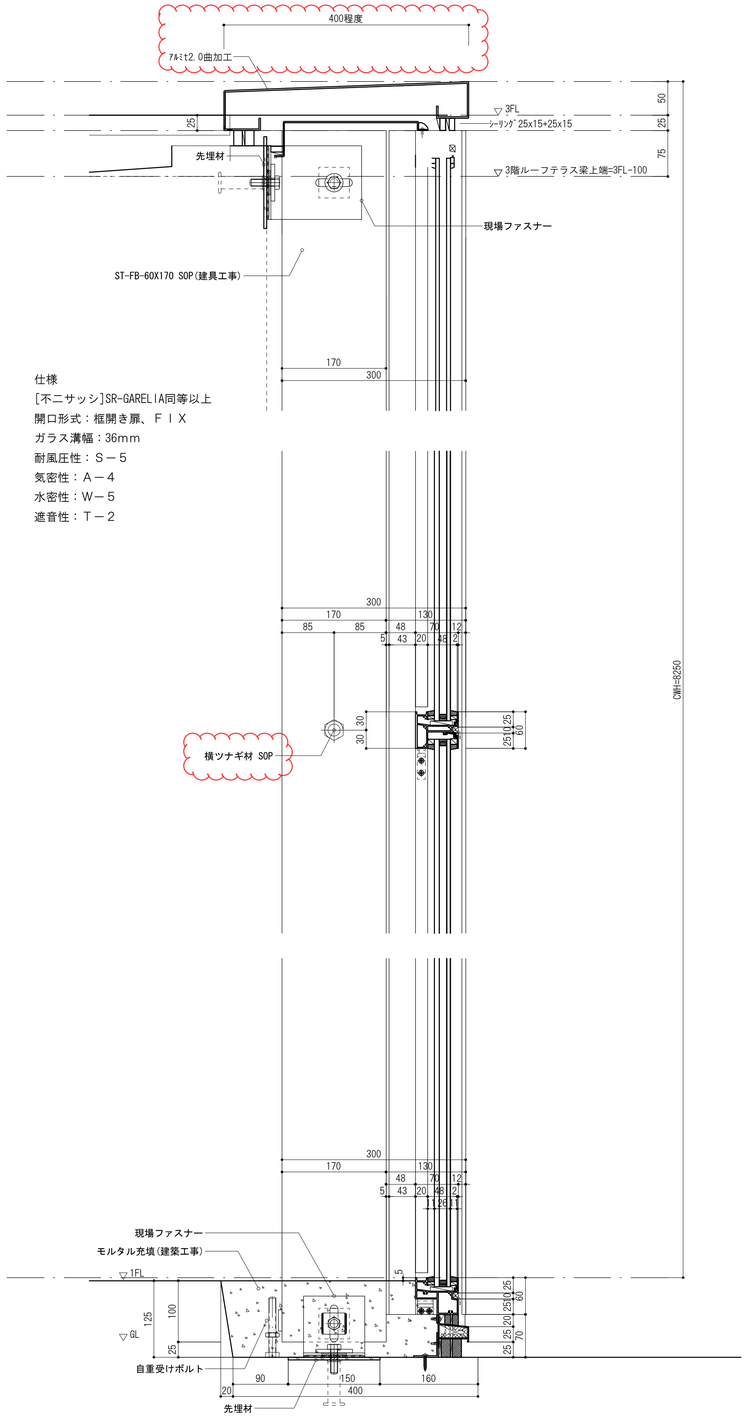
風除室 受付カウンター　1/10



設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	各部詳細図-2	A1 図示 A3 図示	A-29

ACW カーテンウォール 断面詳細図

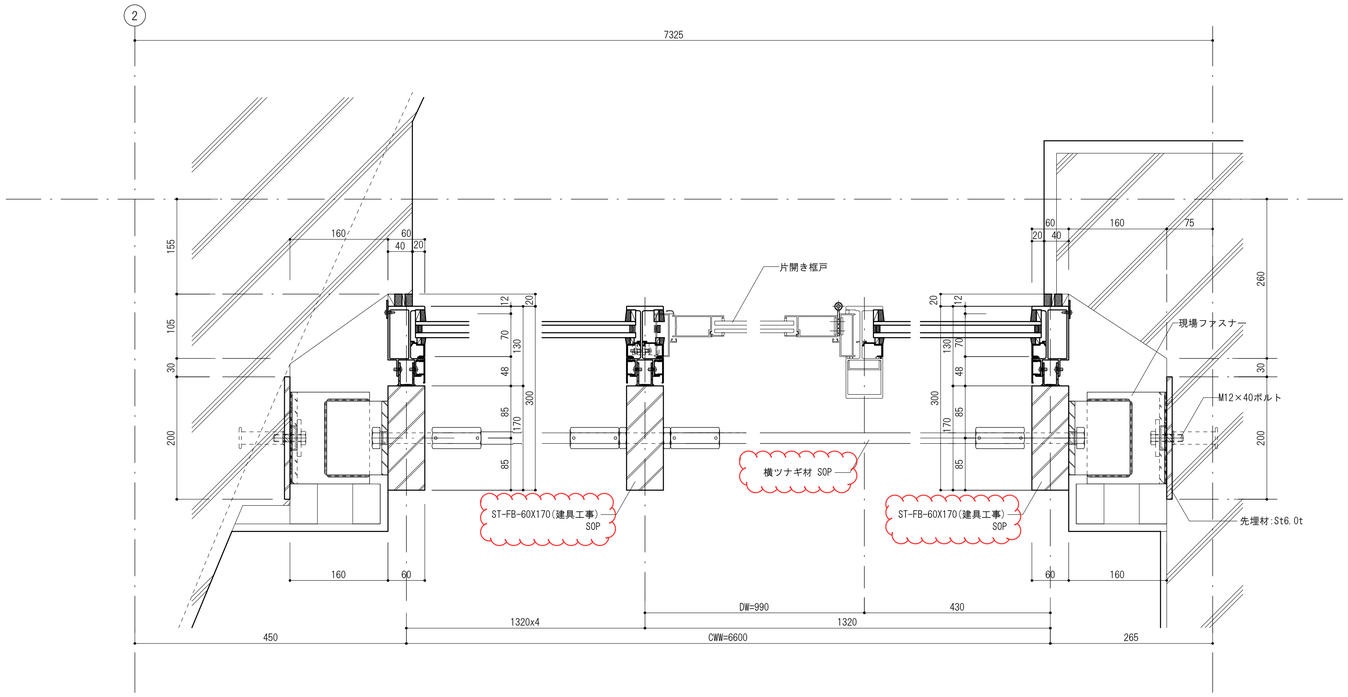
1/5



仕様
[不二サッシ]SR-GARELIA同等以上
開口形式：框開き扉、ＦＩＸ
ガラス溝幅：36mm
耐風圧性：Ｓ－５
気密性：Ａ－４
水密性：Ｗ－５
遮音性：Ｔ－２

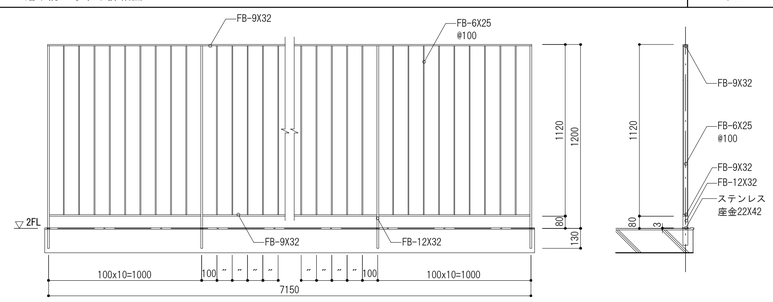
ACW カーテンウォール 平面詳細図

1/5



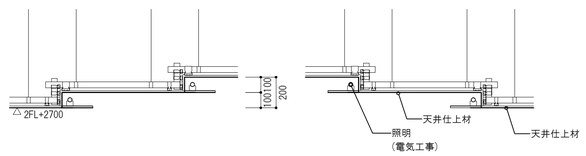
2階ホール落下防止手すり詳細図

1/20



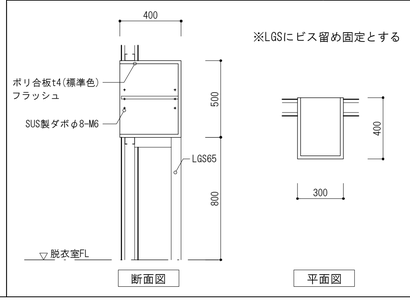
ホール間接照明詳細

1/20



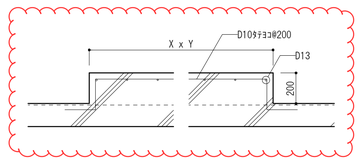
脱衣室 脱衣棚

1/20



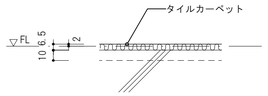
電気機械室 屋上基礎F1,2 設備基礎

1/20

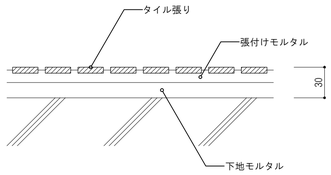


設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	担 当	各部詳細図-3	A1 図示 A3 図示	A-30

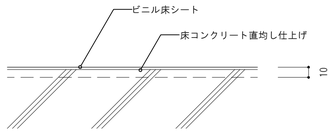
床タイルカーペット敷き　1/3



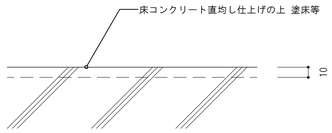
床タイル　1/3



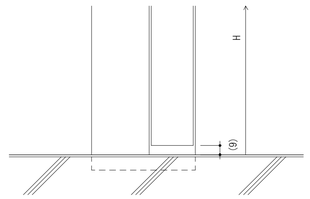
ビニル床シート、ビニル床タイル　1/3



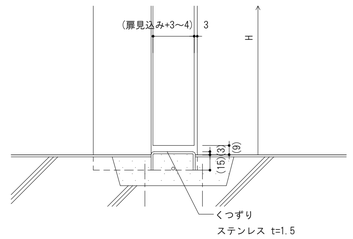
床コンクリート直均し仕上げの上 塗床等　1/3



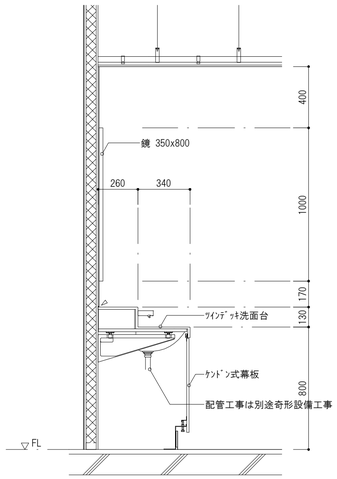
くつずり（床仕上が変らない場合）　1/3



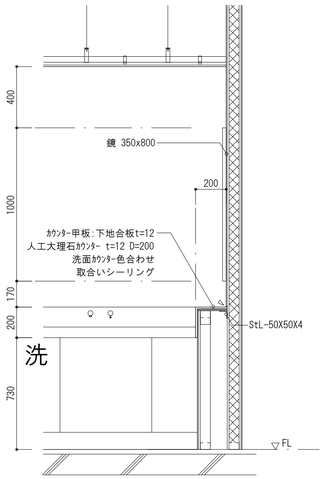
くつずり　1/3



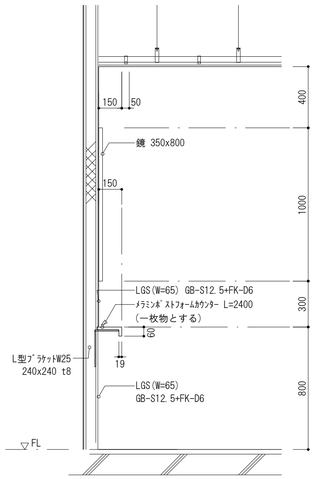
洗面カウンター詳細図　1/20



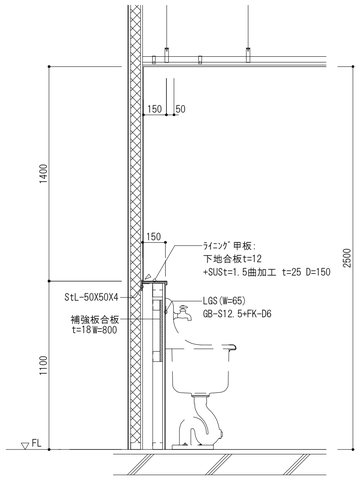
MWC パウダーカウンター詳細図　1/20



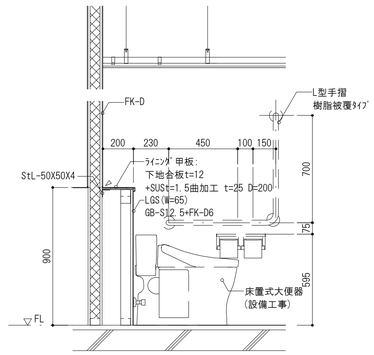
WWC パウダーカウンター詳細図　1/20



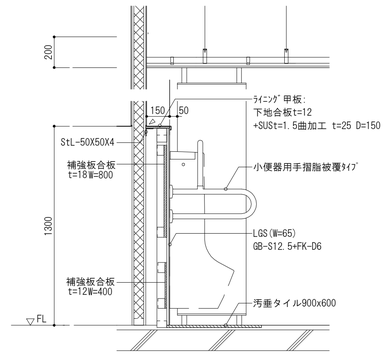
SK詳細図　1/20



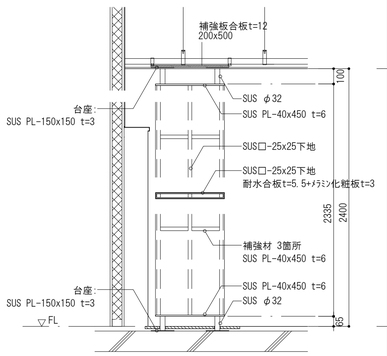
大便器ライニング詳細図　1/20



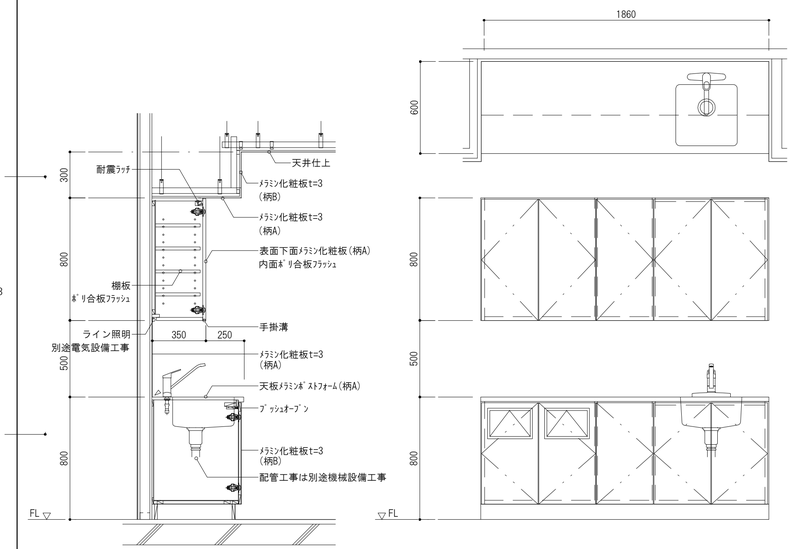
小便器ライニング詳細図　1/20



小便器隔て板詳細図　1/20

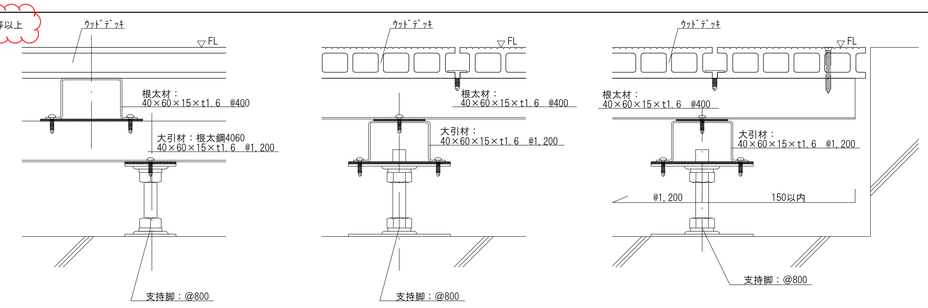


流し 吊戸棚 詳細図　1/20

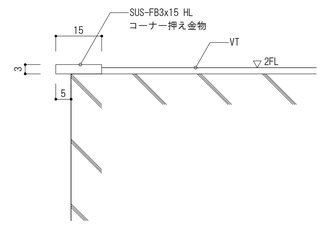


人工木ウッドデッキ　1/3

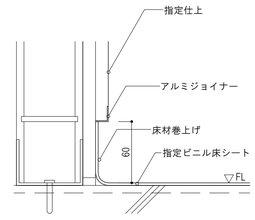
[文化シャッター]テクモク145×30同等以上



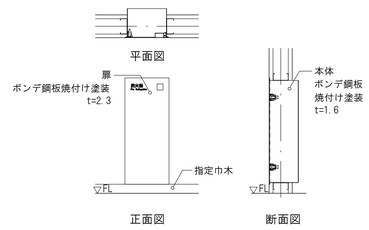
ホール吹抜け端部 床材押さえ金物　1/1



床材立上巾木詳細図　1/3

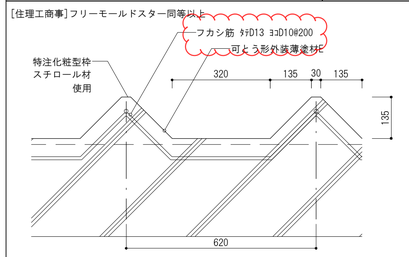


消火器ボックス(埋込)　1/20

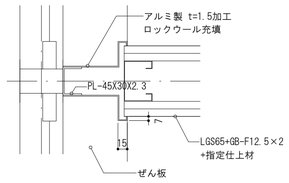


設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	各部詳細図-4	A1 図示 A3 図示	A-31

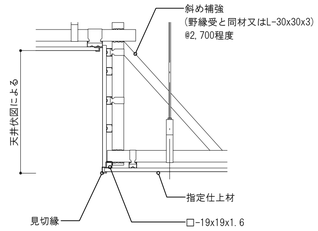
西壁面リブ詳細図　1/10



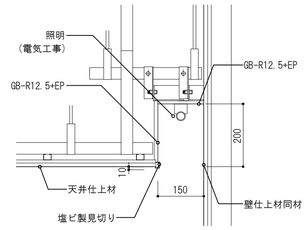
乾式壁・建具方立取合い金物　1/5



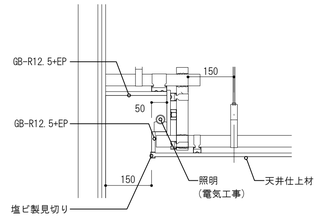
折り上げ天井　1/10



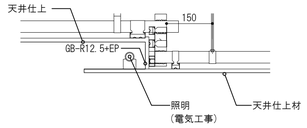
間接照-1　1/10



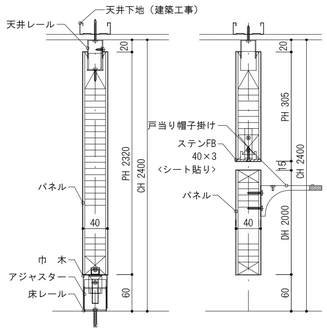
間接照-2　1/10



間接照-3　1/10



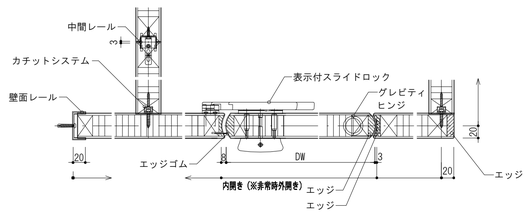
トイレブース詳細図　1/5



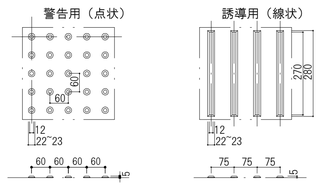
◇仕様表

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板
	芯 材	ペーパーコア
	エッジ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板
付属品	脚 部	巾木：ステンレス　0.8mm <ヘアライン仕上>
	ロック	表示付スライドロック（※コイン解錠外開き）
	ヒンジ	グレビティヒンジ
	天井レール	ステンレス　1.2mm <ヘアライン仕上>
	壁面レール	アルミ　2.0mm <シート貼り>
	中間レール	亜鉛めっき鋼板　1.2mm <シート貼り>

※非常時外開き

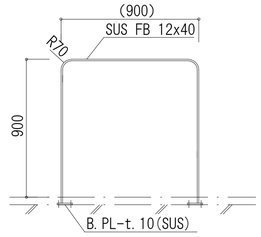


点字ブロック　1/10

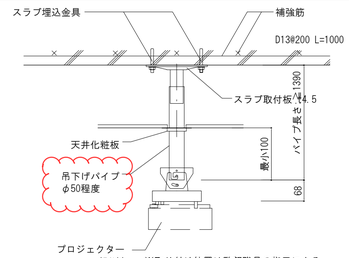


※　歩行部分は線状タイプ、停止部分は点状タイプ。
国土交通省「視覚障害者誘導用ブロック設置指針」による。
設置場所：ホール

自動ドア安全柵　1/20

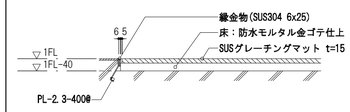


プロジェクターハンガー詳細図　1/10

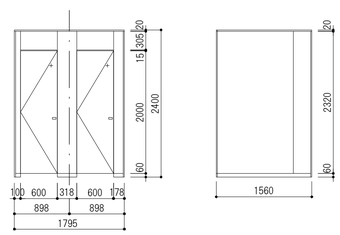


※取り付け位置は監督職員の指示による
※パイプ長さ、アタッチメント寸法は現場にて調整し監督職員の承認を得ること

くつふきマット詳細　1/20



トイレブース展開図　1/50

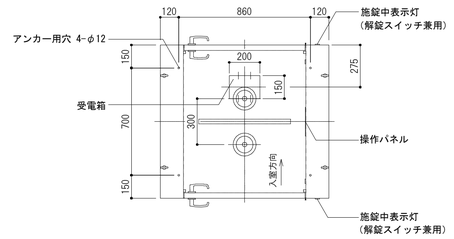


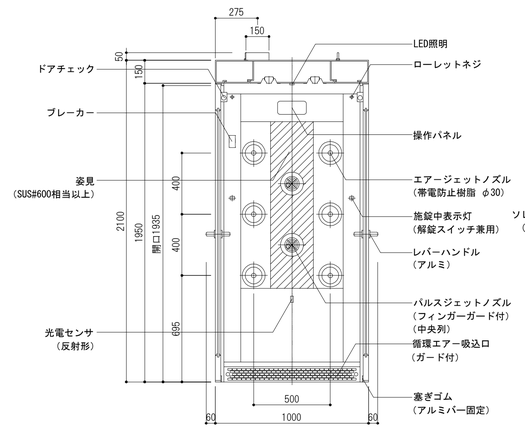
エアシャワーユニット詳細図　1/20

[エアーテック]EAS-8017同等以上

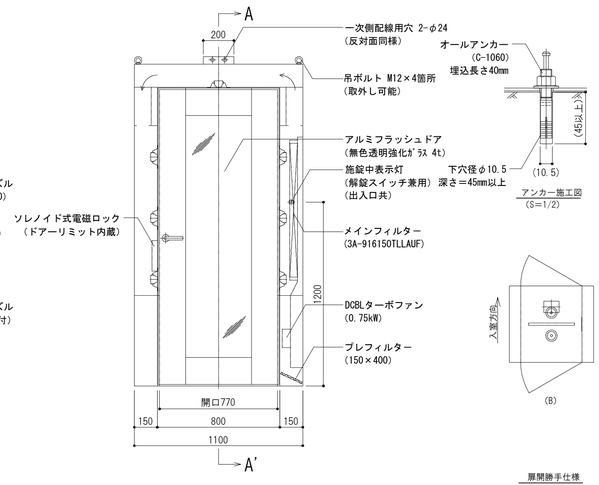
仕様・

集塵効率	0.3μm粒子にて99.99%以上	
循環回数	JET時 ～ 約730[回/時] ／ 循環時 ～ 約230[回/時]	
エアージェットノズル	18個（パルスジェットノズル～4個）	
吹出風速	JET時 ～ 約25[m/s]	
風量	JET時 ～ 約19[m3/min] ／ 循環時 ～ 約6[m3/min]	
プレフィルター	サランネットフィルター　150×400　×2枚	
メインフィルター	HEPAフィルター　3A－916150TLLAUF　×1枚	
送風機	LNF－6E×1台	
騒音	約70dB（Aスケール）装置より1mにて	
内外装	鋼板製焼付塗装仕上（姿見のみSUS#600相当以上）	
床	無し（建築床を使用）	
電源	AC200V　3φ　50/60［Hz］	
消費電力	JET時 ～ 約610[W]（約3.4[A]）／ 循環時 ～ 約60[W]	
設備電力	約1410[VA]	
重量	約280[kg]	
塗色	ホワイトグレー色　半ツヤ（ATC－7）	
エアージェット起動	光電センサ及びドアリミットスイッチにより帰り吹き無し	
電磁ロック動作	エアージェット時両扉施錠（エアージェットと扉とのインターロック）	
	片側扉開時反対側扉施錠（扉同士のインターロック）	
	尚、停電時及び電磁ロック解錠スイッチにより電磁ロックは解錠します	
標準装備内容	パルスジェットノズル（高除塵効果）	電磁ロック（扉インターロック用）
	DCBLターボファン（省電力）	姿見（実用新案取得済）
	LED照明（退室後10秒で消灯）	エアーインジケータ（風速監視用）
	クリーンアップ機能（退室後2分で停止）	マイコン制御（各種設定可能）
	天井吹出ノズル（頭部、肩除塵用）	

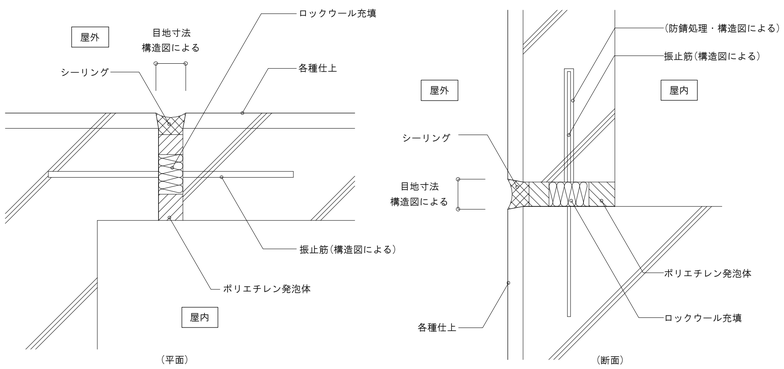




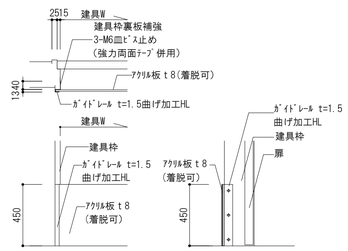
A-A'断面



構造スリット目地詳細図　1/5

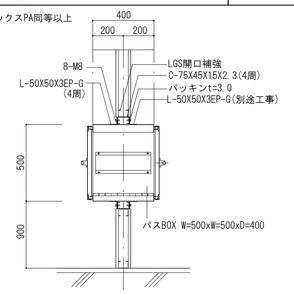


ネズミ返し詳細図　1/30

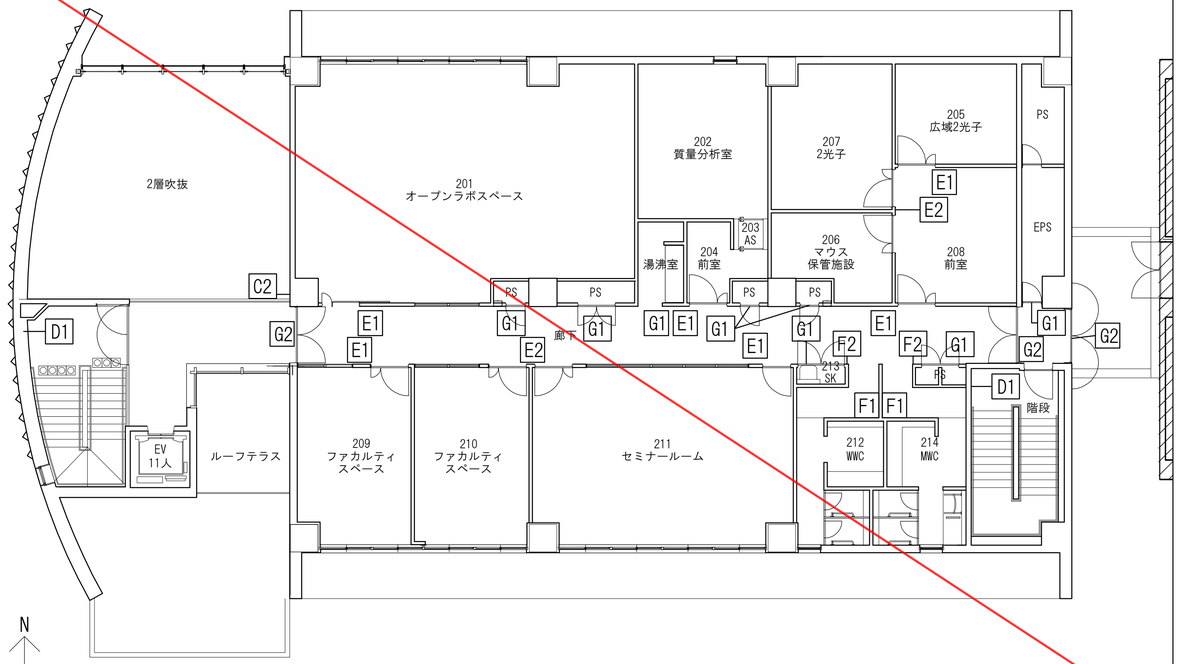


パスボックス詳細図　1/20

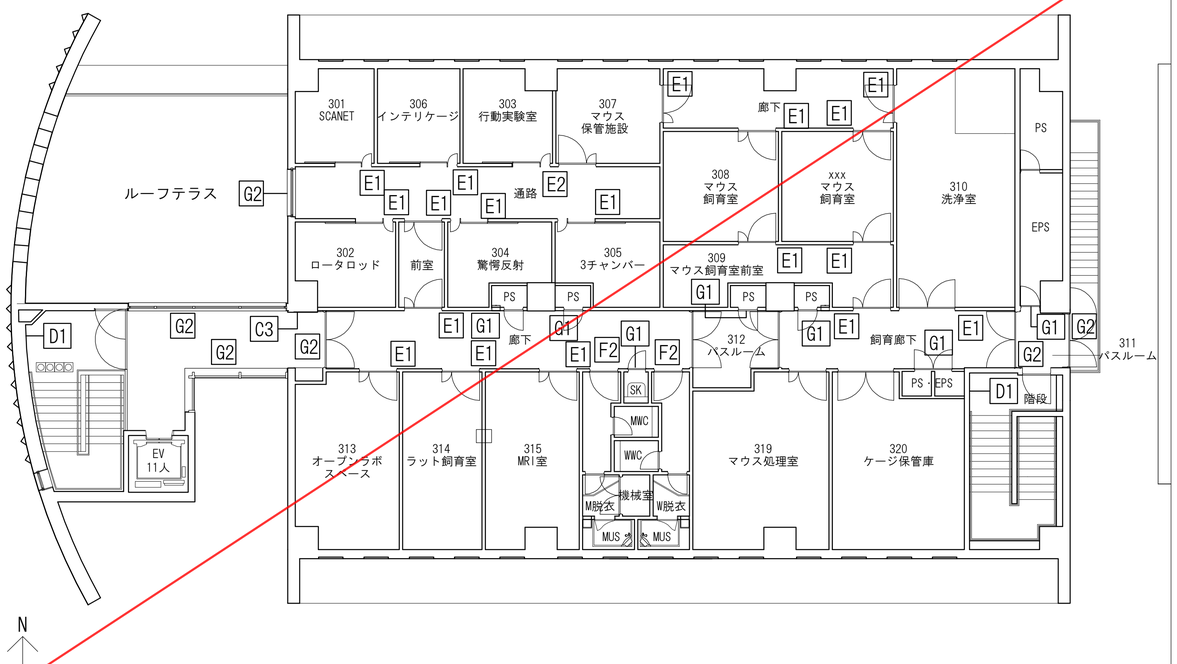
[ダルトン]パスボックスPA同等以上



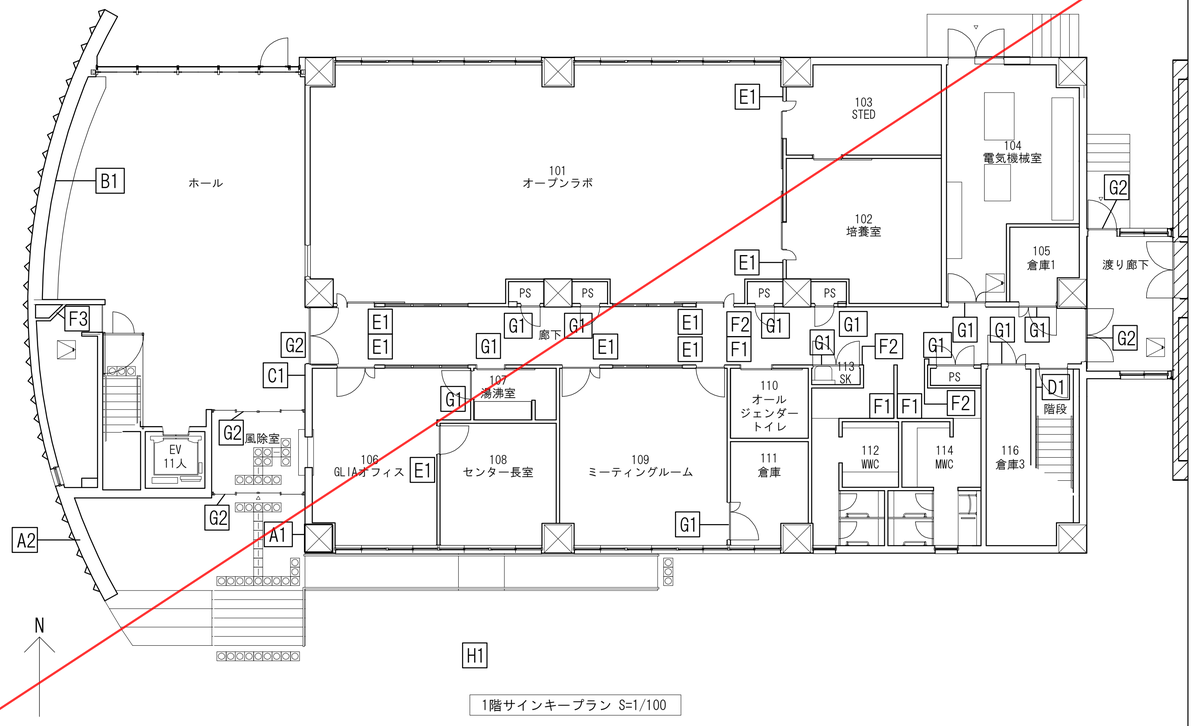
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン－グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	各部詳細図-5	A1 図示 A3 図示	A-32



2階サインキープラン S=1/100



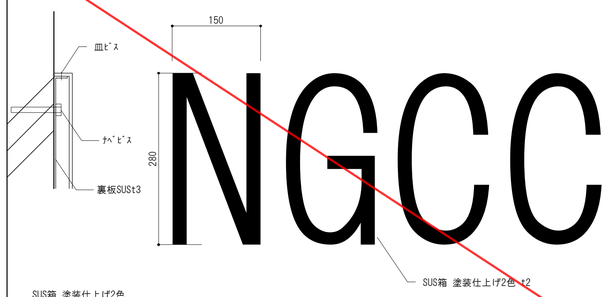
3階サインキープラン S=1/100



1階サインキープラン S=1/100

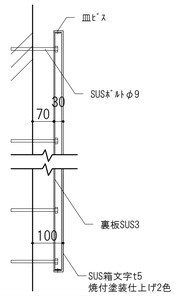
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	サインキープラン	A1 1/100 A3 1/200	A-37

A1　館名板　1か所　1/5

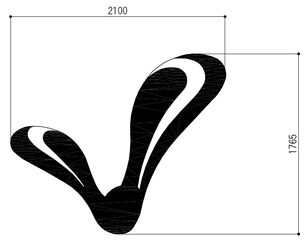


SUS箱 塗装仕上げ2色
※書体、塗装色、取付位置は監督職員と協議すること。

A2　館名板　1か所　1/10, 30



断面図　S=1/10



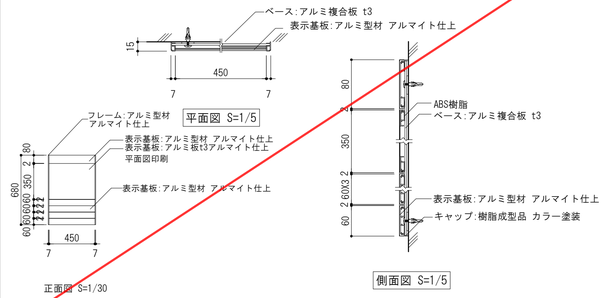
SUS箱文字 焼付塗装仕上げ2色

※塗装色・表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。

B1　屋内LEDサイン　1か所　1/30

※表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。

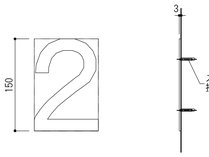
C1 C2 C3　屋内案内板　各々1か所　1/5, 30



※平面記載内容、書体、取付位置は監督職員と協議すること。

D1　階数表示　1/5

1・・・・1か所
2・・・・2か所
3・・・・2か所

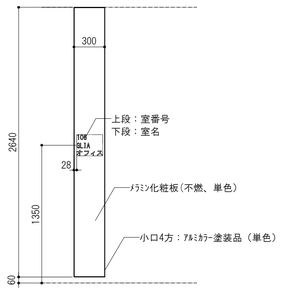


本体：SUS3.0 切文字 HL仕上　(SUS 304)

※書体、取付位置は監督職員と協議すること。

E1　室名表示　1/5, 30

※表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。



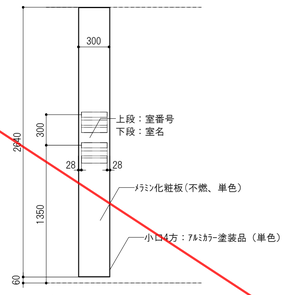
正面図　S=1/30

※室名は半角9文字以上となる場合は2段に分割する。

室番号・室名正面図　S=1/5

E2　室名表示　1/5, 30

※室名は半角9文字以上となる場合は2段に分割する。
※表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。

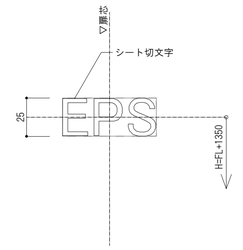


正面図　S=1/30

※室名は半角9文字以上となる場合は2段に分割する。

室番号・室名正面図　S=1/5

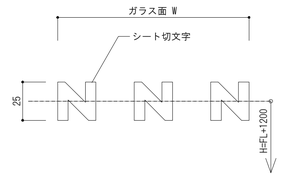
G1　バックヤードサイン（扉部）　1/2



正面図　S=1/2

※表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。

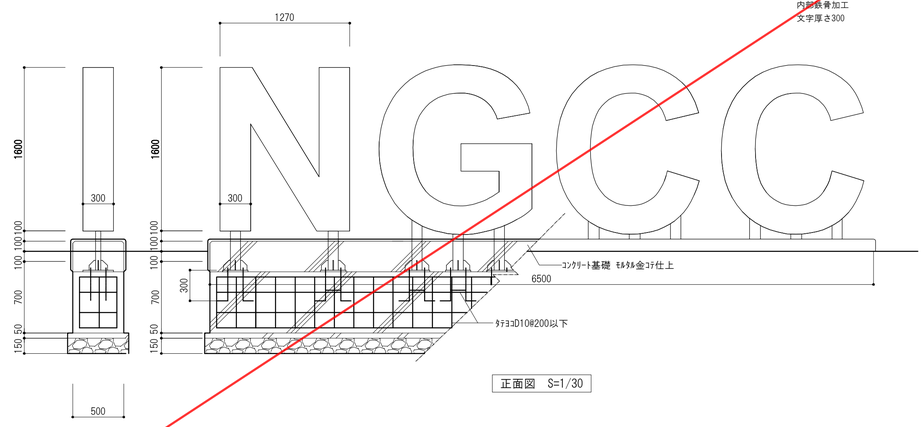
G2　衝突防止サイン　1/2



正面図　S=1/2

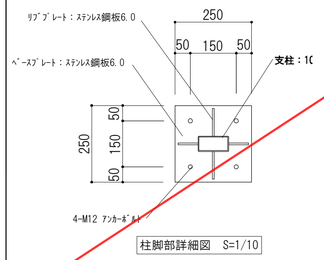
H1　屋外サイン　1か所　1/10, 30

※塗装色・表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。

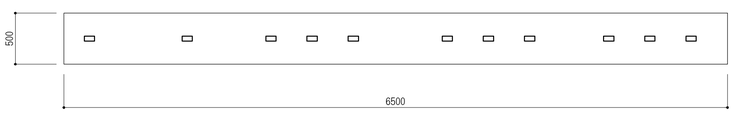


正面図　S=1/30

側面図　S=1/30



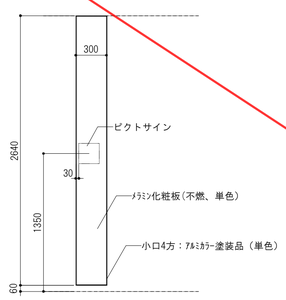
柱脚部詳細図　S=1/10



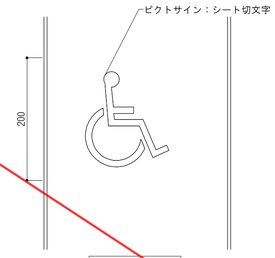
基礎伏図　S=1/30

F1　ピクトサイン　1/5, 30

※表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。



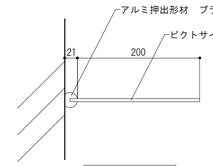
正面図　S=1/30



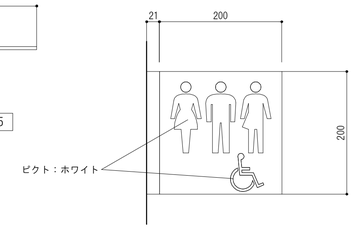
正面図　S=1/5

ｵｰﾙｼﾞｪﾝﾀﾞｰﾄｲﾚ：1か所
WWC：1か所
MWC：1か所
自動販売機：1か所
ｵｰﾙｼﾞｪﾝﾀﾞｰﾄｲﾚ：1か所

F2　ピクトサイン　1/5



平面図　S=1/5

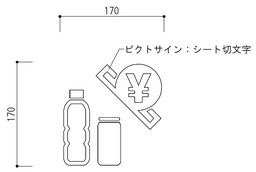


側面図　S=1/5

ｵｰﾙｼﾞｪﾝﾀﾞｰﾄｲﾚ：1か所
WWC：1か所
MWC：1か所
自動販売機：1か所

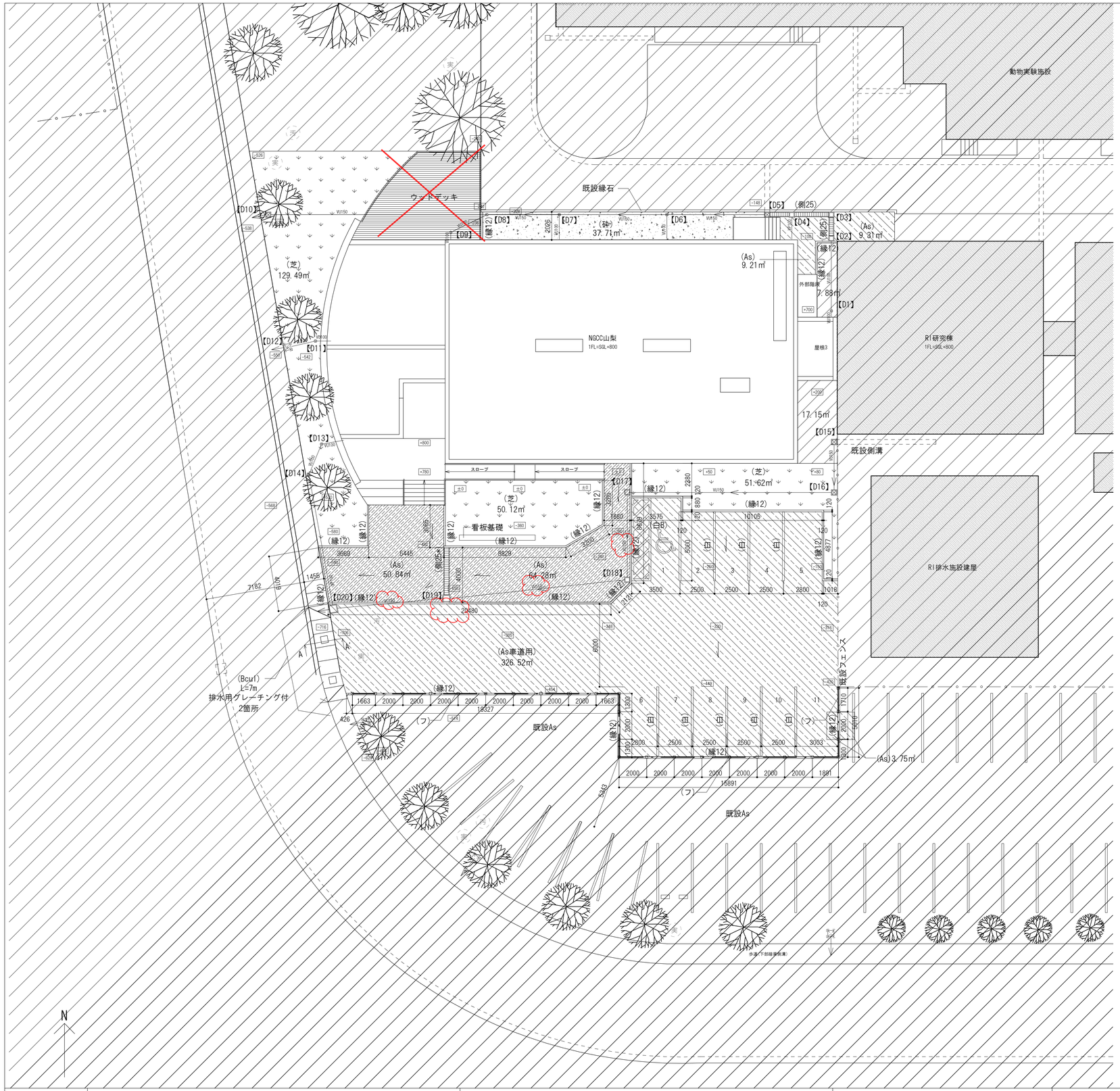
※表示内容・書体設置位置は監督職員に確認のこと。

F3　ピクトサイン　1/5



自動販売機

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	サイン詳細図	A1 図示 A2 図示	A-38

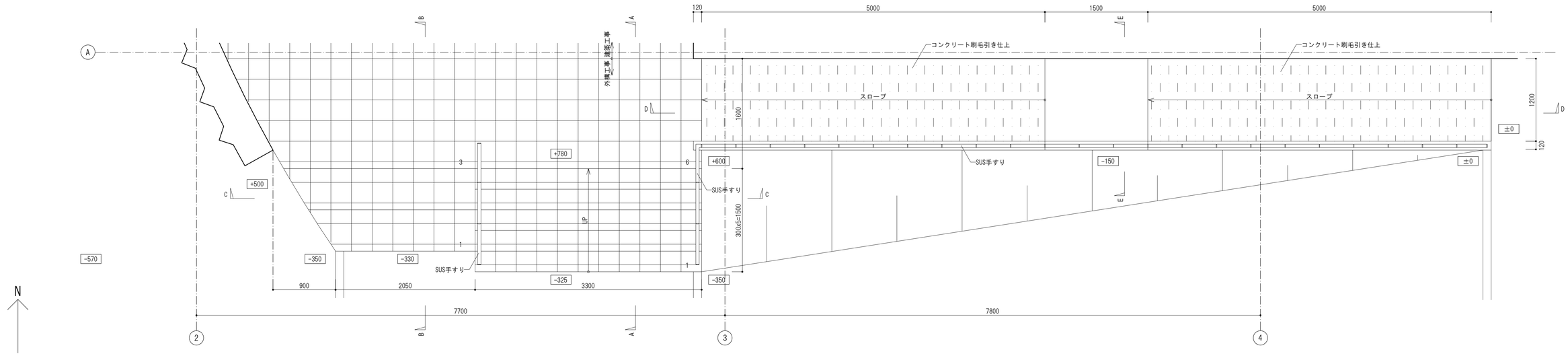


凡例	
記号	摘要
	改修範囲外を示す
(As車道用)	車道用アスファルト舗装を示す
(As)	歩道用アスファルト舗装を示す
~~(芝)~~	~~芝張りを示す~~
(砕)	再生砕石敷を示す
	裸地を示す
(縁**)	縁石を示す。（）内記号は詳細図参照。
(フ)	メッシュフェンスを示す
~~(デッキ)~~	~~デッキを示す~~
(白)	駐車場白線を示す
(白B)	バリアフリー用駐車場マーク白線を示す
	水勾配を示す
±000	SGLからの計画地盤の高低を示す
□	雨水桝（ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ桝蓋）を示す 【】内記号は桝番号を示す
⊠	雨水桝（ｺﾝｸﾘｰﾄ桝蓋）を示す 【】内記号は桝番号を示す
	雨水管を示す 特記なき限りVPφ150とする。
(側**)	側溝を示す。（）内記号は詳細図参照。
(Bcul)	ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄを示す。 車道用T-20とする。

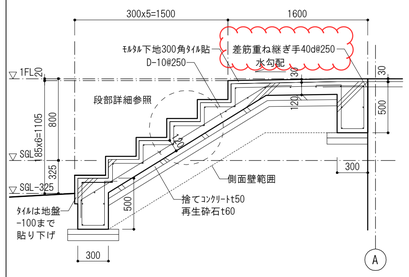
番号	桝名称	桝寸法	桝深さ	桝蓋仕様	管底高	地盤高	備考	
			mm		KBM±mm	KBM±mm		
雨水枡								
【D1】	塩ﾋﾞ製雨水桝	200φ	412.5	塩ﾋﾞ製	-234	-100	新設	ST,100-200、泥溜めｶｺﾞ付
【D2】	雨水桝	300角	500	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-20）	-330	-100	新設	
【D3】	雨水桝	300角	500	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-20）	-340	-100	新設	
【D4】	雨水桝	300角	550	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-20）	-360	-100	新設	
【D5】	雨水桝	300角	550	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	-370	-140	新設	
【D6】	塩ﾋﾞ製雨水桝	300φ	600	塩ﾋﾞ製	-450	-170	新設	90Y,150-300、泥溜めｶｺﾞ付
【D7】	塩ﾋﾞ製雨水桝	300φ	700	塩ﾋﾞ製	-530	-210	新設	90Y,150-300、泥溜めｶｺﾞ付
【D8】	塩ﾋﾞ製雨水桝	300φ	750	塩ﾋﾞ製	-590	-230	新設	90Y,150-300、泥溜めｶｺﾞ付
【D9】	塩ﾋﾞ製雨水桝	200φ	412.5	塩ﾋﾞ製	-234	-250	新設	30L,100-200,泥溜めｶｺﾞ付
【D10】	雨水桝	600角	900	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	-710	-532	新設	流出側逆流防止ｴﾙﾎﾞ150
【D11】	塩ﾋﾞ製雨水桝	200φ	412.5	塩ﾋﾞ製	-234	-542	新設	90Y,100-200、泥溜めｶｺﾞ付
【D12】	雨水桝	600角	600	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	-270	-545	既設	
【D13】	塩ﾋﾞ製雨水桝	200φ	412.5	塩ﾋﾞ製	-234	-550	新設	90Y,100-200、泥溜めｶｺﾞ付
【D14】	塩ﾋﾞ製雨水桝	200φ	460	塩ﾋﾞ製	-280	-560	新設	90Y,100-200、泥溜めｶｺﾞ付
【D15】	雨水桝	300角	450	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	-300	200	新設	
【D16】	雨水桝	300角	450	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	-280	80	新設	
【D17】	雨水桝	300角	650	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-2）	-470	-20	新設	
【D18】	雨水桝	450角	500	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-2）	-350	-290	新設	
【D19】	雨水桝	450角	600	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-2）	-440	-450	新設	
【D20】	雨水桝	600角	600	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（T-20）	-380	-700	新設	流出側逆流防止ｴﾙﾎﾞ150

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	外構図(計画)	A1 1/150 A3 1/300	A-40

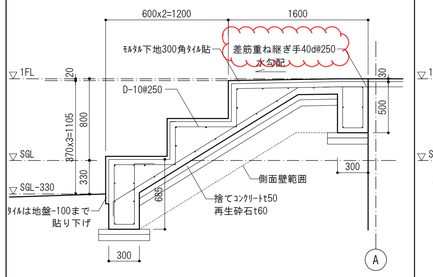
正面階段・スロープ詳細図　1/30



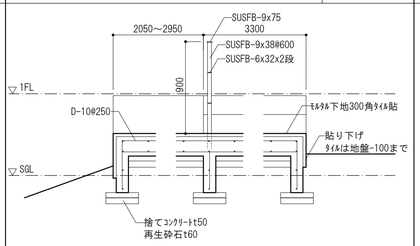
A-A断面図　1/30



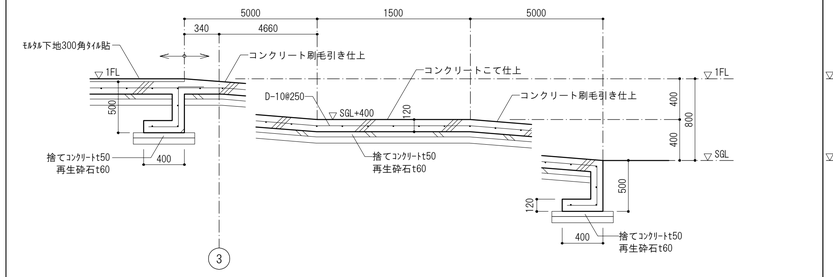
B-B断面図　1/30



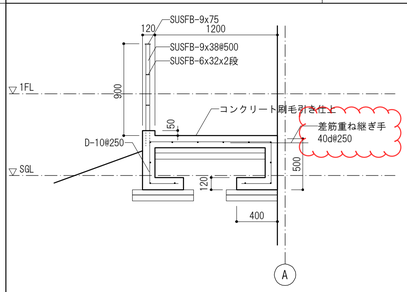
C-C断面図　1/30



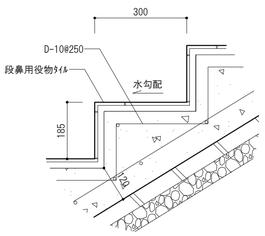
D-D断面図　1/30



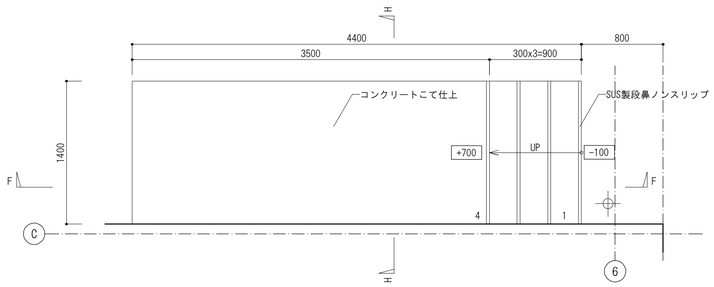
E-E断面図　1/30



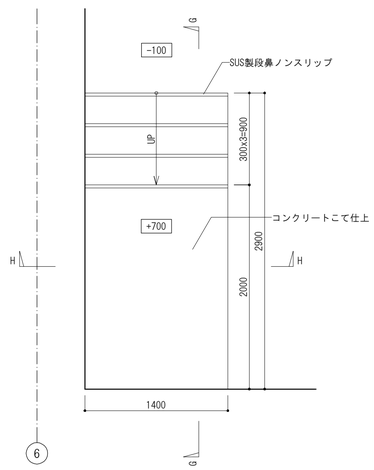
段部詳細　1/10



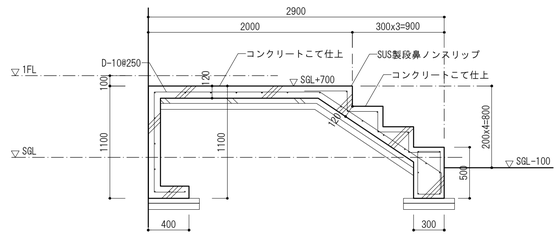
外部階段1　1/30



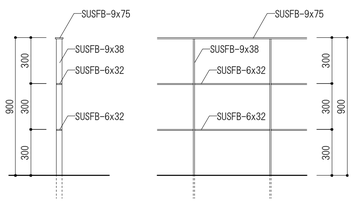
外部階段2　1/30



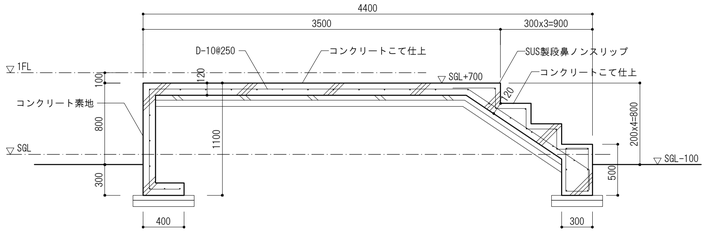
G-G断面図　1/30



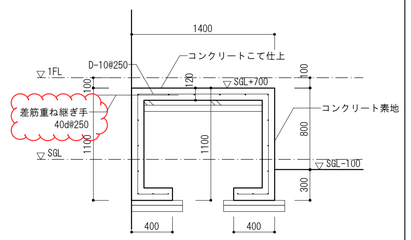
SUS手すり詳細図　1/20



F-F断面図　1/30



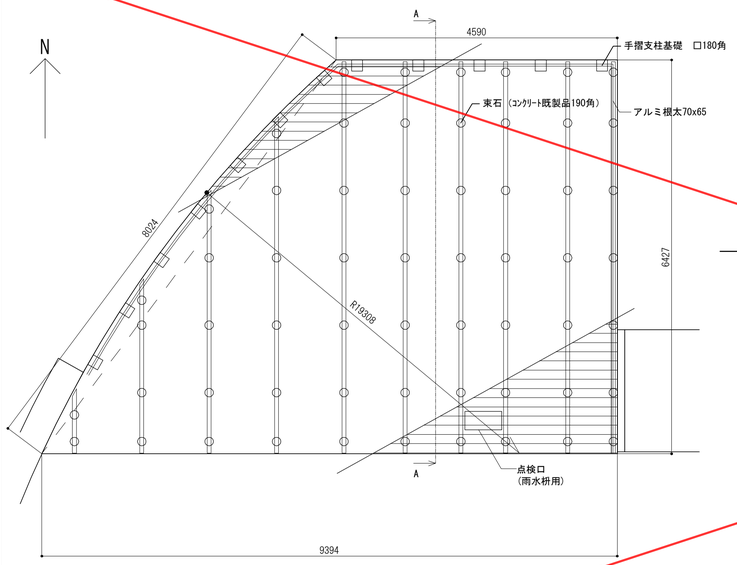
H-H断面図　1/30

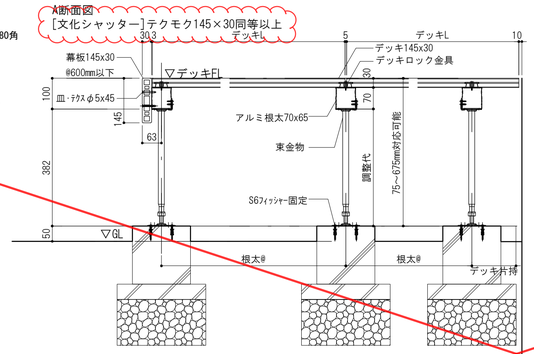


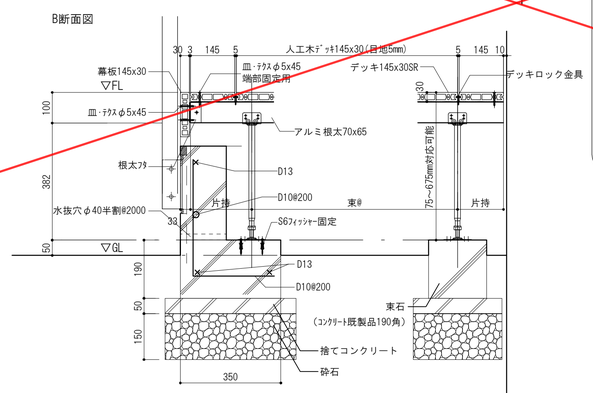
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	外構詳細図-2	A1 図示 A3 図示	A-42

ウッドデッキ詳細図

S=1/10



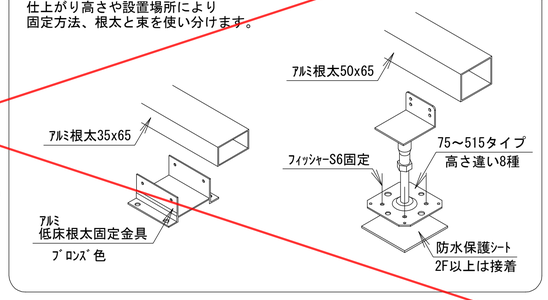




■許容範囲

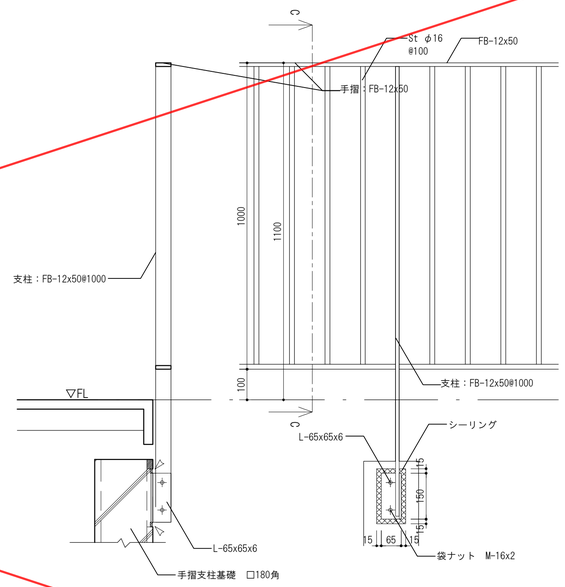
	積載荷重	最大束ピッチ	最大片持	在庫根太長さ
70x65	3500（N/㎡）	1100　(mm)	200　(mm)	2195　(mm)
	2900（N/㎡）	1200　(mm)	250　(mm)	2395　(mm)
	1800（N/㎡）	1300　(mm)	300　(mm)	2595　(mm)

仕上がり高さや設置場所により
固定方法、根太と束を使い分けます。



■束の種類
低床用2種類、デッキ高さ最大675mmまで対応可能な束タイプ8種類

低床根太固定金具H=10 調整代 10～30	束75 調整代50～100	束285 調整代225～345
低床根太固定金具H=30 調整代 30～50	束115 調整代90～140	束345 調整代285～405
	束165 調整代140～190	束415 調整代355～475
	束220 調整代170～270	束515 調整代455～575



デッキ手摺 C断面図

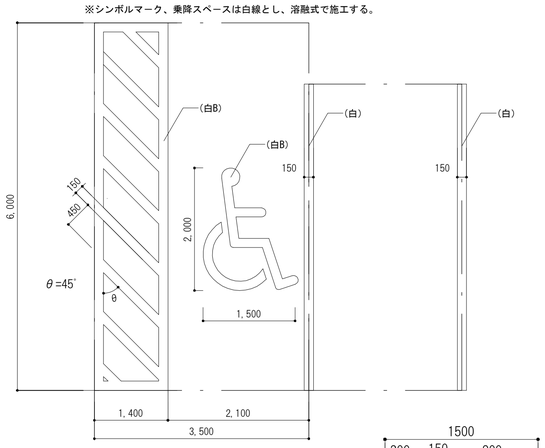
※鋼材は溶融亜鉛メッキ　DP塗装とする。

デッキ手摺側面図

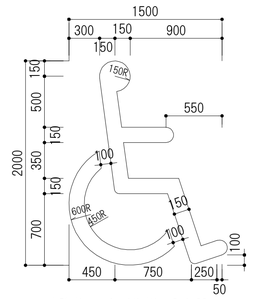
(白B)バリアフリー用駐車場マーク白線、(白) 駐車場白線　改修

S=1/10

※シンボルマーク、乗降スペースは白線とし、溶融式で施工する。



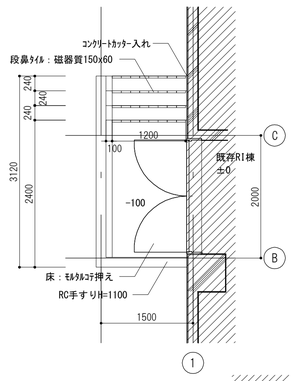
車　路



身障者マーク（参考）　S=1/30

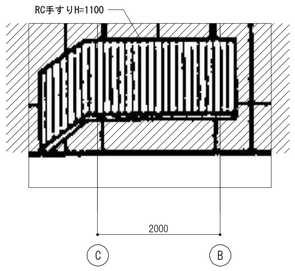
(撤階)R1棟階段　撤去

S=1/10

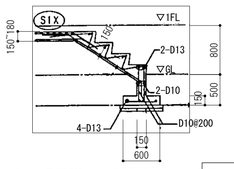


階段平面図　S=1/50

:既存存置を示す



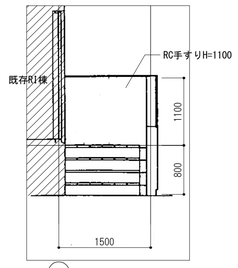
階段西側立面図　S=1/50



SX1　短辺方向　上：D13@100
短辺方向　下：D10・D13@100
長辺方向　下：D10・D13@100
長辺方向　下：D10・D13@100

※ｶｯﾀｰ入れ露出鉄筋部：防錆処理とする。

階段配筋図　S=1/50

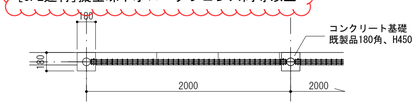


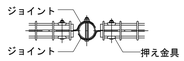
階段北側立面図　S=1/50

(フ)メッシュフェンス　改修

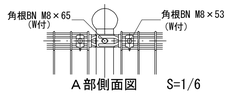
S=1/30

※新設
[JFE建材]擬宝珠ネオロータフェンス同等以上

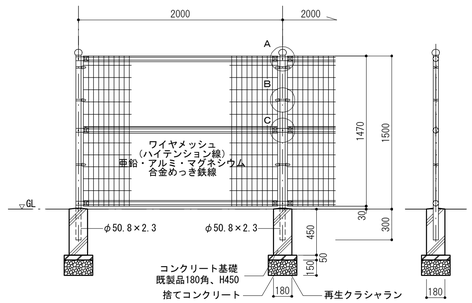


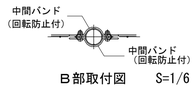


A部取付図　S=1/6

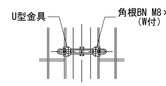


A部側面図　S=1/6

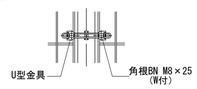




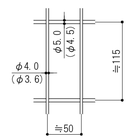
B部取付図　S=1/6



標準的な取付図　S=1/6

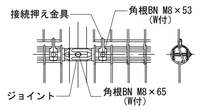


パネルと柱のすきまが
せまい場合の取付図　S=1/6



ワイヤメッシュ図
（　）内は芯径を示す。

パネル断面図

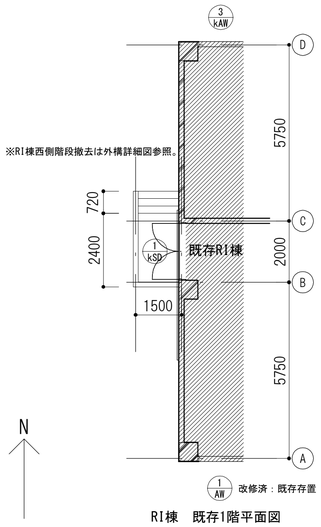


C部取付図　S=1/6

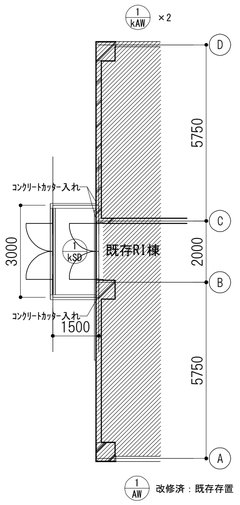
設計条件
設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力　98ｋＮ／㎡（10ｔ／㎡）

備考
1．外装について
・主柱、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バ　ン　ド　・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・Ｕ　型　金　具　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

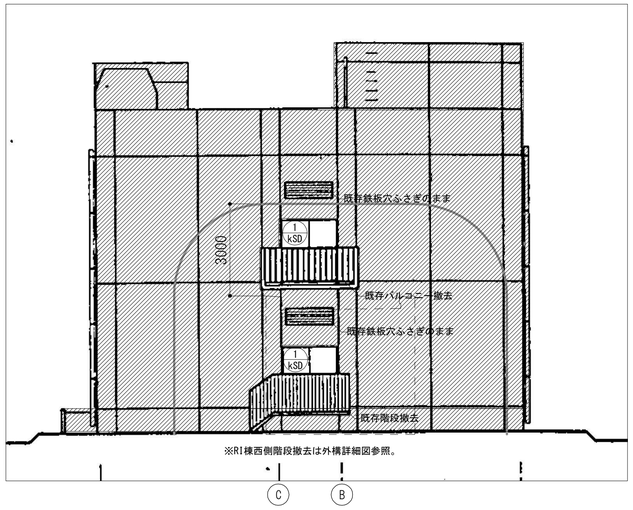
設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	外構詳細図-3	A1 図示 A3 図示	A-43



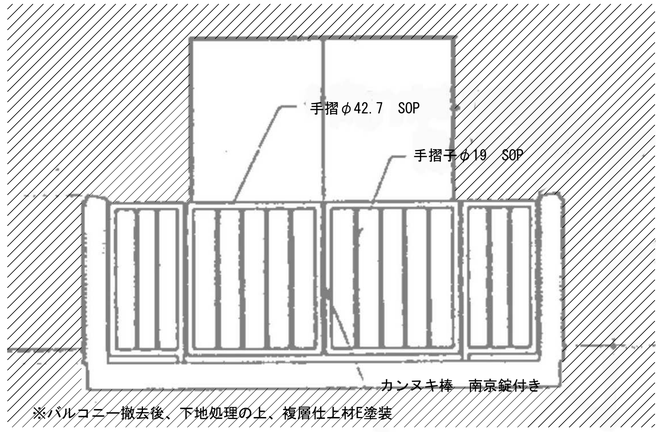
RI棟　既存1階平面図



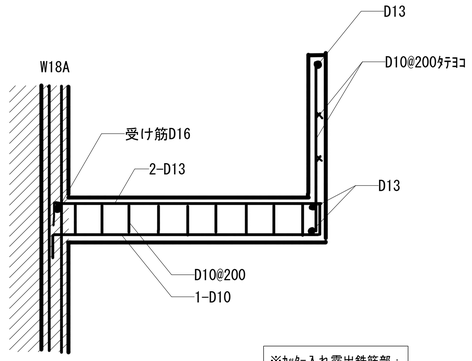
RI棟　既存2階平面図



RI棟　既存西側立面図

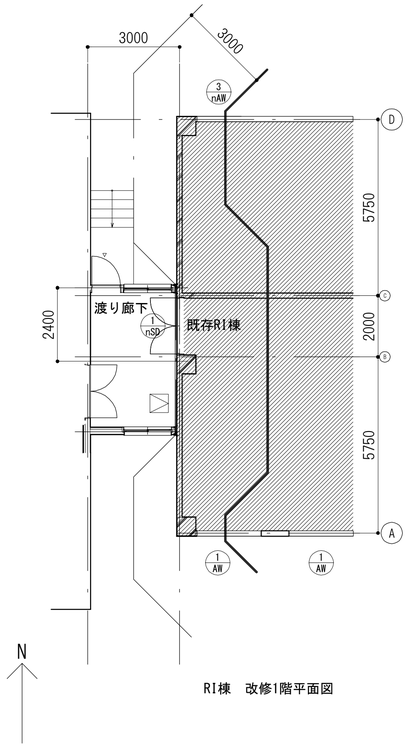


バルコニー部手摺側面図　S=1/20

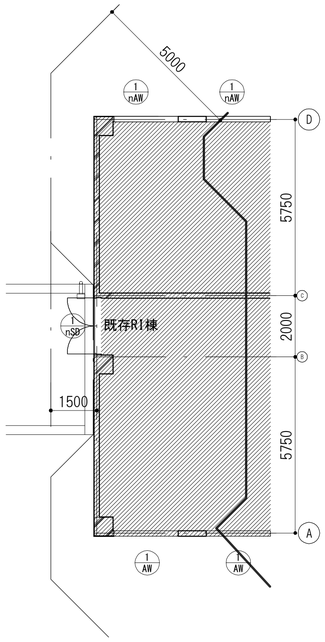


※ｶｯﾀｰ入れ露出鉄筋部：
防錆処理とする。

バルコニー部配筋図　S=1/20

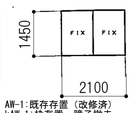
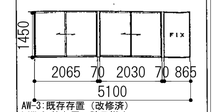
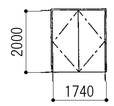


RI棟　改修1階平面図



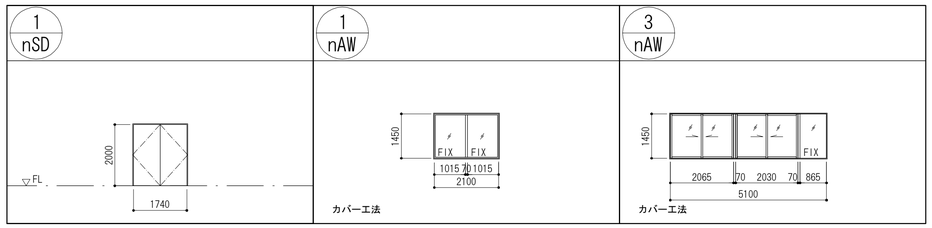
RI棟　改修2階平面図

RI棟　既存建具表

記号	kAW-1（2か所），AW-1（防火設備）	AW-2	kAW-1（2か所），AW-3（防火設備）
姿図	 AW-1:既存存置（改修済） kAW-1:枠存置、障子撤去		 AW-3:既存存置（改修済） kAW-3:枠存置、障子撤去
形式	はめ殺し窓		引き違い・はめ殺し窓
材質・仕上	アルミ製		アルミ製
硝子	フロートガラス 75　AW1:PW6.8		フロートガラス 75　AW3:PW6.8
金物	水切り　網板		水切り　網板
数量	8ヶ所		1ヶ所
備考			
記号	SD-1		
姿図			
形式	両開き扉		
材質・仕上	スチール製　SOP		
硝子	――――		
金物	PD　PH　DC　FB　戸当たり		
数量	2ヶ所		
備考			

※既存RI棟建具表は建具表の特記事項、記号等を準用する。

RI棟　改修建具姿図



既存RI棟　改修建具表

符号	建具分類（　）内はらんまを示す	数量	寸法 W	寸法 H	建具枠 枠見込	建具枠 枠形状	建具枠 沓摺	ガラス 種類	ガラス 厚さ	防火設備適用	電気錠適用	建具金物	備考
1 nSD	両開き扉	2	1740	2000	※	S7	6	―	―	防20	-	DC(S/P),FO,LH,他付属金物一式	
1 nAW	FIX2連窓	2	2100	1450	70	部分詳細図参照	―	(IG) F+PW	3+A6+6.8	防20	-	他付属金物一式	
3 nAW	引違い2連窓＋FIX窓	1	5100	1450	70	部分詳細図参照	―	(IG) F+PW	3+A6+6.8	防20	-	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	

※建具性能値は、「S-5、A-4、W-4」とする。
※アルミ表面処理はB-2種(ｽﾃﾝｶﾗｰ)とする。

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担当	既存RI研究棟改修図	A1 1/100 A3 1/200	A-44

4 地業工事

⊙支持地盤等

・杭基礎 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)
支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)
・図示による( ) ・
⊙直接基礎
支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む)
⊙図示による(S-05) ・
試験掘り(根切り底の状態の確認等)
・行わない
⊙行う
位置等
・図示による( ) ・
⊙地盤の載荷試験
載荷試験の方法
⊙地盤工学会基準 JGS 1521による ・
試験の位置、載荷荷重
・図示による( ) ⊙ 300kN/㎡

・既製コンクリート杭地業

種類 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等

		種類 種別	コンクリート 強度(N/mm²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備 考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本 杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状
・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・
工法
・セメントミルク工法
試験杭
試験杭の位置
・図示による( ) ・
掘削深さ
・図示による( ) ・
杭の支持層への根入れ長さ
・図示による( ) ・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下 ・
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内 ・
・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=( )、β=( )、γ=( )
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する ・使用しない
試験杭
試験杭の位置
・図示による( ) ・
杭の支持層への根入れ長さ
※評定等の評価内容による
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
※評定等の評価内容による
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・
・機械式継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
※評定等を受けた工法
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法(切断にともなう補強方法含む)
・図示による( ) ・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの ・

・鋼杭地業

鋼杭の材料 (4.2.2)(4.4.3)～(4.4.6)
・
杭の種類、寸法、継手等

		種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本 杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=( )、β=( )、γ=( )
工法
・
試験杭
試験杭の位置
・図示による( ) ・
杭の支持層への根入れ長さ
※評定等の評価内容による
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
※評定等の評価内容による
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
形状
・JIS A 5525による ・
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手
工法
※評定等を受けた工法
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法(切断にともなう補強方法含む)
・図示による( ) ・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの ・

・場所打ちコンクリート杭地業

工法 (4.2.2)(4.5.1)(4.5.4)～(4.5.6)
・アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・使用しない)
・リバース工法
・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない)
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管巻き材料
・SKK400 ・SKK490 ・
・拡底杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない)
・
寸法等

	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考
試験杭						
本 杭						

試験杭
試験杭の位置
・図示による( ) ・
孔壁の保持状況(孔壁測定)
測定箇所
・試験杭( )箇所及び本杭( )箇所 ・
杭の支持層への根入れ長さ
・図示による( ) ・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による ・
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内 ・評定等の評価内容による ・
鉄筋の種類

種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考
・ SD295		
・ SD345		
・		

帯筋の加工及び組立
・図示による( ) ・
鉄筋の最小かぶり厚さ
・100mm ・
鉄筋かごの補強
・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手
※重ね継手
重ね継手の長さ ・図示による( ) ・
・
主筋の基礎底盤への定着長さ
・図示による( ) ・

セメントの種類
※高炉セメントB種 G ・
コンクリートの設計基準強度
・図示による( ) ・
コンクリートの種別
・A種 ・B種 ・評定等の評価内容による
スランプ
・18cm ・21cm
構造体強度補正値
・3N/mm2 ・評定等の評価内容による

⊙砂利地業

材料 (4.6.2)(4.6.3)
砂利 ・再生クラッシャラン G ⊙切込砂利又は切込砕石
範囲
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・図示による( )
厚さ
※60mm ・

⊙捨コンクリート地業

範囲 (4.6.4)
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下 ・図示による( )
厚さ
※50mm ・
設計基準強度
※18N/mm ・
スランプ
※15cm又は18cm ・

・床下防湿層

材料 (4.6.2)(4.6.5)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・
範囲
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
・

⊙地盤改良工法

種類及び施工方法等
・図示による(S-05) ・

5 鉄筋工事

⊙鉄筋

鉄筋の種類等 (5.2.1)

種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考
⊙ SD295	D10～D16	
⊙ SD345	D19～D25	
⊙ SD390	D29	
⊙ KSS785	S13	

⊙溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種 類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の経 (mm)	使 用 部 位
⊙ 溶接金網		Φ6×100×100	防水コン
・ 鉄筋格子			

⊙鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

部 位	継 手 の 方 法	呼 び 径 (mm)
柱、梁の主筋	⊙ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ⊙ 重ね継手	D10～D29
耐力壁の鉄筋	⊙ 重ね継手 ・	D13,D16
その他の鉄筋( )	・ 重ね継手 ・	

継手位置
※標準仕様書5.3.3による ・図示による( ) ・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による( ) ・
耐力壁の重ね継手の長さ
※標準仕様書5.3.4(3)(ｱ)による ・図示による( ) ・

⊙鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
※標準仕様書5.3.4による ・図示による( ) ・
機械式定着工法
・適用する
適用場所
・図示による( ) ・
種類
・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定 ・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

⊙鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)

最小かぶり厚さ (5.3.5)
※標準仕様書5.3.6による ・図示による( ) ・
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm ・
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm ・

⊙各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
・図示による(S-02,S-03) ・

⊙ガス圧接継手

圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)
※超音波探傷試験
・引張試験
試験方法等 ※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)①～⑥による ・

・機械式継手

適用箇所 (5.5.3)(5.5.5)
・図示による( ) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して( )箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
・

・溶接継手

適用箇所 (5.6.3)(5.6.5)
・図示による( ) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
溶接継手の工法
・図示による( ) ・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による( )
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して( )箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
・

構造設計一級建築士 登録第1492号 須和田高士

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学 (下河東) ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	担 当	特記仕様(構造関係)その1	A1 1/non A3 1/non	S-00-1

構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は■印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1）工事名所　山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨（仮称）新営工事
（2）建築場所　　山梨県中央市下河東1110
（3）工事種別　　■ 新築　　□ 増築　　□ 増改築　　□ 改築
（4）構造設計一級建築士の関与　　■ 必要　　□ 必要としない
□ 法第20条第一号（高さ60m超）
■ 法第20条第二号（　□ RC造高さ20m超　　□ S造4階建以上　□ 木造高さ13m超　　□ その他）
注(3)構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
（5）構造種別
□ 木造（W）　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　□ 鉄骨造（S）
■ 鉄筋コンクリート造（RC）　□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）
（6）階　数
棟　地下　－　階　　地上　3　階　　塔屋　－　階
（7）主要用途　　学校
（8）屋上付属物
□ 高架水槽　　kN □ キュービクル　　kN □ 広告塔　　□ 煙突
（9）特別な荷重
■ エレベータ　11人乗（ロープ式　油圧式）　□ リフト　　kN
□ ホイスト　kN　　□ 倉庫積載床用　N/m²　　□ 受水槽　　kN
(10) 付帯工事
□ 門塀　□ 擁壁　□ 駐輪場　□ 機械式駐車場　□
(11) 増築計画　　□ 有（　　）　■ 無
(12) 構造計算ルート　X方向ルート　－（3）　Y方向ルート　－（3）

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（1）コンクリート　　（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種　類	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質基準強度 Fq=N/mm²	スランプ cm	備　考
捨てコンクリート	■ 普通	18	18	15	
土間コンクリート	■ 普通	18	18	15	
基礎・基礎梁	■ 普通	24	30	15	比重　γ=23
柱・梁・床・壁	■ 普通, □ 軽量	24	30	18	比重　γ=23
	□ 普通, □ 軽量				比重
押えコンクリート	■ 普通, □ 軽量	18			比重

細骨材の種類	□ 砂　□ 山砂　□ 人工　□
粗骨材の種類	□ 砂利　□ 砕石　□ 人工　□
水の区分	□ 水道水　□ 地下水　□ 工業用水　□
混和材料の種類(JIS　　)	□ AE減水材　□ 高性能AE減水材　□　　□
呼び強度を保障する材齢、養生	■ 材齢（■ 28日　□ 56日　□　　□ ） □ 養生（□ 現場封かん　□ 現場水中　□ 標準　□ ）

□ 単位水量は185kg/m 以下、単位セメント量は270kg/m 以上とする。
（2）コンクリートブロック　　（□ JIS A 5406）
□ A 種　□ B 種　□ C 種　厚□ 100、□ 120、□ 150、□ 190　使用箇所（□　□　）

（3）鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■ SD295 A	D10～D16	床・壁	■ 重ね継手 ■ ガス圧接継手 □ 溶接継手 □ 機械式継手 （　　）
	□ SD295 B			
	■ SD345	D19～D25	柱・梁・基礎梁	
	■ SD390	D29	柱・梁・基礎梁	
	□			
高強度せん断補強筋	□ 材種			
	□ 大臣認定番号 MSRB-			
丸鋼(JIS G 3112)	□ SR235			
溶接金鋼(JIS G 3551)	□			

各継手の使用詳細については本仕様5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。

(4) 鉄　骨　　※使用箇所の詳細については別途図示とする。

種　類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□ SS400　□ SM400　□ SN400 A		□ 有 □ 無	JIS G
□ STKR400　□ STKR490　□		□ 有 □ 無	JIS G
□ BCR295　□ BCP235　□ BCP325		□ 有 □ 無	大臣認定品　番号 MSTL-
□ SM490A　□ SN490B　□ SN490C		□ 有 □ 無	JIS G
□ SSC400　□		□ 有 □ 無	JIS G
溶接材料　□			JIS Z

（5）ボルト
□ 高力ボルト
□ F10T(JIS B1186)　□ S10T 認定番号（　　）　□ F8T 認定番号（　　）　（□ M16、□ M20、□ M22、□ M24）
□ ボルト (JIS B1180)　M　　M　　□ 4.8(4T)　□
□ アンカーボルト
□ SS400　M　　L=　　mm　ナット（□ シングル、□ ダブル）
□ SS400　M　　L=　　mm　ナット（□ シングル、□ ダブル）
□ 頭付スタッドボルト　　φ=　　L=　　mm　使用箇所（□ 柱　□ 大梁 □ 小梁）
φ=　　L=　　mm　使用箇所（□ 柱　□ 大梁 □ 小梁）

（6）屋根、床、壁

材　種	型式　厚　その他	使用箇所	仕様・工法
ALC　(JIS A 5416)	厚	□ 壁　□ 床版	□ スライド □ ロッキング □ ボルト止め
折　版	H=　厚	□ 屋根□	
特殊デッキプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□ 床版□	
デッキプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□ 床版□	
キーストンプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□ 床版□	

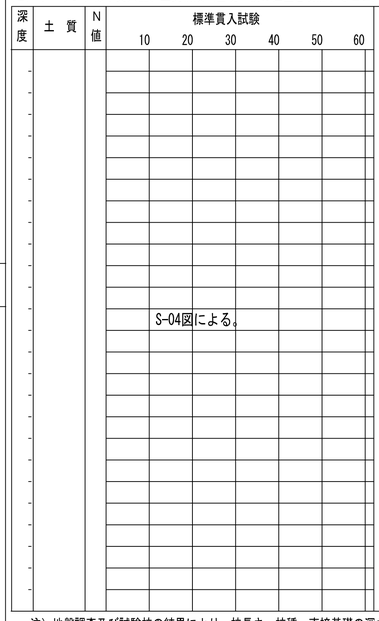
3．地　盤

（1）地盤調査資料と調査計画
■ 有　（■ 敷地内　□ 近隣）　□ 無　（調査計画　□ 有　□ 無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定	○		土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定	○	
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2）ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



○調査地番
○位置図
○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
○孔内水位
ＧＬ　－　　m
○近隣データの調査地番と設計地番とは約　　m の距離がある。
○備考

注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1）直接基礎　　□ ベタ基礎　■ 布基礎　■ 独立基礎　　試験堀　■ 有 □ 無
深さ　GL- 2.0 m、支持層-砂礫　　、長期許容支持力度　300　kN/m²　載荷試験　■ 有 □ 無
（2）地盤改良　　□ 浅層混合処理工法　■ 深層混合処理工法　□
深さ　GL-3.8　m、長期許容支持力度　300kN/m²　載荷試験　■ 有 □ 無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする。
（3）杭基礎　　支持層ー

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
□ RC　□ PRC □ PHC　□ H鋼 □ 鋼管　□ 摩擦杭 □ SC杭　□	PRC（ □ I 種　□ II 種　□ III 種） PHC（ □ A種　□ B種　□ C種） 鋼材　□ SS400　□ SKK400 □ JIS	□ 打ち込み □ 埋込み　（セメントミルク工法） □ □ 大臣認定工法	認定第 TACP-0512 号 年　月　日
□ 場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc　N/mm² Fq　N/mm² スランプ　cm以下 セメント量　kg/m³ 単位水量　kg/m³ 鉄筋　主筋　SD HOOP　SD	□ オールケーシング　□ 拡底杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル　□ ミニアース □ BH　□ 深礎（□ 手掘　□ 機械掘）	認定第　　号 年　月　日

杭仕様　　□ 施工計画書承認　　□ 杭施工結果報告書
試験杭　（□ 有・□ 無）　（□ 打ち込み・　□ 載荷・□ 孔壁測定）　　本

杭径（mm）	設計支持力（KN/本）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事　　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度(Fc)が36N/mm 以下に適用し、鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

（1）コンクリート

■ コンクリートはJIS A 5308に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5(2009年版)による。
■ 耐久設計基準強度 Fd　□ 短期　□ 標準　■ 長期　□ 超長期
■ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603によることとし、試供体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m を超える場合は150m ごまたは、その端数ごとに一回を標準とする。
一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週間に３本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技術を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。
■ コンクリート打込み中及び打込み後５日間は、コンクリートの温度が２度を下らないようにする。
■ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（2）鉄　筋

■ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS5による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるＤ種１号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
■ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径
	(1)引張力最小部位	(2) (1)以外の部位（注）			
		A級	B級	SA級	
■ 重ね継手	■ 40d　□ 35d　□（ ）d				■ D(16)以下
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	■			■ D(19)以上
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D(　)以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D(　)以上

注）(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。
■ D19未満はすべて重ね継手とする。
■ 継手部分の施工要領は、社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査　■ 有　□ 無　・引張試験　□ 有　■ 無　・超音波深傷試験　■ 有　□ 無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、１回の試験は５本以上とする。
（１ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする）
■ 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、　□ H型（タガ型）　■ W型（溶接型）　□ S型（スパイラル型）とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
試験・検査機関名　未定　（管理者の承認とする）（都知事登録　　号）
代行業者名
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（3）型　枠

■ 材料　合板厚さ　12mmを標準とする。　■ 施工はJASS5による。
■ 型枠存置期間

種類 / 部位	せき板				支柱		
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類 / 平均気温の	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm²		設計基準強度の５０％		設計基準強度の 85%		100%

注）１　片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）６　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。
注）７　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）８　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事　　（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
□ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（2）工事監理者の承認を必要とするもの
□ 製作工場　　□ 製作要領書　□ 工作図　□ 施工計画書　□
□ 認定または登録工場（大臣認定 ＳＨＭＲＪグレード　　都登録 T1 T2 T3 ランク）
□ 材料規格証明書※、または試験成績書
□ 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ 頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
□ 社内検査表　　□　　□

（3）工事監理者が行う検査項目
（ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査　　□ 組立・開先検査　□ 製品検査　　□ 建方検査　　□

（4）接合部の溶接は下記によること
□ 平成12年度建設省告示第1464号第二号イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」

（5）接合部の検査
□ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備　考
□ 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
□	超音波探傷検査	% 個	% 個	% 個	
	内質検査（注） □ 硬さ試験	% 個	% 個	% 個	（注）東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	内質検査（注） □ 示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
□ 溶接部全て	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	
第三者検査機関名			（都知事登録　　号）		
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
□ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□ 要　□ 否　　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　□ 否
□ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
□ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

（6）防錆塗装
□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、□ JIS K 5621、　□ JIS K 5625、　□　　□　　を使用して4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、２回塗りとする。

（7）耐火被覆の材料
□

7．設備関係

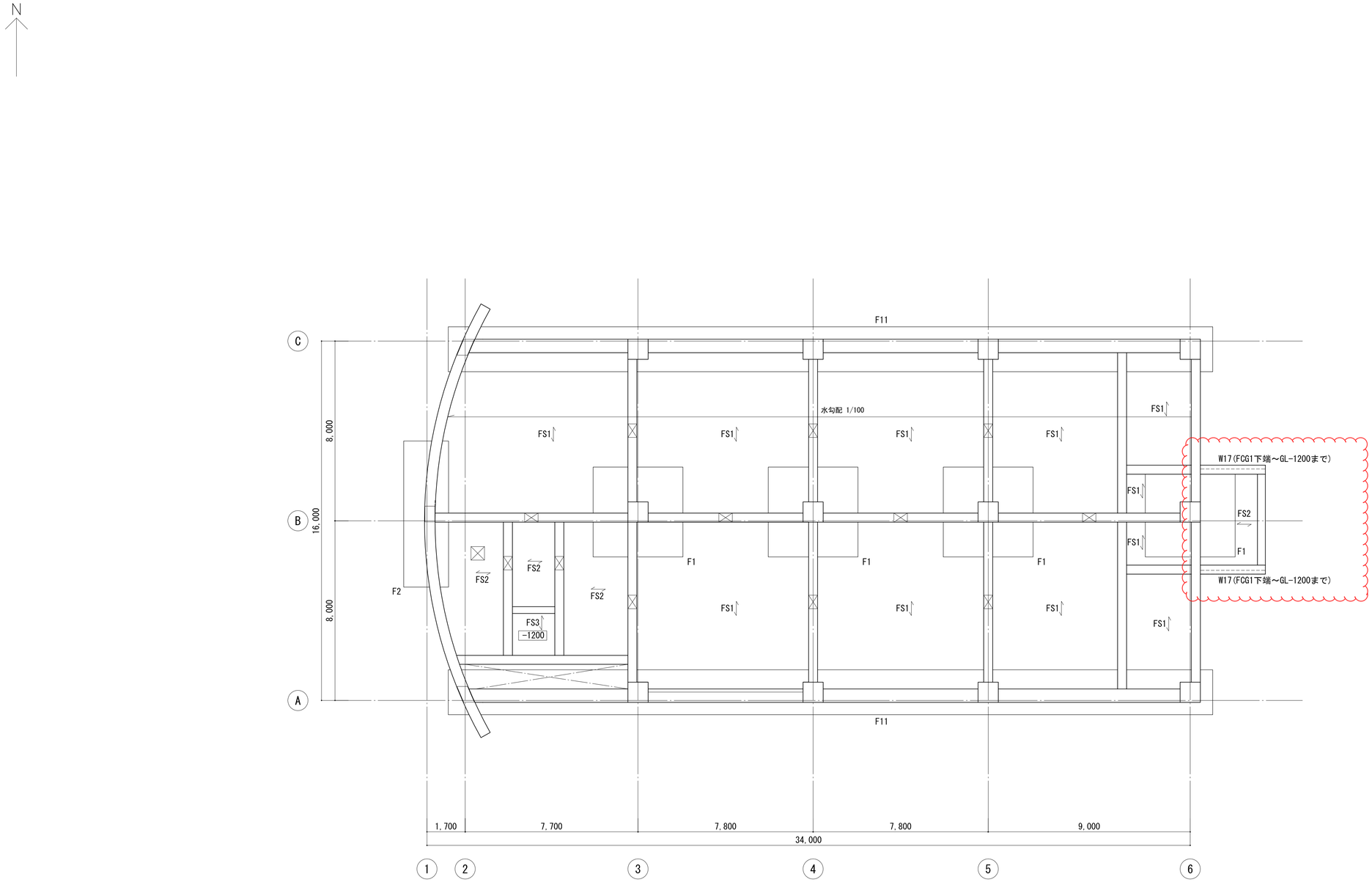
■ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
■ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
■ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
■ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
■ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を管径の３倍以上かつ５cm以上を原則とする。
■ 建築基準法施行令第129条2の4への適合
■ 給湯設備の固定は、H24国告1447号によること。

8．その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

構造設計一級建築士 登録第1492号 須和田高士

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	構造設計特記仕様	A1 1/non A3 1/non	S-01



基礎・ピット伏図　1/100

注記）特記なき限り下記による。

1. ピット天端レベルは、意匠図による。
2. 印は、人通孔(600角)を示す。
3. 印は、釜場(500x500xH600)を示す。
4. 印は、上部点検口(600角)を示す。
5. 基礎下端は、SGL-2000とする。
6. 印は、埋戻しを示す。
7. はスラブ上端筋の上組方向、スラブ下端筋の下組方向を示す。

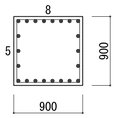
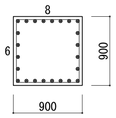
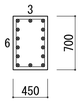
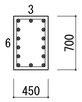
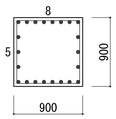
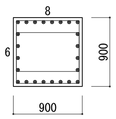
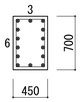
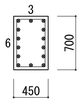
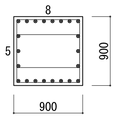
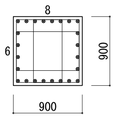
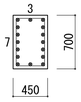
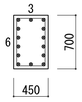
上端筋　上組　下組
下端筋　上組　下組

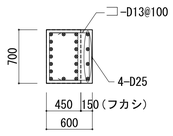
構造設計一級建築士 登録第1492号 須和田高士

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	基礎・ピット伏図	A1 1/100 A3 1/200	S-07

柱リスト　1/40

注記）特記なき限り下配による。
1. 仕口フープ：□-D13@100

符　号	C1	C2	C3	C4
3階				
主　筋	22-D25	24-D25	14-D25	14-D25
帯　筋	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
備　考				
2階				
主　筋	22-D25	24-D25	14-D25	14-D25
帯　筋	□-D13@100	⊟-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
備　考				
1階				
主　筋	22-D25	24-D25	16-D25	14-D25
帯　筋	⊟-D13@100	⊞-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
備　考				



C3,C4基礎梁仕口部フカシ要領

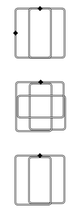
帯筋組立の形

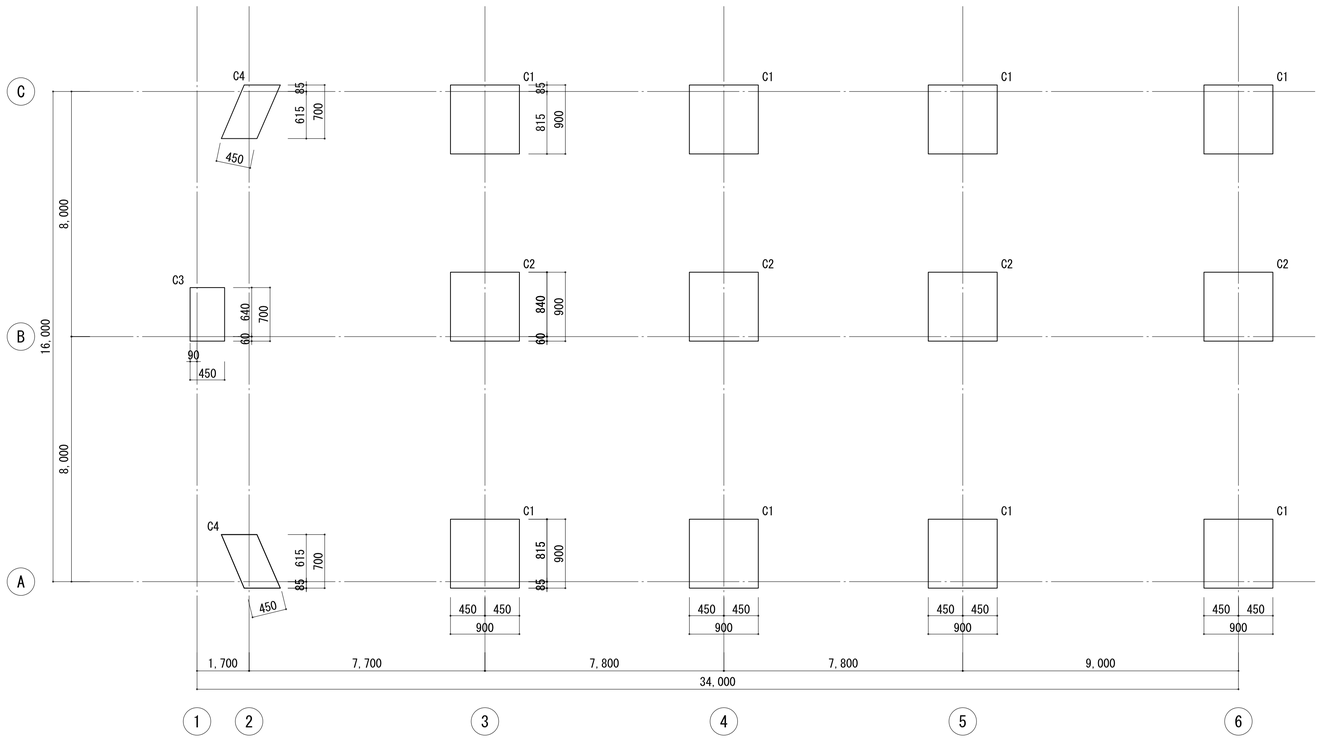
1）主帯筋

タイプ	溶接閉鎖形
角形	
注意事項	・溶接位置は四方向に分散させること。

2）副帯筋

溶接閉鎖形





柱符号・芯寄り図　1/100

注記）特記なき限り下配による。
1. 通り芯=柱芯とする。
2. 寸法は左・下寸法と同じとする。

構造設計一級建築士 登録第1492号 須和田高士

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロン―グリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担 当	柱リスト、柱芯線図	A1 1/40 A3 1/80	S-15

小梁リスト　1/40

注記）特記なき限り下記による。
1.巾止筋：D10@1,000

符号	B1		B2		B3		B4
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面
断面	400 / 700		400 / 800		300 / 700		200 / 700
上端筋	6-D22	4-D22	4-D25	4-D25	3-D22	3-D22	4-D16
下端筋	4-D22	4-D22	4-D25	7-D25	3-D22	3-D22	4-D16
スターラップ	□-D10@150		□-D13@200		□-D10@200		□-D10@200
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10
備考							

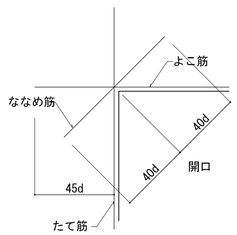
壁リスト　1/40

注記）特記なき限り下記による。
1.幅止め筋 D10@1,000

符号	W15	W17	W20	W30	W35	W45
配筋	150	170	200	300	350	450
たて筋	D10@200ダブルチドリ	D10@200ダブル	D13@200ダブル	D13@200ダブル	D13@200ダブル	D13@200ダブル
よこ筋	D10@200ダブルチドリ	D10@200ダブル	D13@200ダブル	D13@200ダブル	D13@200ダブル	D13@200ダブル
開口補強筋 たて筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
開口補強筋 よこ筋	2-D13	2-D13	2-D13	4-D16	4-D16	4-D16
開口補強筋 ななめ筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13

符号	EW25	EW30	EW30A	EW30B
配筋	250	300	300	300
たて筋	D13@200ダブル	D13@200ダブル	D16@200ダブル	D16@200ダブル
よこ筋	D13@100ダブル	D13@200ダブル	D16@200ダブル	D16@100ダブル
開口補強筋 たて筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
開口補強筋 よこ筋	4-D16	4-D16	4-D16	4-D16
開口補強筋 ななめ筋	2-D13	2-D13	4-D16	4-D19

開口補強要領



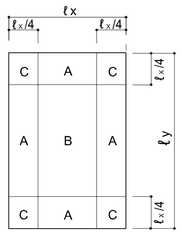
スラブリスト

符号	版厚	位置	短辺方向 A・B部 端部	短辺方向 A・B部 中央	短辺方向 C・A部 端・中共	長辺方向 A・B部 端部	長辺方向 A・B部 中央	長辺方向 C・A部 端・中共	備考
S1	150	上端筋	D10D13@200			D10@200			
		下端筋	D10D13@200			D10D13@200			
S2	150	上端筋	D13@200			D10D13@200			
		下端筋	D13@200			D13@200			
S3	150	上端筋	D10D13@200			D10D13@200			
		下端筋	D10D13@200			D10D13@200			
S4	150	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D13@200			D13@200			
FS1	250	上端筋	D13@150			D13@150			
		下端筋	D13@150			D13@150			
FS2	150	上端筋	D13@150			D13@150			
		下端筋	D13@150			D13@150			
FS3	250	上端筋	D13@150			D13@150			
		下端筋	D13@150			D13@150			

片持ちスラブリスト

符号	版厚(t) t1	版厚(t) t2	位置	主筋	配力筋	備考
CS1	400	200	上端筋	D16@100	D10@200	
			下端筋	D13@100	D10@200	
CS2	180	150	上端筋	D13@100	D10@200	
			下端筋	D10@100	D10@200	
CS3	300	200	上端筋	D13@100	D10@200	
			下端筋	D10@100	D10@200	
CS4	150	150	上端筋	D10@200	D10@200	
			下端筋	D10@200	D10@200	

スラブ配筋区分



構造設計一級建築士 登録第1492号 須和田高士

設計年月	設計業務名	工事名称	建築士法第20条第１項に基づく表示	山梨大学 施設・環境部	図面名称	縮尺	図面番号
令和5年12月	山梨大学(下河東)ニューロンーグリア クロストークセンター山梨(仮称) 新営実施設計業務(建築・設備)	山梨大学（下河東）ニューロン-グリア　クロストークセンター山梨(仮称) 新営工事	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号　日野 秀明	担当	小梁,壁,スラブリスト	A1 1/40 A3 1/80	S-17